

酒類製造業及び酒類卸売業の概況
(令和3年調査分)

令和4年4月

国税庁課税部酒税課

目次

「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」について	
1 酒類業実態調査の概要	1
2 「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」の活用にあたっての留意事項	3
I 酒類製造業者等及び酒類卸売業者の実態	
1 酒類製造業者等及び酒類卸売業者の概況	5
2 酒類の取引状況	12
3 輸出取引の状況	18
II 個別調査項目	
1 清酒製造業	31
2 単式蒸留焼酎製造業	39
3 ワイン製造業	47
(参考) ワイン製造業に関する用語について	68
III アンケート調査結果	
1 酒類製造業者等及び酒類卸売業者に対するアンケート調査結果	69
2 酒類製造業者に対するアンケート調査結果	75
付録 令和3年酒類業実態調査表	76

「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」について

1 酒類業実態調査の概要

「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」は、酒類業界の状況、課題及び個々の酒類業者の状況を把握するため、酒類製造者等及び酒類卸売業者（以下「酒類業者」という。）を対象に、アンケート調査（酒類業実態調査）を行い、その集計結果を取りまとめたものである。

(1) 調査対象者

調査対象者は次表のとおりである。

酒類製造者等	対象者	令和3年1月1日現在、酒類製造免許（蔵置場設置許可含む。）を有している全ての者 なお、蔵置場については以下のいずれかの理由により設置許可を受けている者に限る。 ① 輸出酒類の蔵置場 ② びん詰等のための蔵置場 ③ 果実酒集荷のための蔵置場
	対象外	上記のうち、免許（許可）を受けている全ての酒類の品目が以下のいずれかに該当する者（製造場） ① 試験製造免許 ② 祭し用のための免許 ③ 休造中の免許 ④ 調査対象期間（令和2年1月1日～令和2年12月31日）において酒類の製造に係る売上高がない免許
酒類卸売業者	対象者	令和3年1月1日現在、以下のいずれかの免許を有している者 ① 全酒類卸売業免許 （販売方法に条件が付されていないものを含む。） ② ビール卸売業免許 ③ 洋酒卸売業免許 ④ 輸出酒類卸売業免許
	対象外	上記のうち、その免許が以下のいずれかに該当する者（販売場） ① 休業中の販売場 ② 調査対象期間（令和2年1月1日～令和2年12月31日）において酒類の卸売に係る売上高がない販売場 ③ 協同組合員等を対象とする卸売のみである販売場 ④ 取り扱う酒類が薬用酒のみである販売場

(2) 調査対象期間

調査対象期間は、令和2年1月1日～令和2年12月31日とした。

なお、決算に係る項目は、法人については令和3年1月1日直前終了事業年度分、個人については令和2年分とした。また、ワインの個別調査項目（外国産ワインの輸入、ワインの移出数量等、ワインの製造状況及びワイン原料用国産ぶどうの受入状況）については令和2年4月1日～令和3年3月31日とした。

また、法人の決算に係る項目以外の項目について暦年での記載が困難な場合は、事業年度分で記入している場合がある。

(3) 調査方法

「酒類実態調査表」（以下「調査表」という。）を全調査対象者に配付し、調査対象者が作成・提出した調査表を、税務署においてデータ入力及び補正作業を行い、国税庁において全国分の調査表を集約し集計を行った。

(4) 調査結果

調査対象者 5,544 者のうち、4,067 者から回答があった（回答率 73.4%）。

局名	都道府県別	酒類製造者等				酒類卸売業者				合計			
		事業者数	対象者数	回答者数	回答率%	事業者数	対象者数	回答者数	回答率%	事業者数	対象者数	回答者数	回答率%
札幌	北海道	107	95	82	86.3%	186	88	72	81.8%	293	183	154	84.2%
仙台	青森	39	35	25	71.4%	58	18	14	77.8%	97	53	39	73.6%
	岩手	52	51	45	88.2%	36	16	14	87.5%	88	67	59	88.1%
	宮城	49	46	43	93.5%	62	24	21	87.5%	111	70	64	91.4%
	秋田	56	53	39	73.6%	41	12	7	58.3%	97	65	46	70.8%
	山形	87	81	74	91.4%	57	16	12	75.0%	144	97	86	88.7%
	福島	106	84	80	95.2%	60	31	27	87.1%	166	115	107	93.0%
	計	389	350	306	87.4%	314	117	95	81.2%	703	467	401	85.9%
関東信越	茨城	61	52	45	86.5%	95	37	30	81.1%	156	89	75	84.3%
	栃木	52	46	36	78.3%	81	41	33	80.5%	133	87	69	79.3%
	群馬	41	38	28	73.7%	59	17	11	64.7%	100	55	39	70.9%
	埼玉	59	54	35	64.8%	221	48	20	41.7%	280	102	55	53.9%
	新潟	140	132	127	96.2%	163	69	63	91.3%	303	201	190	94.5%
	長野	189	162	141	87.0%	126	51	44	86.3%	315	213	185	86.9%
	計	542	484	412	85.1%	745	263	201	76.4%	1,287	747	613	82.1%
東京	千葉	69	67	44	65.7%	165	66	43	65.2%	234	133	87	65.4%
	東京	139	125	61	48.8%	1,511	760	414	54.5%	1,650	885	475	53.7%
	神奈川	48	46	21	45.7%	337	152	86	56.6%	385	198	107	54.0%
	山梨	102	96	75	78.1%	104	64	55	85.9%	206	160	130	81.3%
	計	358	334	201	60.2%	2,117	1,042	598	57.4%	2,475	1,376	799	58.1%
金沢	富山	39	33	29	87.9%	57	26	23	88.5%	96	59	52	88.1%
	石川	63	49	28	57.1%	73	22	11	50.0%	136	71	39	54.9%
	福井	42	37	23	62.2%	23	12	10	83.3%	65	49	33	67.3%
	計	144	119	80	67.2%	153	60	44	73.3%	297	179	124	69.3%
名古屋	岐阜	83	69	52	75.4%	81	34	23	67.6%	164	103	75	72.8%
	静岡	75	63	42	66.7%	95	46	39	84.8%	170	109	81	74.3%
	愛知	84	70	52	74.3%	217	116	71	61.2%	301	186	123	66.1%
	三重	49	42	21	50.0%	57	32	20	62.5%	106	74	41	55.4%
	計	291	244	167	68.4%	450	228	153	67.1%	741	472	320	67.8%
大阪	滋賀	58	39	31	79.5%	47	19	15	78.9%	105	58	46	79.3%
	京都	82	72	57	79.2%	138	60	38	63.3%	220	132	95	72.0%
	大阪	62	50	42	84.0%	482	270	197	73.0%	544	320	239	74.7%
	兵庫	110	94	77	81.9%	285	129	86	66.7%	395	223	163	73.1%
	奈良	49	41	35	85.4%	49	19	15	78.9%	98	60	50	83.3%
	和歌山	57	47	44	93.6%	36	35	31	88.6%	93	82	75	91.5%
	計	418	343	286	83.4%	1,037	532	382	71.8%	1,455	875	668	76.3%
広島	鳥取	28	24	17	70.8%	33	19	14	73.7%	61	43	31	72.1%
	島根	49	43	30	69.8%	28	8	8	100.0%	77	51	38	74.5%
	岡山	70	57	51	89.5%	60	23	20	87.0%	130	80	71	88.8%
	広島	85	74	55	74.3%	128	58	36	62.1%	213	132	91	68.9%
	山口	51	43	34	79.1%	59	22	14	63.6%	110	65	48	73.8%
	計	283	241	187	77.6%	308	130	92	70.8%	591	371	279	75.2%
高松	徳島	37	32	21	65.6%	13	12	7	58.3%	50	44	28	63.6%
	香川	19	15	13	86.7%	11	11	7	63.6%	30	26	20	76.9%
	愛媛	57	50	35	70.0%	21	19	12	63.2%	78	69	47	68.1%
	高知	42	42	39	92.9%	16	16	12	75.0%	58	58	51	87.9%
	計	155	139	108	77.7%	61	58	38	65.5%	216	197	146	74.1%
福岡	福岡	100	60	55	91.7%	313	63	49	77.8%	413	123	104	84.6%
	佐賀	29	24	23	95.8%	30	6	6	100.0%	59	30	29	96.7%
	長崎	35	27	23	85.2%	40	11	8	72.7%	75	38	31	81.6%
	計	164	111	101	91.0%	383	80	63	78.8%	547	191	164	85.9%
熊本	熊本	53	52	42	80.8%	28	27	20	74.1%	81	79	62	78.5%
	大分	51	50	45	90.0%	23	22	13	59.1%	74	72	58	80.6%
	宮崎	55	55	48	87.3%	20	20	18	90.0%	75	75	66	88.0%
	鹿児島	121	118	105	89.0%	38	35	22	62.9%	159	153	127	83.0%
	計	280	275	240	87.3%	109	104	73	70.2%	389	379	313	82.6%
沖縄	沖縄	67	64	55	85.9%	45	43	31	72.1%	112	107	86	80.4%
全国計		3,198	2,799	2,225	79.5%	5,908	2,745	1,842	67.1%	9,106	5,544	4,067	73.4%

2 「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」の活用にあたっての留意事項

(1) 各表等の留意事項

- ① 「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」の公表内容については、個別に記載があるものを除き、令和3年酒類業実態調査による。
- ② 都道府県別の集計結果については、果実酒の製造免許場に関する計表を除き、事業者の本店所在地（個人については住所地）により区分した。
- ③ 各調査項目の集計に際しては、提出された調査者の調査項目が空欄であった場合や規定外数値等が記載された場合などのデータを除外していることから、令和3年酒類業実態調査の回答者数と各集計表の事業者数等が一致しない場合がある。なお、図中の「n」は、データを除外した後の有効回答数を示している。
- ④ 各集計結果の計数は、単位未満を四捨五入しているため、図表の内容と計又は合計が一致しない場合がある。
- ⑤ 酒類製造者等と酒類卸売業者の双方に該当する場合は、売上高に占める金額が大きい業態（売上高が不明の場合は酒類製造者等）に1者として計上している。
- ⑥ 表中の「X」は、情報を保護する観点から数値を秘匿するものである。
- ⑦ 本調査の結果は、調査対象者の任意回答を集計したものであり、他の統計調査の結果とは必ずしも一致しない。

(2) 用語

「酒類製造業及び酒類卸売業の概況」で使用している用語の意味は、次表のとおりである。

用語	意味
大企業	次のいずれかの法人 ①酒類製造者等であって、資本金3億円超かつ年平均従業員数が300人超の法人 ②酒類卸売業者であって、資本金1億円超かつ年平均従業員数が100人超の法人
中小企業	大企業以外の法人
個人事業者	個人で事業を行う者
欠損事業者	税引前当期純利益額が赤字の法人及び個人事業者
低収益事業者	税引前当期純利益額が50万円未満の法人及び個人事業者
G I 酒類	地理的表示 (Geographical Indication : G I) として指定された酒類 (注) 1 令和2年12月31日現在の指定状況は、「(参考) 令和2年12月31日現在のG I 指定状況」のとおり。 2 清酒のうち、「G I 日本酒」は含まない。
ワイン	酒税法に規定する果実酒に該当するもののうち、ぶどう (ぶどう果汁を含む。以下同じ。) を原料とするもの
日本ワイン	国産ぶどうのみを原料として、国内で製造されたワイン (平成27年10月30日国税庁告示第18号「果実酒等の製法品質表示基準を定める件」)
本格梅酒	梅酒 (酒税法第3条第21号に規定するリキュールのうち、酒類に梅を浸漬し、梅の成分を浸出させたものを含んだ酒類) のうち、梅、糖類及び酒類のみを原料とし、酸味料、着色料、香料を使用していないもの

(参考) 令和2年12月31日現在のGI指定状況

名称	産地	指定日	酒類区分
壱岐	長崎県壱岐市	平成7年6月30日	蒸留酒
球磨	熊本県球磨郡及び人吉市	平成7年6月30日	蒸留酒
琉球	沖縄県	平成7年6月30日	蒸留酒
薩摩	鹿児島県（奄美市及び大島郡を除く。）	平成17年12月22日	蒸留酒
白山	石川県白山市	平成17年12月22日	清酒
山梨	山梨県	平成25年7月16日	ぶどう酒
日本酒	日本国	平成27年12月25日	清酒
山形	山形県	平成28年12月16日	清酒
灘五郷	兵庫県神戸市灘区、東灘区、芦屋市、西宮市	平成30年6月28日	清酒
北海道	北海道	平成30年6月28日	ぶどう酒
はりま	兵庫県姫路市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、明石市、多可町、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町及び佐用町	令和2年3月16日	清酒
三重	三重県	令和2年6月19日	清酒
和歌山梅酒	和歌山県	令和2年9月7日	その他の酒類

- (注) 1 「ぶどう酒」とは、酒類の品目のうち、果実酒及び甘味果実酒であって、原料とする果実がぶどうのみのものをいう。
- 2 「蒸留酒」とは、酒類の品目のうち、連続式蒸留焼酎、単式蒸留焼酎、ウイスキー、ブランデー、原料用アルコール及びスピリッツをいう。
- 3 「その他の酒類」とは、「ぶどう酒」「蒸留酒」「清酒」以外の酒類をいう。

I 酒類製造者等及び酒類卸売業者の実態

1 酒類製造者等及び酒類卸売業者の概要

(1) 酒類業者数

酒類業者数について、事業者区分ごとに各企業区分の数を集計すると、表1のとおりとなった。酒類製造者等、酒類卸売業者ともに中小企業及び個人事業者が9割以上を占める結果となった。

表1 事業者区分別の事業者数

事業者区分	企業区分	事業者数			
		大企業	中小企業	個人事業者	
酒類業者		者	者	者	
		4,067	124	3,622	321
酒類製造者等		者	者	者	
		2,225	26	1,996	203
	清酒	1,035	4	994	37
	合成清酒	-	-	-	-
	連続式蒸留焼酎	23	2	21	-
	単式蒸留焼酎	258	1	251	6
	みりん	15	1	13	1
	ビール	204	7	183	14
	果実酒	254	2	229	23
	甘味果実酒	4	-	3	1
	ウイスキー・ブランデー	25	1	24	-
	発泡酒	69	-	46	23
	その他の醸造酒	118	-	44	74
	原料用アルコール・スピリッツ	21	1	20	-
	リキュール	88	5	73	10
	粉末酒・雑酒	5	-	4	1
	主たる品目不明	106	2	91	13
酒類卸売業者		1,842	98	1,626	118

- (注) 1 事業者区分の品目別の事業者数は、酒類製造者等で、複数の品目を製造している場合は、売上高に占める割合が最も大きい品目の酒類に1者として計上している。
- 2 酒類製造者等の内、調査表Bに記載がない者については、「主たる品目不明」として集計している。

(参考) 酒類製造者等の品目別の事業者数 (売上有る品目を全て集計)

品目	企業区分	事業者数			
		大企業	中小企業	個人事業者	
清酒		1,167	8	1,120	39
合成清酒		39	5	34	-
連続式蒸留焼酎		94	6	88	-
単式蒸留焼酎		609	12	587	10
みりん		90	6	82	2
ビール		320	11	288	21
果実酒		355	11	319	25
甘味果実酒		105	6	98	1
ウイスキー・ブランデー		170	19	151	-
発泡酒		254	6	213	35
その他の醸造酒		207	4	125	78
原料用アルコール・スピリッツ		259	14	242	3
リキュール		764	18	728	18
粉末酒・雑酒		52	-	50	2

(注) 酒類製造者等で複数の品目を製造している場合は、製造している全ての品目の酒類に1者として計上している。

(2) 酒類業者の従業員数

酒類業者の年平均従業員数について、事業者区分ごとに各企業区分の従業員数の1者平均を集計すると、表2のとおりとなった。全従業員数に占める酒類事業に携わる従事者の割合について、酒類製造者等についてはおおよそ4割から5割程度であった。酒類卸売業者については企業の規模が大きくなるに従い、酒類事業に携わる従業員の割合が低くなった。

表 2 酒類業者の年平均従業員数 (1者平均)

事業者区分	企業区分	事業者数	全体		大企業		中小企業		個人事業者	
			従業員数	酒類事業従業員数	従業員数	酒類事業従業員数	従業員数	酒類事業従業員数	従業員数	酒類事業従業員数
酒類業者		4,067	71	17	1,226	164	38	6	2	1
	酒類製造者等	2,225	42	18	1,066	463	32	13	2	1
	酒類卸売業者	1,842	107	15	1,269	85	44	12	2	1

(3) 酒類業者の経営状況及び業績

酒類業者の経営状況について、企業区分ごとに売上高等の1者平均を集計すると表3のとおりとなった。酒類事業に係る営業利益について、酒類製造者等及び酒類卸売業者ともにプラスとなった。

事業者区分ごとの経営状況について集計した結果が表4である。酒類製造者等中ウイスキー及びブランデーについて、営業利益が他の品目に比して高い結果となった。

企業区分別の欠損又は低収益となっている事業者数を集計すると表5、事業者区分ごとに欠損又は低収益となっている事業者数を集計すると表6のとおりとなった。酒類製造者等については、中小企業では5割強、個人事業者では4割強が欠損又は低収益となっている。品目別に見ると、清酒、ビールなど5つの品目について5割以上が欠損又は低収益となった。酒類卸売業者については、中小企業及び個人事業者の約4割が欠損又は低収益となっている。

表3 企業区分別の経営状況（1者平均）

企業区分	区分 事業者数	売上高		売上総利益		営業利益		
		全事業 百万円	酒類事業 百万円	全事業 百万円	酒類事業 百万円	全事業 百万円	酒類事業 百万円	
酒類業者	4,067	10,557	1,793	1,340	394	196	92	
	酒類製造者等	2,225	2,367	788	520	197	141	
	大企業	26	125,959	94,162	45,840	35,489	14,848	10,789
	中小企業	1,996	996	434	280	117	25	17
	個人事業者	203	21	11	11	5	3	1
	酒類卸売業者	1,842	20,450	2,158	2,006	242	194	32
	大企業	98	335,202	23,826	30,274	2,426	3,262	144
	中小企業	1,626	2,954	1,006	446	127	24	27
	個人事業者	118	132	37	24	7	△7	3

表 4 事業者区別の経営状況（1者平均）

事業者区分	企業区分	事業者数	売上高		売上総利益		営業利益	
			全事業	酒類事業	全事業	酒類事業	全事業	酒類事業
		者	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
酒類業者		4,067	10,557	1,793	1,340	394	196	92
	酒類製造者等	2,225	2,367	1,491	788	520	197	141
	清酒	1,035	464	341	147	103	△ 17	△ 1
	合成清酒	-	-	-	-	-	-	-
	連続式蒸留焼酎	23	10,430	9,773	3,422	3,390	345	686
	単式蒸留焼酎	258	1,235	1,083	410	349	77	75
	みりん	15	10,751	841	5,064	280	1,015	145
	ビール	204	8,265	6,131	2,555	1,901	396	367
	果実酒	254	629	389	235	135	3	15
	甘味果実酒	4	185	10	46	2	△ 18	△ 3
	ウイスキー・ブランデー	25	18,388	14,052	9,219	7,952	6,497	6,339
	発泡酒	69	354	22	99	10	20	△ 1
	その他の醸造酒	118	97	2	41	2	0	0
	原料用アルコール・スピリッツ	21	8,803	958	1,715	262	439	117
	リキュール	88	14,525	8,185	3,979	2,840	560	425
	粉末酒・雑酒	5	1,401	38	376	34	192	29
	酒類卸売業者	1,842	20,450	2,158	2,006	242	194	32

- (注) 1 事業者区分の品目別の事業者数は、酒類製造者等で、複数の品目を製造している場合は、売上高に占める割合が最も大きい品目の酒類に1者として計上している。
- 2 事業者区別の品目別売上金額等は、事業者の事業全体の計数であり、品目ごとの売上高等を計上したものではない。
- 3 「酒類事業」は、酒類事業全体の数値であり、各主要売上品目に係る酒類に係るものではない。
- 4 酒類製造者等の内、調査表Bに記載がない者（「主たる品目不明」の者）については集計していない。

表 5 酒類業者の欠損及び低収益事業者数

事業者区分	企業区分	事業者数									
		大企業			中小企業			個人事業者			
		者	欠損者	低収益者	者	欠損者	低収益者	者	欠損者	低収益者	
酒類業者		4,067	124	13	-	3,622	1,474	248	321	85	44
	酒類製造者等	2,225	26	5	-	1,996	935	133	203	56	29
	酒類卸売業者	1,842	98	8	-	1,626	539	115	118	29	15

表6 事業者区別の欠損及び低収益事業者数

事業者区分	企業区分	事業者数	
		欠損	低収益
酒類業者		者	者
		者	者
		者	者
酒類製造者等		者	者
清酒		者	者
合成清酒		者	者
連続式蒸留焼酎		者	者
単式蒸留焼酎		者	者
みりん		者	者
ビール		者	者
果実酒		者	者
甘味果実酒		者	者
ウイスキー・ブランデー		者	者
発泡酒		者	者
その他の醸造酒		者	者
原料用アルコール・スピリッツ		者	者
リキュール		者	者
粉末酒・雑酒		者	者
主たる品目不明		者	者
酒類卸売業者		者	者

(注) 1 事業者区分の品目別の事業者数は、酒類製造者等で、複数の品目を製造している場合は、売上高に占める割合が最も大きい品目の酒類に1者として計上している。

2 酒類製造者等の内、調査表Bに記載がない者については、「主たる品目不明」として集計している。

(4) 輸出事業者及び非輸出事業者の経営状況の比較

輸出事業者と非輸出事業者ごとに、売上高等の1者平均額を算出したものが表7、事業者区分ごとに、輸出事業者と非輸出事業者の欠損又は低収益事業者数を集計した結果が表8である。酒類製造者等及び酒類卸売業者ともに、輸出事業者の方が営業利益が高い結果となった。

輸出事業者と非輸出事業者の欠損又は低収益となる事業者数を比較すると、中小企業及び個人事業者では欠損又は低収益となっている割合はほぼ同じとなった。

表 7 輸出事業者及び非輸出事業者別の経営状況（1者平均）

事業者区分	区分	事業者数	売上高	売上総利益	営業利益
輸出事業者		者 1,047	百万円 12,807	百万円 1,766	百万円 325
	酒類製造者等	724	4,344	1,538	364
	酒類卸売業者	323	31,778	2,276	239
非輸出事業者		3,020	9,777	1,192	151
	酒類製造者等	1,501	1,413	426	116
	酒類卸売業者	1,519	18,041	1,949	185

表 8 輸出事業者及び非輸出事業者別の欠損及び低収益事業者数

事業者区分	事業者数	企業区分								
		大企業			中小企業			個人事業者		
		者	欠損者	低収益者	者	欠損者	低収益者	者	欠損者	低収益者
輸出事業者	者 1,047	者 33	者 5	者 -	者 993	者 410	者 53	者 21	者 7	者 2
	酒類製造者等 724	14	4	-	701	342	27	9	4	-
	酒類卸売業者 323	19	1	-	292	68	26	12	3	2
非輸出事業者	3,020	91	8	-	2,629	1,064	195	300	78	42
	酒類製造者等 1,501	12	1	-	1,295	593	106	194	52	29
	酒類卸売業者 1,519	79	7	-	1,334	471	89	106	26	13

(4) リベートの受取、支払状況

酒類業者の酒類事業に係る受取又は支払リベートについて、1者平均を集計したものが表9である。酒類製造者等については、支払リベートがある事業者の割合は21.4%となった。

酒類卸売業者については、受取りリベートがある事業者の割合が25.4%、支払リベートがある事業者の割合は16.6%となった。

表 9 企業区分別の受取（支払）リポートの状況（1者平均）

区分 企業区分	事業者数	受取リポートがあ る事業者数	受取リポート	支払リポートがあ る事業者数	支払リポート
	者	者	千円	者	千円
酒類製造者等	2,281	50	89,890	487	378,454
大企業	34	2	667,922	12	6,024,784
中小企業	2,041	47	67,197	469	238,803
個人事業者	206	1	X	6	1,846
酒類卸売業者	1,914	487	311,488	318	279,444
大企業	100	25	3,469,372	22	3,712,703
中小企業	1,690	451	143,984	290	24,762
個人事業者	124	11	2,128	6	449

（注） 同一の者が酒類製造者等と酒類卸売業者の双方に該当する場合は、受取（支払）リポートの事業者数及びリポート金額について、酒類製造者等の取引と酒類卸売業者としての取引を区分し集計している。

2 酒類の取引状況

(1) 品目別取引状況

品目別に、売上数量及び売上金額並びに輸出数量及び輸出金額について集計したものが図1である（国内取引については酒類製造者等及び酒類卸売業者に区分）。酒類製造者等の国内における売上数量ではリキュールが最も多かったが、売上金額ではビールが最も多くなった。

酒類卸売業者の売上数量及び売上金額についても、売上数量ではリキュールが最も多く、売上金額ではビールが最も多い結果となった。

なお、酒類卸売業者の取引には、日本産酒類の取引に加え、卸売業者が輸入した酒類の売上数量及び売上金額が含まれる。

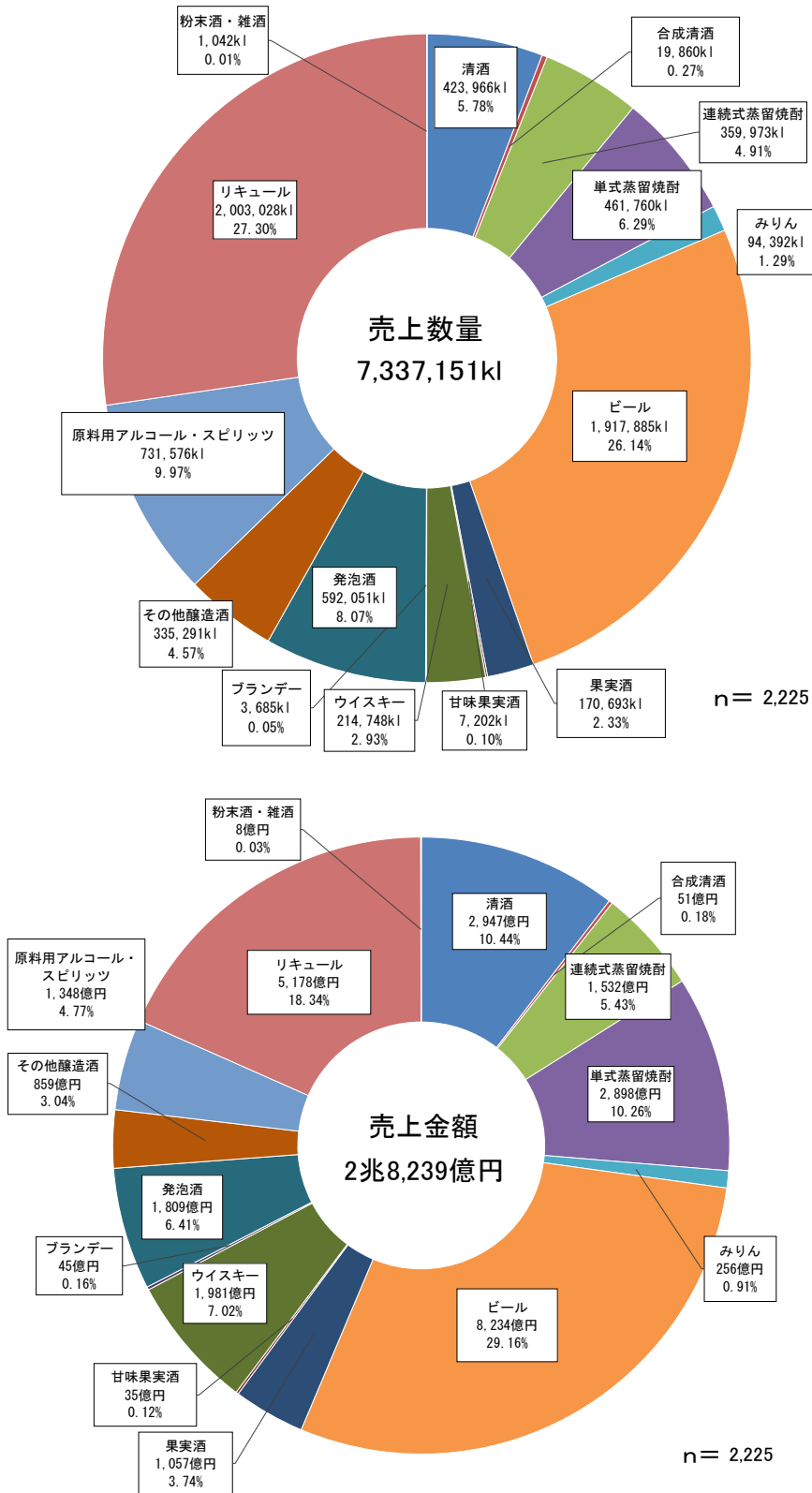
輸出取引については、輸出数量の49.8%をビールが占めている一方、輸出金額については清酒（229億円、37.9%）と、ウイスキー（202億円、33.3%）の2品目で全体の7割以上を占めている。

なお、輸出取引には、いわゆる間接輸出は含まれておらず、酒類製造者等が輸出用酒類を酒類卸売業者に販売する取引は国内取引として集計している。

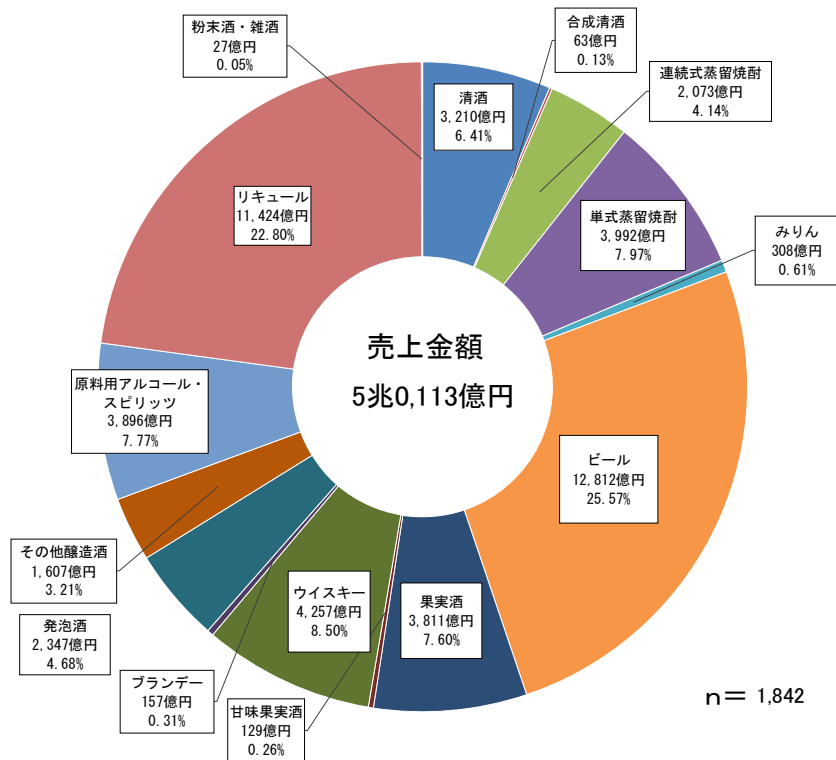
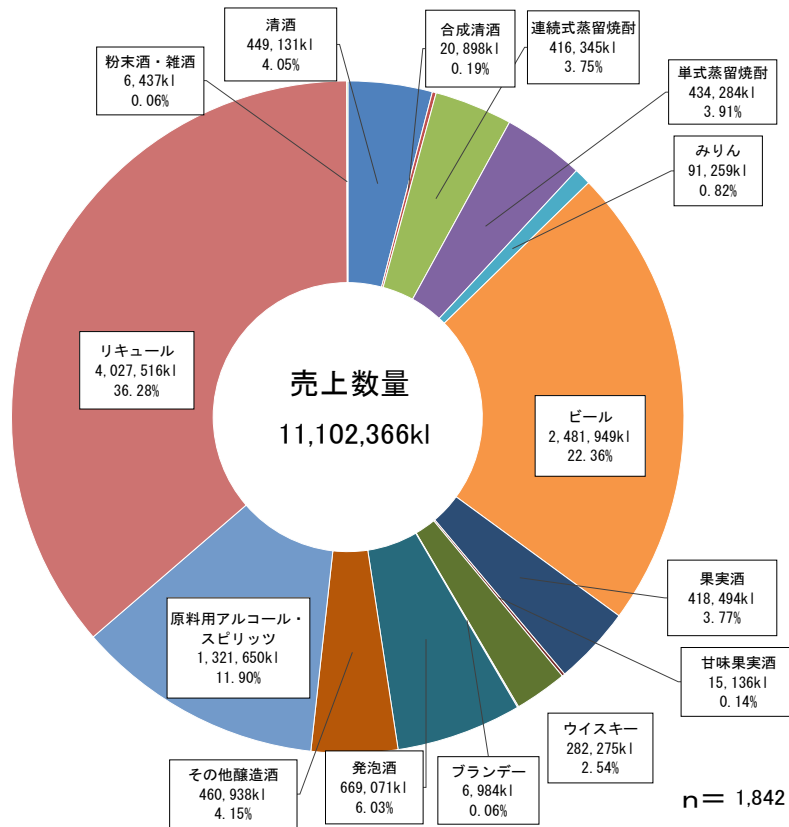
図 1

品目別売上（輸出）数量及び売上（輸出）金額構成比

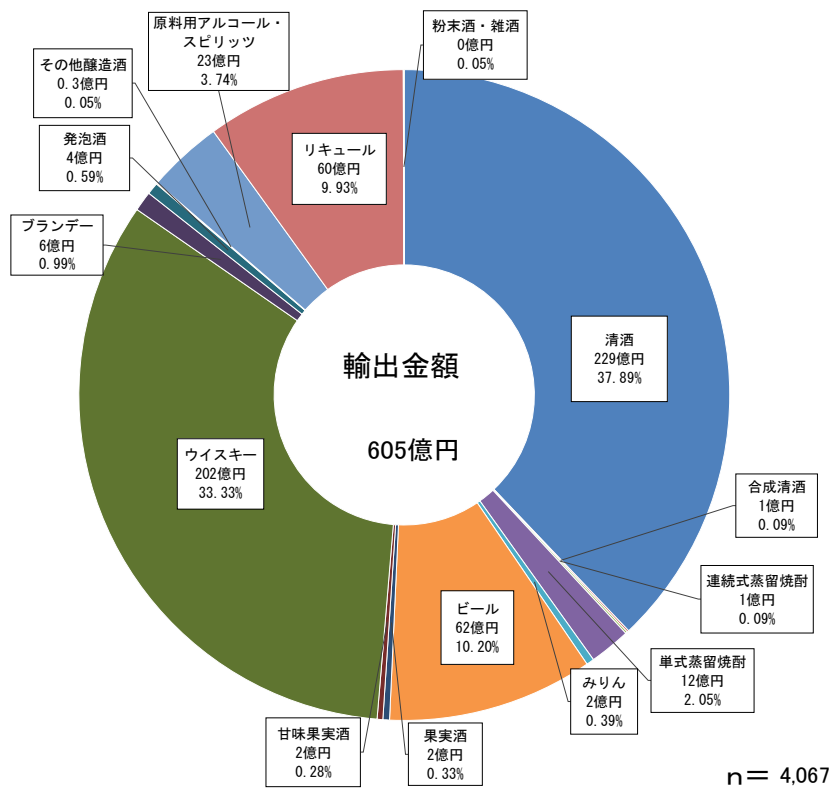
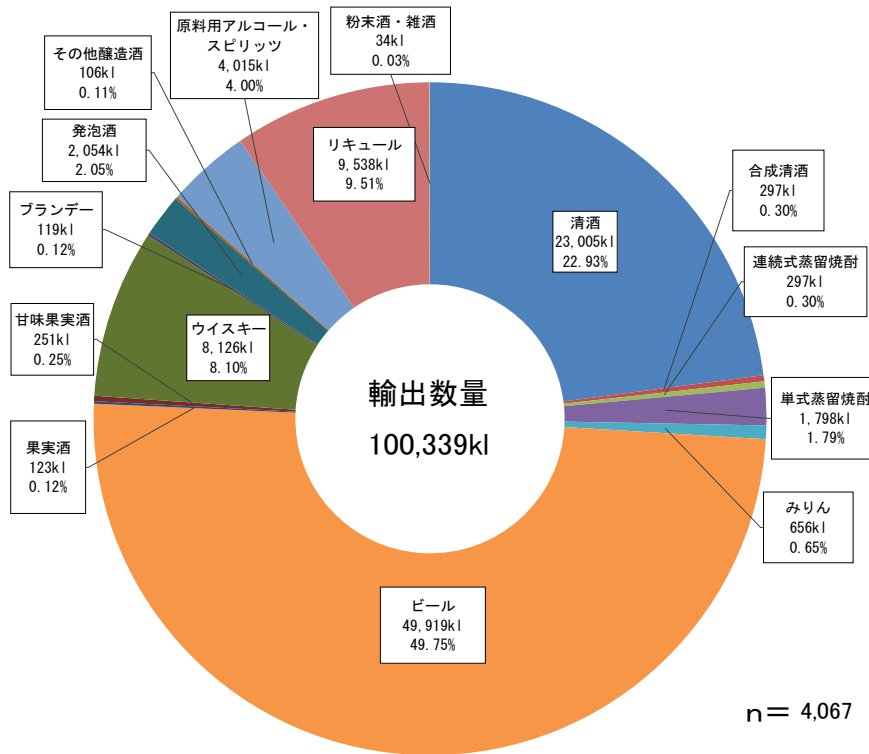
【国内取引（酒類製造者等）】



【国内取引（酒類卸売業者）】



【輸出取引】



(2) GI 酒類の取引状況

GI 酒類について、品目別の国内の売上数量及び輸出数量並びに品目別の国内の売上金額及び輸出金額について集計したものがそれぞれ表 10 及び表 11 である。清酒については、取引全体に占める国内取引の割合が数量は 0.9%、金額が 1.5%であったのに対し、輸出取引ではいずれも 4%を超えた。

単式蒸留焼酎については、国内取引の数量及び金額ともに 20%前後がGI 酒類であり、輸出数量及び金額については、いずれも 6.1%がGI 酒類との結果となった。

日本ワインについては、国内取引数量及び金額の 10%前後がGI 酒類である一方、輸出数量及び金額についてはそれぞれ取引の約 35%をGI 酒類が占めた。

本格梅酒については、取引全体に占める国内取引の割合が数量は 0.3%、金額が 1.3%であったのに対し、輸出取引ではそれぞれ 1.5%と 2.2%となった。

表 10 GI 酒類の品目別売上（輸出）数量

品目	全体		GI酒類		GI酒類割合	
	国内数量(酒類製造者等)	輸出数量	国内数量(酒類製造者等)	輸出数量	国内数量(酒類製造者等)	輸出数量
清 酒	423,966	23,005	3,857	1,177	0.9	5.1
単式蒸留焼酎	461,760	1,798	80,982	109	17.5	6.1
日 本 ワ イ ン	18,522	91	1,562	31	8.4	34.1
本 格 梅 酒	42,806	2,805	120	39	0.3	1.4

表 11 GI 酒類の品目別売上（輸出）金額

品目	全体		GI酒類		GI酒類割合	
	国内金額(酒類製造者等)	輸出金額	国内金額(酒類製造者等)	輸出金額	国内金額(酒類製造者等)	輸出金額
清 酒	294,708	22,920	4,313	969	1.5	4.2
単式蒸留焼酎	289,771	1,238	57,911	76	20.0	6.1
日 本 ワ イ ン	23,741	165	2,942	58	12.4	35.0
本 格 梅 酒	13,075	2,546	167	52	1.3	2.0

(3) GI 酒類の取引単価

国内取引及び輸出取引ごとにGI 酒類の売上数量、売上金額及び売上単価を集計した結果が表 12 である。国内取引については、いずれの品目についてもGI 酒類の売上

単価がG I 酒類以外の売上単価を上回る結果となった。

G I 酒類の輸出取引中、清酒についてはG I 酒類の輸出取引単価がG I 酒類以外の輸出取引単価を下回っている。これは、G I 酒類以外の輸出を行っている一部の事業者の輸出単価が比較的高額であったことが影響している。

表 12 G I 酒類及びG I 酒類以外の売上単価

取引区分	品 目	G I 酒 類			G I 酒 類 以 外			①/②
		売上数量	売上金額	売上単価 ①	売上数量	売上金額	売上単価 ②	
国内取引 (酒類製造者等)	清 酒	ki 3,857	百万円 4,313	円/L 1,118	ki 420,108	百万円 290,395	円/L 691	162%
	単式蒸留焼酎	80,982	57,911	715	380,778	231,861	609	117%
	日本ワイン	1,562	2,942	1,883	16,959	20,798	1,226	154%
	本格梅酒	120	167	1,395	42,686	12,908	302	461%
輸出取引	清 酒	1,177	969	824	21,829	21,951	1,006	82%
	単式蒸留焼酎	109	76	694	1,689	1,163	688	101%
	日本ワイン	31	58	1,856	60	108	1,789	104%
	本格梅酒	39	52	1,315	2,767	2,495	902	146%

3 輸出取引の状況

(1) 輸出事業者数

企業区分ごとに、輸出に取り組んでいる事業者の数を集計したものが表 13、輸出数量規模別に輸出事業者数を集計（酒類業全体に加え、農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略において重点品目とされた清酒、ウイスキー、本格焼酎・泡盛についても集計）したものが表 14 である。酒類事業者全体では輸出に取り組んでいる酒類事業者の割合は、25.7%となった。

また、品目別に酒類製造者等の輸出状況を見ると、清酒では 49.3%、単式蒸留焼酎では 22.8%、ウイスキーでは 48.5%が輸出に取り組んでいる結果となった。

表 13 企業区分別の輸出事業者数

企業区分	事業者区分	事業者数	輸出事業者		
			酒類製造者等	酒類卸売業者	
合計		4,067	1,047	724	323
	大企業	124	33	14	19
	中小企業	3,622	993	701	292
	個人事業者	321	21	9	12

表 14 輸出数量規模別の輸出事業者数

【全酒類】				【清酒】			
輸出数量規模	事業者数			輸出数量規模	事業者数		
	酒類製造者等	酒類卸売業者	酒類製造者等		酒類卸売業者		
輸出事業者 (酒類事業者に占める割合)	1,047 (25.7%)	724 (32.5%)	323 (17.5%)	輸出事業者 (酒類事業者に占める割合)	814 (27.1%)	575 (49.3%)	239 (13.0%)
1kl未満	371	271	100	1kl未満	306	219	87
1kl以上5kl未満	277	195	82	1kl以上5kl未満	234	174	60
5kl以上10kl未満	114	73	41	5kl以上10kl未満	106	70	36
10kl以上100kl未満	217	149	68	10kl以上100kl未満	136	95	41
100kl以上	68	36	32	100kl以上	32	17	15

【単式蒸留焼酎】				【ウイスキー】			
輸出数量規模	事業者数			輸出数量規模	事業者数		
	酒類製造者等	酒類卸売業者	酒類製造者等		酒類卸売業者		
輸出事業者 (酒類事業者に占める割合)	250 (10.2%)	139 (22.8%)	111 (6.0%)	輸出事業者 (酒類事業者に占める割合)	155 (8.0%)	47 (48.5%)	108 (5.9%)
1kl未満	157	97	60	1kl未満	79	19	60
1kl以上5kl未満	60	28	32	1kl以上5kl未満	35	11	24
5kl以上10kl未満	9	4	5	5kl以上10kl未満	11	2	9
10kl以上100kl未満	19	10	9	10kl以上100kl未満	19	7	12
100kl以上	5	-	5	100kl以上	11	8	3

(注) 1 「全酒類」の酒類事業者に占める割合は、表1の事業者数を母数としている。例えば、「酒類製造者等」に係る酒類事業者に占める割合については、表1の「酒類製造者等」の合計値を母数としている。

2 「清酒」、「単式蒸留焼酎」及び「ウイスキー」の酒類事業者に占める割合は、表1の参考(各品目について売上有る酒類製造者等を全て集計した表)に記載した事業者数を母数としている。例えば、清酒の「酒類製造者等」に係る酒類事業者に占める割合については、表1(参考)の清酒の酒類製造者等の合計値を母数としている。

(2) 主要品目(清酒、単式蒸留焼酎、ビール・発泡酒、ウイスキー、日本ワイン、スピリッツ及びリキュール)の輸出状況

イ 輸出先地域圏別の輸出状況

輸出先地域圏別に、輸出事業者数を集計したものが表15である。アジア向けに輸出する事業者数が最も多く、輸出事業者数に占める割合は76.3%となっている。続いて西欧及び北米向けが多く、割合としてはそれぞれ32.4%、30.2%となっている。

輸出先地域圏別に、輸出数量及び品目別構成を集計したものが図2、輸出金額及び品目別構成を集計したものが図3である。輸出数量について見ると、アジア、大洋州及び中東欧・ロシア等向けにはビール・発泡酒が、北米については清酒が、西欧についてはウイスキーが占める割合が高くなっている。

輸出金額については、アジア及び北米向けでは清酒及びウイスキーの占める割合が高い。西欧については、ウイスキーの輸出金額が、西歐向け全体の69.2%を占めている。

表 15 輸出先地域圏別の輸出事業者数及び企業区分別構成

地域圏 企業区分	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ ロシア等	中南米	中東	アフリカ	輸出 事業者数
	者	者	者	者	者	者	者	者	者
大企業	26	15	13	15	9	8	6	4	36
中小企業	842	332	216	355	64	61	37	30	1,094
個人事業者	16	3	4	5	-	1	1	1	28
合計	884	350	233	375	73	70	44	35	1,158

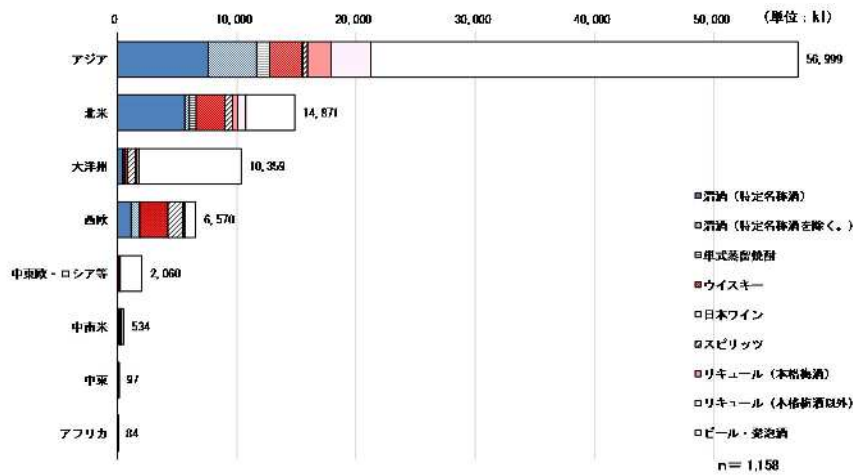
輸出事業者数に占める輸出先地域圏ごとの事業者割合

地域圏 企業区分	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ ロシア等	中南米	中東	アフリカ
大企業	72.2%	41.7%	36.1%	41.7%	25.0%	22.2%	16.7%	11.1%
中小企業	77.0%	30.3%	19.7%	32.4%	5.9%	5.6%	3.4%	2.7%
個人事業者	57.1%	10.7%	14.3%	17.9%	-	3.6%	3.6%	3.6%
合計	76.3%	30.2%	20.1%	32.4%	6.3%	6.0%	3.8%	3.0%

(注) 輸出事業者数は、調査表Cについて回答した事業者の合計であり、企業区分ごとの合計値ではない。

図2

輸出先地域圏別の輸出数量及び品目構成



輸出先地域圏	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	中東	アフリカ	合計
品目	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl
清酒(特定名称酒)	7,593	5,662	414	1,166	37	138	27	12	15,048
清酒(特定名称酒を除く。)	4,061	374	166	713	32	58	33	14	5,449
単式蒸留焼酎	1,117	577	38	25	2	7	6	1	1,772
ビール・発泡酒	35,780	4,137	8,556	924	1,802	200	15	41	51,456
ウイスキー	2,734	2,408	272	2,311	186	82	2	12	7,986
日本ワイン	53	2	2	8	4	1	0	0	69
スピリッツ	361	604	615	1,245	9	48	0	2	2,885
リキュール(本格梅酒)	2,003	431	166	75	5	1	10	0	2,682
リキュール(本格梅酒以外)	3,298	675	130	103	4	2	4	1	4,217
合計	56,999	14,871	10,359	6,570	2,080	534	97	84	91,574

輸出先地域圏ごとの品目別輸出割合

輸出先地域圏	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	中東	アフリカ	合計
品目									
清酒(特定名称酒)	13.3%	38.1%	4.0%	17.8%	1.8%	25.7%	27.8%	14.6%	16.4%
清酒(特定名称酒を除く。)	7.1%	2.5%	1.5%	10.8%	1.6%	10.5%	33.5%	16.4%	5.9%
単式蒸留焼酎	2.0%	3.9%	0.4%	0.4%	0.1%	1.3%	6.7%	0.7%	1.8%
ビール・発泡酒	62.8%	27.8%	82.6%	14.1%	87.5%	37.4%	15.6%	49.1%	56.2%
ウイスキー	4.8%	16.2%	2.6%	35.2%	8.0%	15.3%	1.9%	14.5%	8.7%
日本ワイン	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.2%	0.1%
スピリッツ	0.6%	4.1%	5.9%	19.0%	0.4%	8.9%	0.1%	2.8%	3.2%
リキュール(本格梅酒)	3.5%	2.9%	1.5%	1.1%	0.2%	0.2%	10.6%	0.3%	2.9%
リキュール(本格梅酒以外)	5.8%	4.5%	1.3%	1.6%	0.2%	0.5%	3.7%	1.1%	4.6%

品目ごとの各輸出先地域圏向け輸出割合

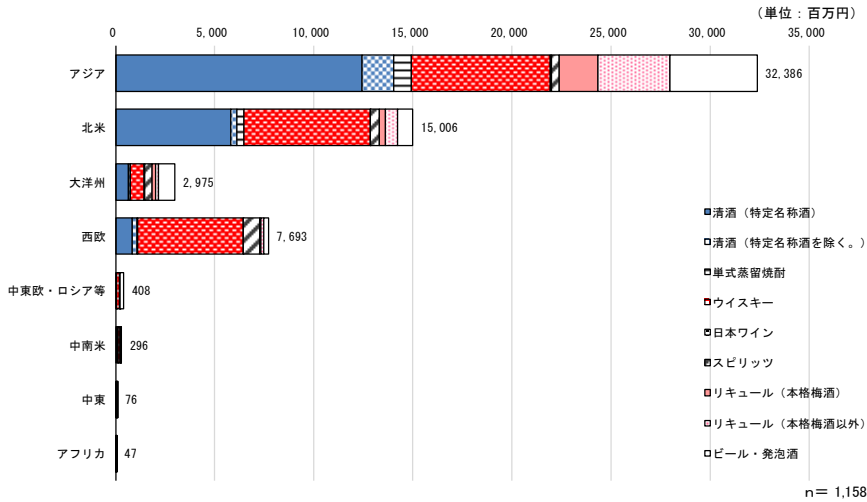
輸出先地域圏	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	中東	アフリカ
品目								
清酒(特定名称酒)	50.5%	37.8%	2.8%	7.7%	0.2%	0.9%	0.2%	0.1%
清酒(特定名称酒を除く。)	74.5%	6.9%	3.0%	13.1%	0.6%	1.0%	0.6%	0.3%
単式蒸留焼酎	63.0%	32.8%	2.1%	1.4%	0.1%	0.4%	0.4%	0.0%
ビール・発泡酒	69.5%	8.0%	18.6%	1.8%	3.5%	0.4%	0.0%	0.1%
ウイスキー	34.2%	30.1%	3.4%	28.9%	2.1%	1.0%	0.0%	0.2%
日本ワイン	78.8%	3.2%	2.2%	11.1%	5.5%	1.0%	0.0%	0.2%
スピリッツ	12.5%	20.9%	21.3%	43.2%	0.3%	1.7%	0.0%	0.1%
リキュール(本格梅酒)	74.4%	16.0%	6.2%	2.8%	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%
リキュール(本格梅酒以外)	78.2%	16.0%	3.1%	2.4%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
合計	62.2%	16.2%	11.3%	7.2%	2.2%	0.8%	0.1%	0.1%

(注) 1 品目中スピリッツにはRTD商品が含まれない。また、リキュール(本格梅酒以外)には新ジャンル及びRTD商品が含まれない。

2 調査表Bと調査表Cの回答者が異なるため、図1の輸出数量とは一致しない。

図 3

輸出先地域圏別の輸出金額及び品目構成



品目	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	中東	アフリカ	合計
清酒(特定名称酒)	12,436	5,807	648	847	44	87	28	7	19,904
清酒(特定名称酒を除く。)	1,580	305	85	229	8	24	15	6	2,253
単式蒸留焼酎	906	353	16	28	1	4	3	0	1,310
ビール・発泡酒	4,431	760	837	241	171	48	9	14	6,510
ウイスキー	6,993	6,369	697	5,323	150	104	5	17	19,657
日本ワイン	90	5	3	11	15	0	0	0	125
スピリッツ	387	449	397	809	8	25	0	2	2,078
リキュール(本格梅酒)	1,952	328	158	80	5	1	12	0	2,536
リキュール(本格梅酒以外)	3,612	630	136	126	4	2	4	1	4,515
合計	32,386	15,006	2,975	7,693	408	296	76	47	58,887

輸出先地域圏ごとの品目別輸出割合

品目	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	中東	アフリカ	合計
清酒(特定名称酒)	38.4%	38.7%	21.8%	11.0%	10.9%	29.4%	36.3%	14.0%	33.8%
清酒(特定名称酒を除く。)	4.9%	2.0%	2.9%	3.0%	2.0%	8.2%	20.2%	12.7%	3.8%
単式蒸留焼酎	2.8%	2.4%	0.5%	0.4%	0.3%	1.4%	3.3%	0.8%	2.2%
ビール・発泡酒	13.7%	5.1%	28.1%	3.1%	41.9%	16.2%	11.9%	29.7%	11.1%
ウイスキー	21.6%	42.4%	23.4%	69.2%	36.8%	35.0%	6.9%	35.1%	33.4%
日本ワイン	0.3%	0.0%	0.1%	0.1%	3.7%	0.1%	0.1%	0.6%	0.2%
スピリッツ	1.2%	3.0%	13.3%	10.5%	2.0%	8.4%	0.3%	4.3%	3.5%
リキュール(本格梅酒)	6.0%	2.2%	5.3%	1.0%	1.2%	0.4%	15.9%	0.6%	4.3%
リキュール(本格梅酒以外)	11.2%	4.2%	4.6%	1.6%	1.1%	0.8%	5.1%	2.2%	7.7%

品目ごとの各輸出先地域圏向け輸出割合

品目	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	中東	アフリカ
清酒(特定名称酒)	62.5%	29.2%	3.3%	4.3%	0.2%	0.4%	0.1%	0.0%
清酒(特定名称酒を除く。)	70.1%	13.6%	3.8%	10.2%	0.4%	1.1%	0.7%	0.3%
単式蒸留焼酎	69.1%	26.9%	1.2%	2.1%	0.1%	0.3%	0.2%	0.0%
ビール・発泡酒	68.1%	11.7%	12.9%	3.7%	2.6%	0.7%	0.1%	0.2%
ウイスキー	35.6%	32.4%	3.5%	27.1%	0.8%	0.5%	0.0%	0.1%
日本ワイン	72.4%	3.8%	2.7%	8.6%	12.0%	0.2%	0.0%	0.2%
スピリッツ	18.6%	21.6%	19.1%	39.0%	0.4%	1.2%	0.0%	0.1%
リキュール(本格梅酒)	77.0%	12.9%	6.2%	3.2%	0.2%	0.1%	0.5%	0.0%
リキュール(本格梅酒以外)	80.0%	13.9%	3.0%	2.8%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
合計	55.0%	25.5%	5.1%	13.1%	0.7%	0.5%	0.1%	0.1%

(注) 1 品目中スピリッツにはRTD商品が含まれない。また、リキュール(本格梅酒以外)には新ジャンル及びRTD商品が含まれない。

2 調査表Bと調査表Cの回答者が異なるため、図1の輸出金額とは一致しない。

ロ 輸出先国（地域）別の輸出状況

輸出数量上位 10 か国（地域）について、輸出事業者数を集計したものが表 16 である。輸出先国（地域）として事業者数が最も多いのは香港であり、続いて台湾、中華人民共和国、シンガポール向けに輸出を行っている事業者が多い結果となった。

輸出数量上位 10 か国（地域）について、輸出数量及び品目構成を集計したものが図 4 である。アジア圏の国（地域）及びオーストラリアに対しては、ビール・発泡酒が占める割合が最も高い。アメリカ合衆国向けについては、清酒（特定名称酒）が最も多く 38.4%となっている。

輸出数量上位 10 か国（地域）について、輸出金額及び品目構成を集計したものが図 5 である。輸出金額では清酒（特定名称酒）及びウイスキーの輸出金額の占める割合が高く、それぞれ輸出数量上位 10 か国（地域）向けの輸出金額全体の 33.4%、34.8%を占める結果となった。アジア圏の国（地域）については清酒（特定名称酒）の占める割合が高い傾向にあり、北米や西欧についてはウイスキーの輸出金額が占める割合が高い。

表 16 輸出先国（地域）別の輸出事業者数及び企業区分別構成（輸出数量上位 10 か国）

輸出先国 (地域) 企業区分	台湾	中華人民 共和国	アメリカ 合衆国	オースト ラリア	大韓民国	香港	シンガ ポール	フランス	ロシア	オランダ	輸出 事業者数
	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者
大企業	15	21	15	12	13	18	15	7	6	6	36
中小企業	387	328	287	193	208	481	320	176	32	89	1,094
個人事業者	5	3	3	4	-	9	5	4	-	-	28
合計	407	352	305	209	221	508	340	187	38	95	1,158

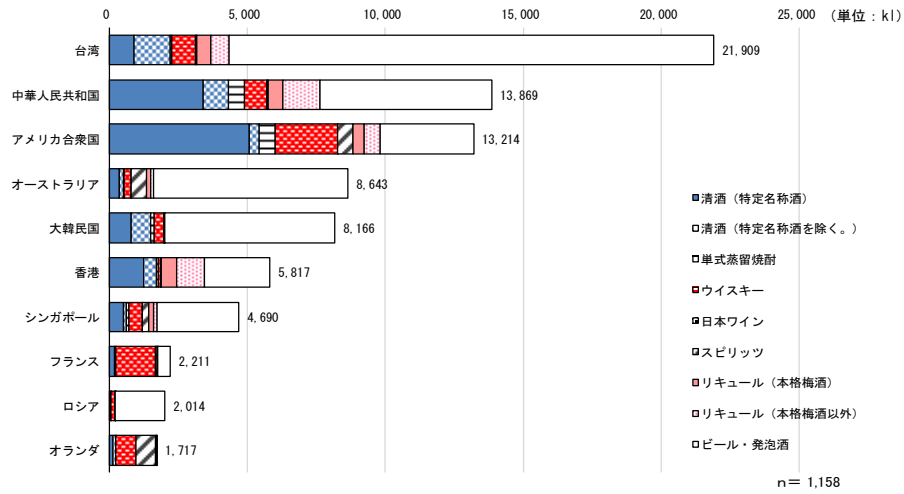
輸出事業者数に占める輸出先地域圏ごとの事業者割合

輸出先国 (地域) 企業区分	台湾	中華人民 共和国	アメリカ 合衆国	オースト ラリア	大韓民国	香港	シンガ ポール	フランス	ロシア	オランダ
大企業	41.7%	58.3%	41.7%	33.3%	36.1%	50.0%	41.7%	19.4%	16.7%	16.7%
中小企業	35.4%	30.0%	26.2%	17.6%	19.0%	44.0%	29.3%	16.1%	2.9%	8.1%
個人事業者	17.9%	10.7%	10.7%	14.3%	-	32.1%	17.9%	14.3%	-	-
合計	35.1%	30.4%	26.3%	18.0%	19.1%	43.9%	29.4%	16.1%	3.3%	8.2%

（注） 輸出事業者数は、調査表Cについて回答した事業者の合計であり、企業区分ごとの合計値ではない。

図 4

輸出先国（地域）別の輸出数量及び品目構成（輸出数量上位 10 か国）



n = 1,158

輸出先国（地域） 品目	台湾	中華人民 共和国	アメリカ合 衆国	オーストラ リア	大韓民国	香港	シンガ ポール	フランス	ロシア	オランダ	合計
	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl
清酒（特定名称酒）	888	3,398	5,077	365	800	1,257	515	185	26	134	12,646
清酒（特定名称酒を除く。）	1,328	904	356	139	708	444	112	49	31	102	4,174
単式蒸留焼酎	47	601	573	28	120	70	101	5	1	8	1,553
ビール・発泡酒	17,567	6,238	3,395	7,029	6,164	2,352	2,972	444	1,797	14	47,971
ウイスキー	857	810	2,259	252	343	77	464	1,451	140	733	7,387
日本ワイン	17	9	1	1	0	14	7	0	4	0	54
スピリッツ	29	26	561	565	5	21	238	43	9	709	2,207
リキュール（本格梅酒）	525	547	397	146	6	546	166	15	3	7	2,358
リキュール（本格梅酒以外）	650	1,336	595	117	20	1,035	116	18	2	11	3,899
合 計	21,909	13,869	13,214	8,643	8,166	5,817	4,690	2,211	2,014	1,717	82,248

輸出先国（地域）ごとの品目別輸出割合

輸出先国（地域） 品目	台湾	中華人民 共和国	アメリカ合 衆国	オーストラ リア	大韓民国	香港	シンガ ポール	フランス	ロシア	オランダ	合計
清酒（特定名称酒）	4.1%	24.5%	38.4%	4.2%	9.8%	21.6%	11.0%	8.4%	1.3%	7.8%	15.4%
清酒（特定名称酒を除く。）	6.1%	6.5%	2.7%	1.6%	8.7%	7.6%	2.4%	2.2%	1.5%	5.9%	5.1%
単式蒸留焼酎	0.2%	4.3%	4.3%	0.3%	1.5%	1.2%	2.2%	0.2%	0.1%	0.5%	1.9%
ビール・発泡酒	80.2%	45.0%	25.7%	81.3%	75.5%	40.4%	63.4%	20.1%	89.2%	0.8%	58.3%
ウイスキー	3.9%	5.8%	17.1%	2.9%	4.2%	1.3%	9.9%	65.6%	7.0%	42.7%	9.0%
日本ワイン	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%
スピリッツ	0.1%	0.2%	4.2%	6.5%	0.1%	0.4%	5.1%	2.0%	0.4%	41.3%	2.7%
リキュール（本格梅酒）	2.4%	3.9%	3.0%	1.7%	0.1%	9.4%	3.5%	0.7%	0.2%	0.4%	2.9%
リキュール（本格梅酒以外）	3.0%	9.6%	4.5%	1.4%	0.2%	17.8%	2.5%	0.8%	0.1%	0.6%	4.7%

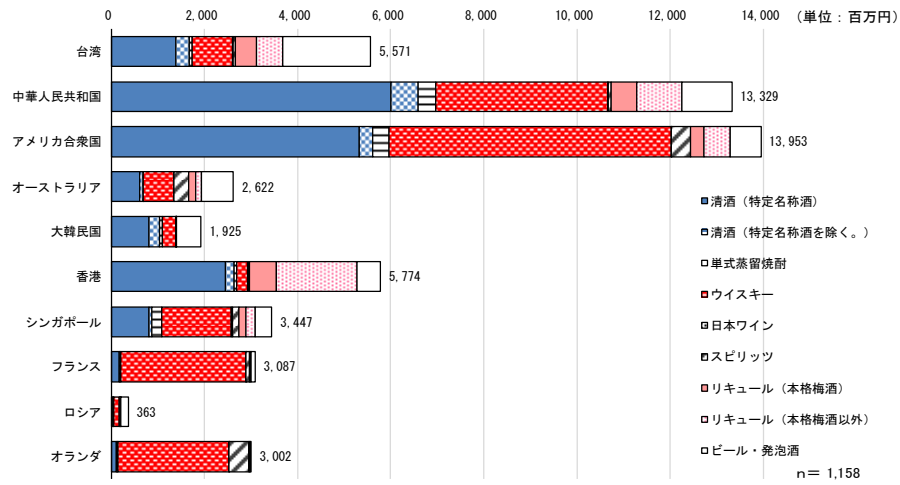
品目ごとの各輸出先国（地域）向け輸出割合

輸出先国（地域） 品目	台湾	中華人民 共和国	アメリカ合 衆国	オーストラ リア	大韓民国	香港	シンガ ポール	フランス	ロシア	オランダ
清酒（特定名称酒）	7.0%	26.9%	40.1%	2.9%	6.3%	9.9%	4.1%	1.5%	0.2%	1.1%
清酒（特定名称酒を除く。）	31.8%	21.7%	8.5%	3.3%	17.0%	10.6%	2.7%	1.2%	0.7%	2.4%
単式蒸留焼酎	3.0%	38.7%	36.9%	1.8%	7.7%	4.5%	6.5%	0.3%	0.1%	0.5%
ビール・発泡酒	36.6%	13.0%	7.1%	14.7%	12.8%	4.9%	6.2%	0.9%	3.7%	0.0%
ウイスキー	11.6%	11.0%	30.6%	3.4%	4.6%	1.0%	6.3%	19.6%	1.9%	9.9%
日本ワイン	31.7%	17.4%	1.7%	2.5%	0.4%	25.9%	12.7%	0.6%	7.0%	0.0%
スピリッツ	1.3%	1.2%	25.4%	25.6%	0.2%	1.0%	10.8%	2.0%	0.4%	32.1%
リキュール（本格梅酒）	22.3%	23.2%	16.9%	6.2%	0.2%	23.1%	7.0%	0.6%	0.1%	0.3%
リキュール（本格梅酒以外）	16.7%	34.3%	15.3%	3.0%	0.5%	26.5%	3.0%	0.5%	0.0%	0.3%
合 計	26.6%	16.9%	16.1%	10.5%	9.9%	7.1%	5.7%	2.7%	2.4%	2.1%

（注） 品目中スピリッツにはRTD商品が含まれない。また、リキュール（本格梅酒以外）には新ジャンル及びRTD商品が含まれない。

図5

輸出先国（地域）別の輸出金額及び品目構成（輸出数量上位10か国）



品目	輸出先国(地域)	台湾	中華人民 共和国	アメリカ合 衆国	オーストラ リア	大韓民国	香港	シンガ ポール	フランス	ロシア	オランダ	合計
		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
清 酒（ 特 定 名 称 酒 ）		1,384	6,015	5,328	605	808	2,446	808	170	34	107	17,705
清 酒（ 特 定 名 称 酒 を 除 く 。 ）		286	577	293	76	227	190	67	24	7	23	1,769
単 式 蒸 留 焼 酎		61	375	349	9	63	58	212	7	1	9	1,144
ビ ー ル ・ 発 泡 酒		1,886	1,065	669	689	515	493	354	88	165	16	5,941
ウ イ ス キ ー		865	3,691	6,056	644	284	236	1,492	2,692	127	2,389	18,476
日 本 ワ イ ン		28	14	2	3	0	23	17	1	15	0	103
ス ピ リ ッ ツ		36	65	412	326	3	23	151	74	8	432	1,530
リ キ ュ ー ル（ 本 格 梅 酒 ）		467	544	293	143	6	565	146	15	3	9	2,192
リ キ ュ ー ル（ 本 格 梅 酒 以 外 ）		558	984	551	126	18	1,740	199	18	2	16	4,212
合 計		5,571	13,329	13,953	2,622	1,925	5,774	3,447	3,087	363	3,002	53,072

輸出先国(地域)ごとの品目別輸出割合

品目	輸出先国(地域)	台湾	中華人民 共和国	アメリカ合 衆国	オーストラ リア	大韓民国	香港	シンガ ポール	フランス	ロシア	オランダ	合計
清 酒（ 特 定 名 称 酒 ）		24.9%	45.1%	38.2%	23.1%	42.0%	42.4%	23.4%	5.5%	9.4%	3.6%	33.4%
清 酒（ 特 定 名 称 酒 を 除 く 。 ）		5.1%	4.3%	2.1%	2.9%	11.8%	3.3%	1.9%	0.8%	1.9%	0.8%	3.3%
単 式 蒸 留 焼 酎		1.1%	2.8%	2.5%	0.3%	3.3%	1.0%	6.2%	0.2%	0.3%	0.3%	2.2%
ビ ー ル ・ 発 泡 酒		33.9%	8.0%	4.8%	26.3%	26.8%	8.5%	10.3%	2.9%	45.5%	0.5%	11.2%
ウ イ ス キ ー		15.5%	27.7%	43.4%	24.6%	14.7%	4.1%	43.3%	87.2%	35.1%	79.6%	34.8%
日 本 ワ イ ン		0.5%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.4%	0.5%	0.0%	4.1%	0.0%	0.2%
ス ピ リ ッ ツ		0.6%	0.5%	3.0%	12.4%	0.2%	0.4%	4.4%	2.4%	2.2%	14.4%	2.9%
リ キ ュ ー ル（ 本 格 梅 酒 ）		8.4%	4.1%	2.1%	5.5%	0.3%	9.8%	4.2%	0.5%	0.7%	0.3%	4.1%
リ キュ ー ル（ 本 格 梅 酒 以 外 ）		10.0%	7.4%	3.9%	4.8%	1.0%	30.1%	5.8%	0.6%	0.7%	0.5%	7.9%

品目ごとの各輸出先国(地域)向け輸出割合

品目	輸出先国(地域)	台湾	中華人民 共和国	アメリカ合 衆国	オーストラ リア	大韓民国	香港	シンガ ポール	フランス	ロシア	オランダ
清 酒（ 特 定 名 称 酒 ）		7.8%	34.0%	30.1%	3.4%	4.6%	13.8%	4.6%	1.0%	0.2%	0.6%
清 酒（ 特 定 名 称 酒 を 除 く 。 ）		16.2%	32.6%	16.5%	4.3%	12.8%	10.7%	3.8%	1.3%	0.4%	1.3%
単 式 蒸 留 焼 酎		5.4%	32.7%	30.5%	0.8%	5.5%	5.1%	18.5%	0.6%	0.1%	0.8%
ビ ー ル ・ 発 泡 酒		31.7%	17.9%	11.3%	11.6%	8.7%	8.3%	6.0%	1.5%	2.8%	0.3%
ウ イ ス キ ー		4.7%	20.0%	32.8%	3.5%	1.5%	1.3%	8.1%	14.6%	0.7%	12.9%
日 本 ワ イ ン		27.1%	13.5%	1.8%	3.0%	0.4%	22.1%	16.9%	0.8%	14.4%	0.0%
ス ピ リ ッ ツ		2.3%	4.2%	26.9%	21.3%	0.2%	1.5%	9.9%	4.8%	0.5%	28.2%
リ キュ ー ル（ 本 格 梅 酒 ）		21.3%	24.8%	13.4%	6.5%	0.3%	25.8%	6.7%	0.7%	0.1%	0.4%
リ キュ ー ル（ 本 格 梅 酒 以 外 ）		13.2%	23.4%	13.1%	3.0%	0.4%	41.3%	4.7%	0.4%	0.1%	0.4%
合 計		10.5%	25.1%	26.3%	4.9%	3.6%	10.9%	6.5%	5.8%	0.7%	5.7%

(注) 品目中スピリッツにはR T D商品が含まれない。また、リキュール(本格梅酒以外)には新ジャンル及びR T D商品が含まれない。

ハ 品目別の輸出状況

品目別に輸出数量及び輸出金額が多い上位 10 か国（地域）を集計したものが表 17 及び表 18 である。アメリカ合衆国及び中華人民共和国向けの輸出数量・金額が、幅広い品目で、高い割合を占める結果となった。また、輸出数量及び輸出金額から、地域圏別、輸出先国（地域）別に、品目ごとの平均取引単価を算出すると、表 19 及び表 20 のとおりとなる。

表 17 品目別の輸出数量上位 10 か国（地域）

品目	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
	国(地域)	数量	国(地域)	数量	国(地域)	数量	国(地域)	数量	国(地域)	数量	国(地域)	数量	国(地域)	数量	国(地域)	数量	国(地域)	数量	国(地域)	数量
清酒(特定名称酒)	アメリカ合衆国	5,077	中華人民共和国	3,398	香港	1,257	台湾	888	大韓民国	800	カナダ	583	シンガポール	515	オーストラリア	365	ドイツ	288	タイ	236
清酒(特定名称酒を除く)	台湾	1,328	中華人民共和国	904	大韓民国	708	香港	444	アメリカ合衆国	356	タイ	226	イタリア	188	ドイツ	160	オーストラリア	138	マレーシア	134
単式蒸留焼酎	中華人民共和国	601	アメリカ合衆国	573	大韓民国	120	シンガポール	101	タイ	94	香港	70	台湾	47	ベトナム	33	オーストラリア	28	フィリピン	20
ビール・発泡酒	台湾	17,567	オーストラリア	7,029	中華人民共和国	6,238	大韓民国	6,164	アメリカ合衆国	3,395	シンガポール	2,972	香港	2,352	ロシア	1,787	ニュージーランド	1,423	カナダ	742
ウイスキー	アメリカ合衆国	2,259	フランス	1,451	台湾	857	中華人民共和国	810	オランダ	733	シンガポール	484	大韓民国	348	オーストラリア	252	カナダ	148	ロシア	140
日本ワイン	台湾	17	香港	14	中華人民共和国	9	シンガポール	7	英国	5	ロシア	4	西欧/その他不明	2	アジア/その他不明	2	マカオ	1	オーストラリア	1
スピリッツ	オランダ	709	オーストラリア	565	アメリカ合衆国	561	英国	400	シンガポール	238	西欧/その他不明	90	ニュージーランド	50	カナダ	49	フランス	43	アジア/その他不明	31
本格梅酒	中華人民共和国	547	香港	546	台湾	525	アメリカ合衆国	397	シンガポール	166	オーストラリア	146	ベトナム	126	カナダ	34	タイ	33	ドイツ	22
リキュール(本格梅酒以外)	中華人民共和国	1,336	香港	1,035	台湾	650	アメリカ合衆国	595	オーストラリア	117	シンガポール	116	カナダ	80	タイ	65	マカオ	30	英国	26

(注) 品目中スピリッツにはR T D商品が含まれない。また、リキュール(本格梅酒以外)には新ジャンル及びR T Dが商品含まれない。

表 18 品目別の輸出金額上位 10 か国（地域）

品目	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
	国(地域)	金額 百万円	国(地域)	金額 百万円	国(地域)	金額 百万円	国(地域)	金額 百万円	国(地域)	金額 百万円	国(地域)	金額 百万円	国(地域)	金額 百万円	国(地域)	金額 百万円	国(地域)	金額 百万円	国(地域)	金額 百万円
清酒(特定名称酒)	中華人民共和国	6,015	アメリカ合衆国	5,328	香港	2,446	台湾	1,384	大韓民国	808	シンガポール	808	オーストラリア	605	カナダ	478	タイ	302	マレーシア	242
清酒(特定名称酒を除く)	中華人民共和国	577	アメリカ合衆国	293	台湾	286	大韓民国	227	香港	190	オーストラリア	76	シンガポール	61	アジア/その他不明	60	イタリア	58	マレーシア	51
単式蒸留焼酎	中華人民共和国	375	アメリカ合衆国	349	シンガポール	212	大韓民国	63	台湾	61	タイ	60	香港	58	ベトナム	24	アジア/その他不明	21	マレーシア	16
ビール・発泡酒	台湾	1,886	中華人民共和国	1,065	オーストラリア	689	アメリカ合衆国	669	大韓民国	515	香港	493	シンガポール	354	ロシア	165	ニュージーランド	133	カナダ	90
ウイスキー	アメリカ合衆国	6,056	中華人民共和国	3,691	フランス	2,692	オランダ	2,389	シンガポール	1,492	台湾	865	オーストラリア	644	カナダ	314	大韓民国	284	香港	236
日本ワイン	台湾	28	香港	23	シンガポール	17	ロシア	15	中華人民共和国	14	英国	6	西欧/その他不明	4	オーストラリア	3	カナダ	3	マカオ	2
スピリッツ	オランダ	432	アメリカ合衆国	412	オーストラリア	326	英国	246	シンガポール	151	アジア/その他不明	74	フランス	74	ニュージーランド	70	中華人民共和国	68	西欧/その他不明	50
本格梅酒	香港	565	中華人民共和国	544	台湾	467	アメリカ合衆国	293	シンガポール	146	オーストラリア	143	ベトナム	134	タイ	35	カナダ	34	マカオ	26
リキュール(本格梅酒以外)	香港	1,740	中華人民共和国	984	台湾	558	アメリカ合衆国	551	シンガポール	199	オーストラリア	126	カナダ	79	タイ	45	西欧/その他不明	33	マカオ	32

(注) 品目中スピリッツにはR T D商品が含まれない。また、リキュール(本格梅酒以外)には新ジャンル及びR T D商品が含まれない。

表 19 輸出地域圏別の 1 L 当たり平均取引単価

品目	輸出先地域圏								
	アジア	北米	大洋州	西欧	中東欧・ロシア等	中南米	中東	アフリカ	全世界平均
清酒（特定名称酒）	円/L 1,638	円/L 1,026	円/L 1,566	円/L 727	円/L 1,213	円/L 633	円/L 1,016	円/L 532	円/L 1,323
清酒（特定名称酒を除く。）	389	816	513	321	258	435	468	432	413
単式蒸留焼酎	811	612	414	1,126	838	589	390	615	740
ビール・発泡酒	124	184	98	260	95	240	595	338	127
ウイスキー	2,558	2,645	2,558	2,303	906	1,270	2,777	1,351	2,461
日本ワイン	1,718	2,108	2,216	1,404	3,917	452	4,214	1,606	1,816
スピリッツ	1,072	744	644	650	915	523	4,353	829	720
本格梅酒	974	759	949	1,065	1,043	1,023	1,171	1,213	942
リキュール（本格梅酒以外）	1,095	933	1,046	1,221	1,123	981	1,071	1,148	1,071

（注）品目中スピリッツにはR T D商品が含まれない。また、リキュール（本格梅酒以外）には新ジャンル及びR T D商品が含まれない。

表 20 輸出先国（地域）別の 1 L 当たり平均取引単価（輸出数量上位 10 か国）

品目	輸出先国（地域）									
	台湾	中華人民共和国	アメリカ合衆国	オーストラリア	大韓民国	香港	シンガポール	フランス	ロシア	オランダ
清酒（特定名称酒）	円/L 1,560	円/L 1,770	円/L 1,049	円/L 1,655	円/L 1,010	円/L 1,946	円/L 1,569	円/L 919	円/L 1,291	円/L 801
清酒（特定名称酒を除く。）	215	638	822	551	320	427	597	482	224	224
単式蒸留焼酎	1,312	624	610	328	525	832	2,097	1,345	825	1,154
ビール・発泡酒	107	171	197	98	84	210	119	198	92	1,134
ウイスキー	1,009	4,555	2,681	2,553	827	3,050	3,217	1,855	907	3,261
日本ワイン	1,624	1,477	1,972	2,257	1,850	1,627	2,531	2,409	3,923	6,667
スピリッツ	1,226	2,538	735	576	739	1,086	634	1,703	915	609
本格梅酒	889	995	738	983	1,030	1,035	884	990	794	1,390
リキュール（本格梅酒以外）	858	737	926	1,078	923	1,681	1,715	981	1,493	1,500

（注）品目中スピリッツにはR T D商品が含まれない。また、リキュール（本格梅酒以外）には新ジャンル及びR T D商品が含まれない。

二 清酒の輸出に占める特定名称酒の割合

特定名称酒及び特定名称酒以外の清酒について、それぞれ輸出数量及び輸出金額に占める割合を算出したものが図6である。輸出される清酒については、数量及び金額ともに特定名称酒の方が特定名称酒以外の清酒よりも多く、それぞれ 73.4%、89.8%を占めている。

特定名称酒及び特定名称酒以外の清酒について、輸出先地域圏別及び輸出先国（地域）別に、それぞれ輸出数量及び輸出金額に占める割合を算出したものが図7である。

ほとんどの地域圏について、輸出金額に占める特定名称酒の割合が高くなっている。特に北米向けについては、特定名称酒が占める割合が輸出数量及び輸出金額ともに、9割を超えている。

図6 清酒の輸出に占める特定名称酒の割合

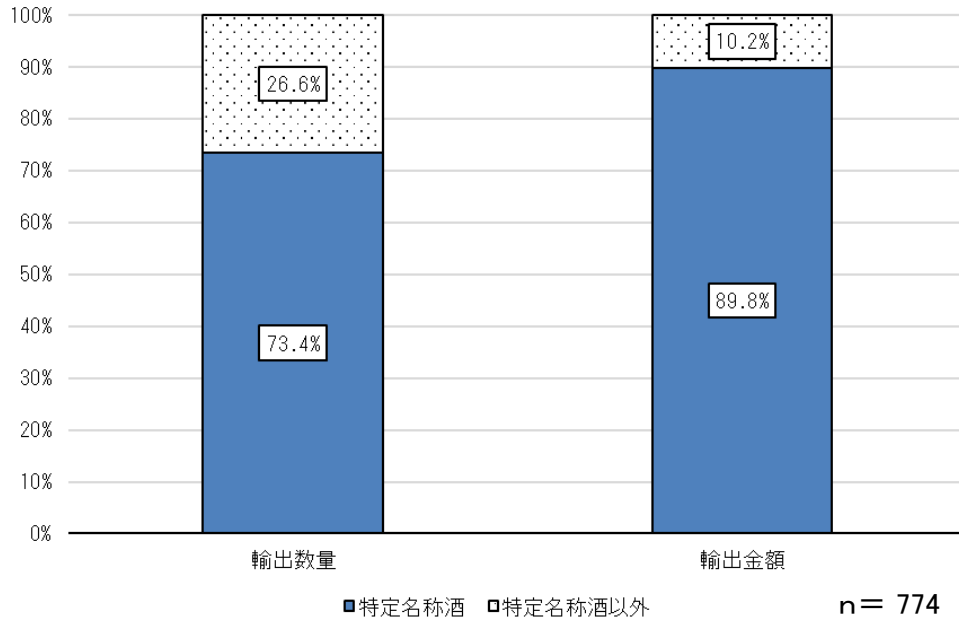
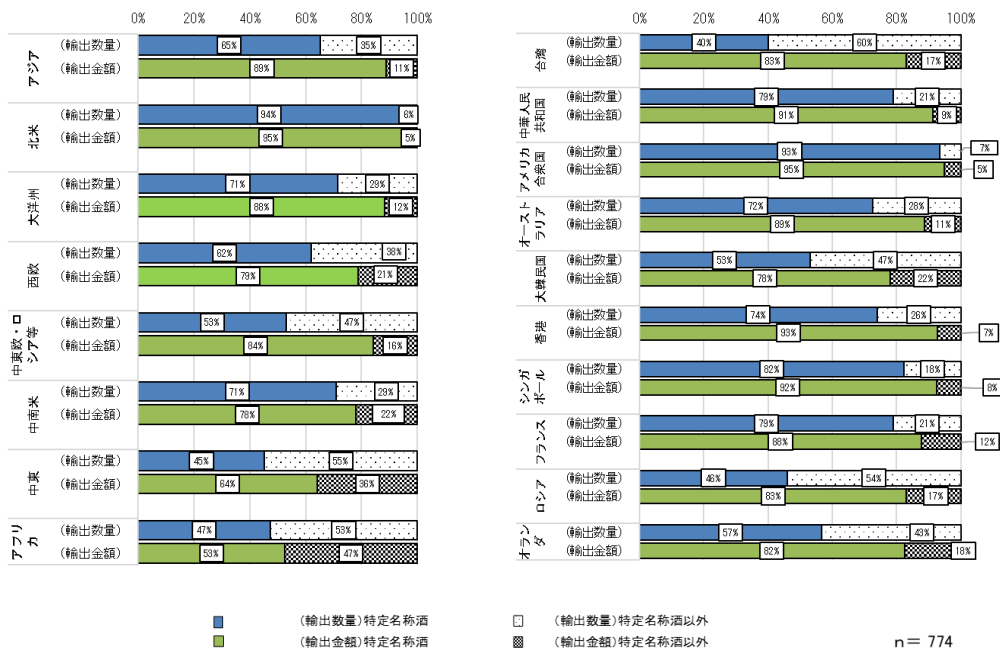


図7 清酒の輸出に占める特定名称酒の割合（輸出先別）

【輸出先地域圏別】

【輸出先国（地域）別】



(注) 輸出先国（地域）には、酒類の輸出数量が多い上位10か国を記載している。

ホ 都道府県別の輸出先国（地域）の比較

都道府県ごとに、輸出数量、輸出金額、主な輸出品目及び主な輸出先国（地域）を集計したものが表 21 である。輸出数量上位品目として、清酒が 1 位となる都道府県の数が最も多く、主要品目の輸出先国（地域）として、アメリカ合衆国向けの輸出数量が最大となる都道府県の数が最も多かった。

表 21 都道府県別の酒類の輸出状況

局所名	都道府県別	輸出事業者数	輸出数量 kl	輸出金額 百万円	輸出数量上位品目			主要品目の主な輸出先国（地域）		
					1位	2位	3位	1位	2位	3位
札幌	北海道	30	599	485	発泡酒	清酒	リキュール	中華人民共和国	シンガポール	アメリカ
仙台	青森	8	48	53	清酒	果実酒	リキュール	アメリカ	大韓民国	台湾
	岩手	14	153	183	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	アメリカ	中華人民共和国	大韓民国
	宮城	15	82	174	清酒	単式蒸留焼酎	リキュール	香港	西欧/その他不明	アメリカ
	秋田	20	214	244	清酒	リキュール	ビール	アメリカ	中華人民共和国	香港
	山形	42	308	434	清酒	リキュール	果実酒	中華人民共和国	アメリカ	香港
	福島	25	169	289	清酒	ウイスキー	リキュール	フランス	アメリカ	台湾
	計	124	974	1,377	清酒	リキュール	ウイスキー	アメリカ	中華人民共和国	香港
関東信越	茨城	17	711	391	ビール	清酒	リキュール	アメリカ	フランス	オーストラリア
	栃木	21	228	166	清酒	リキュール	果実酒	オランダ	ベトナム	大韓民国
	群馬	5	65	43	ビール	清酒	リキュール	アメリカ	台湾	シンガポール
	埼玉	16	834	828	清酒	ビール	ウイスキー	大韓民国	台湾	中華人民共和国
	新潟	72	1,456	1,760	清酒	ビール	ウイスキー	アメリカ	大韓民国	台湾
	長野	33	217	211	清酒	ビール	リキュール	アメリカ	香港	シンガポール
	計	164	3,511	3,398	清酒	ビール	ウイスキー	アメリカ	大韓民国	台湾
東京	千葉	25	2,165	2,617	清酒	ビール	リキュール	中華人民共和国	アメリカ	アジア/その他不明
	東京	119	64,586	29,532	ビール	ウイスキー	清酒	台湾	中華人民共和国	オーストラリア
	神奈川	27	762	685	清酒	ウイスキー	リキュール	中華人民共和国	フランス	香港
	山梨	18	135	189	果実酒	清酒	リキュール	タイ	ベトナム	香港
		計	189	67,648	33,023	ビール	ウイスキー	清酒	台湾	中華人民共和国
金沢	富山	11	139	262	清酒	リキュール	ウイスキー	中華人民共和国	大韓民国	香港
	石川	13	119	152	清酒	リキュール	みりん	アメリカ	中華人民共和国	香港
	福井	13	176	322	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	中華人民共和国	アメリカ	香港
		計	37	435	736	清酒	リキュール	ウイスキー	中華人民共和国	アメリカ
名古屋	岐阜	28	283	251	清酒	リキュール	ウイスキー	中華人民共和国	香港	アメリカ
	静岡	11	237	286	清酒	リキュール	ビール	アメリカ	中華人民共和国	大韓民国
	愛知	32	503	503	リキュール	清酒	ビール	中華人民共和国	台湾	香港
	三重	12	68	97	清酒	リキュール	発泡酒	中華人民共和国	香港	大韓民国
		計	83	1,091	1,138	清酒	リキュール	ビール	中華人民共和国	アメリカ
大阪	滋賀	19	108	137	清酒	ウイスキー	リキュール	アメリカ	大韓民国	中華人民共和国
	京都	31	3,791	2,211	清酒	リキュール	甘味果実酒	アメリカ	台湾	中華人民共和国
	大阪	55	3,819	4,120	リキュール	ウイスキー	清酒	中華人民共和国	香港	アメリカ
	兵庫	52	9,692	5,378	清酒	リキュール	ウイスキー	アメリカ	台湾	香港
	奈良	15	955	640	リキュール	清酒	リキュール	アメリカ	中華人民共和国	台湾
	和歌山	19	350	346	リキュール	清酒	ウイスキー	中華人民共和国	香港	大韓民国
		計	191	18,714	12,833	清酒	リキュール	ウイスキー	アメリカ	台湾
広島	鳥取	13	45	75	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	アメリカ	大韓民国	中華人民共和国
	島根	13	115	139	清酒	リキュール	ビール	アメリカ	台湾	中華人民共和国
	岡山	11	68	86	清酒	その他の醸造酒	リキュール	アメリカ	アジア/その他不明	大韓民国
	広島	20	440	560	清酒	ウイスキー	リキュール	フランス	中華人民共和国	アメリカ
	山口	15	1,812	4,042	清酒	ウイスキー	リキュール	中華人民共和国	香港	アメリカ
		計	72	2,479	4,901	清酒	ウイスキー	リキュール	中華人民共和国	アメリカ
高松	徳島	5	22	25	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	アメリカ	中華人民共和国	台湾
	香川	4	11	17	清酒	リキュール	ウイスキー	シンガポール	アメリカ	中華人民共和国
	愛媛	11	66	60	リキュール	清酒	ビール	台湾	ベトナム	タイ
	高知	10	125	156	清酒	スピリッツ	リキュール	アメリカ	中華人民共和国	香港
		計	30	224	257	清酒	リキュール	ビール	アメリカ	中華人民共和国
福岡	福岡	28	309	413	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	アメリカ	中華人民共和国	台湾
	佐賀	20	101	109	清酒	単式蒸留焼酎	リキュール	中華人民共和国	香港	大韓民国
	長崎	13	69	346	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	中華人民共和国	大韓民国	香港
		計	61	480	868	清酒	リキュール	単式蒸留焼酎	中華人民共和国	アメリカ
熊本	熊本	7	6	9	リキュール	単式蒸留焼酎	清酒	台湾	アメリカ	大洋州/その他不明
	大分	6	64	39	単式蒸留焼酎	リキュール	清酒	アメリカ	台湾	カナダ
	宮崎	11	27	26	単式蒸留焼酎	発泡酒	リキュール	台湾	アメリカ	シンガポール
	鹿児島	18	632	652	ウイスキー	単式蒸留焼酎	連続式蒸留焼酎	中華人民共和国	アメリカ	大韓民国
		計	42	729	726	単式蒸留焼酎	ウイスキー	連続式蒸留焼酎	アメリカ	中華人民共和国
沖縄	沖縄	24	3,455	771	ビール	発泡酒	リキュール	台湾	アメリカ	香港
全国計		1,047	100,339	60,512	ビール	清酒	リキュール	台湾	中華人民共和国	アメリカ

(注) 「輸出数量上位3品目」は、輸出数量が多い上位3品目を、「主要品目の主な輸出先国」は、主要品目（清酒、単式蒸留焼酎、ビール・発泡酒、ウイスキー、日本ワイン、スピリッツ（RTD商品を除く。）及びリキュール（新ジャンル及びRTD商品を除く。））の総輸出量の輸出先国上位3か国を記載している。

II 個別調査項目

1 清酒製造業

清酒の製造免許を有している製造業者について、酒類業実態調査の集計結果を清酒製造業として取りまとめたものである。

(1) 都道府県別の事業者数等

都道府県別に事業者数、売上数量及び売上金額を集計したものが表 22 である。国内の売上数量・金額の上位 3 位は京都府、兵庫県、新潟県となっており、同 3 府県の売上数量を合計すると国内の売上数量・金額の 56.7%となる。また、同 3 府県の売上金額を合計すると、国内の売上金額全体の 48.7%となる。

輸出については、輸出数量の上位 3 位は兵庫県、京都府、山口県であり、同 3 府県の輸出数量を合計すると、国内の輸出数量の 68.9%となる。また、輸出売上金額は、輸出金額全体の上位 3 位は山口県、兵庫県、京都府であり、同 3 府県の輸出金額の合計は、国内の輸出金額全体の合計 60.0%となる。

表 22

都道府県別の事業者数及び取引状況

局所名	都道府県別	事業者数	国内		輸出	
			売上数量	売上金額	売上数量	売上金額
札幌	北海道	12	2,936	3,071	135	155
仙台	青森	16	3,755	4,244	48	53
	岩手	17	3,362	3,095	145	168
	宮城	30	7,173	6,758	55	149
	秋田	28	16,216	12,696	208	239
	山形	49	8,267	9,125	251	364
	福島	58	12,810	10,416	95	130
	計	198	51,582	46,335	802	1,103
関東信越	茨城	34	2,756	2,118	89	81
	栃木	25	6,888	3,754	173	90
	群馬	20	2,349	1,584	21	26
	埼玉	27	17,901	7,032	151	67
	新潟	88	34,929	33,222	615	1,012
	長野	72	8,515	7,941	149	168
	計	266	73,337	55,652	1,197	1,445
東京	千葉	28	12,404	4,583	145	98
	東京	11	1,332	1,368	14	35
	神奈川	9	460	607	8	15
	山梨	10	1,377	1,137	15	40
	計	58	15,573	7,694	182	187
金沢	富山	16	4,205	3,994	106	206
	石川	21	8,627	7,694	109	140
	福井	19	2,498	3,567	173	315
	計	56	15,330	15,255	389	662
名古屋	岐阜	37	3,484	3,472	180	107
	静岡	17	2,506	2,731	169	198
	愛知	30	11,639	5,662	111	77
	三重	18	1,780	2,320	46	85
	計	102	19,409	14,185	507	467
大阪	滋賀	26	2,921	1,591	41	51
	京都	34	111,016	60,963	2,469	1,287
	大阪	13	718	910	17	28
	兵庫	56	93,238	47,206	5,703	2,502
	奈良	26	2,975	2,465	415	168
	和歌山	13	2,081	1,520	89	73
	計	168	212,949	114,655	8,733	4,109
広島	鳥取	13	530	667	40	41
	島根	22	1,622	1,840	99	114
	岡山	37	2,109	2,052	56	55
	広島	34	7,389	6,362	211	224
	山口	28	4,128	7,750	1,806	3,957
	計	134	15,779	18,670	2,211	4,391
高松	徳島	14	352	374	20	23
	香川	5	907	1,022	10	13
	愛媛	25	1,398	1,443	10	24
	高知	16	3,415	3,017	42	60
	計	60	6,073	5,856	82	119
福岡	福岡	40	2,490	2,917	151	176
	佐賀	21	2,584	2,958	81	87
	長崎	11	832	775	4	6
	計	72	5,905	6,651	235	268
熊本	熊本	8	879	864	X	X
	大分	26	2,132	1,566	5	3
	宮崎	2	X	X	X	X
	鹿児島	1	X	X	X	X
	計	37	X	X	X	X
沖縄	沖縄	1	X	X	X	X
全	国	1,164	422,022	290,608	14,480	12,911

(2) 清酒製造業の経営状況

清酒製造業に係る経営状況を集計したものが表 23 及び表 24 である。清酒製造業者の 58.3%が欠損又は低収益となっている。

また、いずれの企業区分においても、清酒製造業の 1 者平均の売上総利益及び営業利益はプラスであった。

表 23 清酒製造業の欠損及び低収益事業者数

区 分	事業者数	割合
清酒製造業者	1,164	100.0
欠損又は低収益事業者	679	58.3
欠損事業者	610	52.4
低収益事業者	69	5.9

表 24 清酒製造業の経営状況（1 者平均）

項目	企業区分	事業者計			
		大企業	中小企業	個人事業者	
事業者数					
		者	者	者	
		1,164	6	1,121	
		者	者	者	
		37			
		百万円	百万円	百万円	
売上高	課税売上高	269	12,039	214	
	未納税売上高	18	391	16	
	その他売上高	7	40	7	
	計	293	12,471	237	
売上原価	課税売上原価	168	6,879	137	
	未納税売上原価	12	231	11	
	その他売上原価	5	39	5	
	計	185	7,150	153	
売上総利益		108	5,321	83	
販売費及び一般管理費		104	4,979	81	
営業利益		4	342	2	

(3) 清酒製造業に係る従業員数及び製造責任者の状況

清酒製造業者の企業区分別の従業員数を集計したものが表 25 である。大企業ではその他の従業員数の割合が高くなっている一方、中小企業及び個人事業者については、

各部門ほぼ同数となっている。

清酒製造業者の製造責任者の構成割合を集計したものが図8である。代表者親族又は社員杜氏が製造責任者である事業者がそれぞれ43.2%、44.7%となっており、杜氏制については12.1%であった。また、製造責任者について、企業区分別に集計すると表26のとおりとなる。

表 25 清酒製造業の企業区分別の従業員数（1者平均）

企業区分	部門	事業者数	従業員計			
			製造部門	詰口部門	その他	
大企業		6	171人	33人	41人	97人
中小企業		1,118	13人	5人	4人	4人
個人事業者		37	4人	2人	1人	1人

図 8 清酒製造業の製造責任者の構成割合

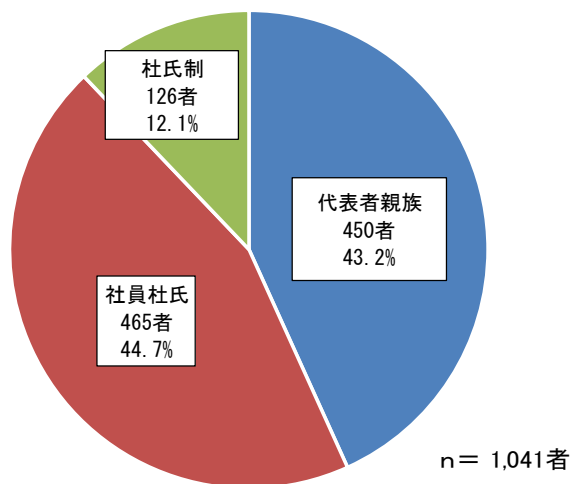


表 26 清酒製造業の企業区分別の製造責任者

企業区分	責任者	事業者数		
		代表者親族	杜氏制	社員杜氏
大企業	者	6	1	5
中小企業	者	999	428	453
個人事業者	者	36	21	7

(4) 清酒の課税移出数量の地域別内訳

清酒の課税移出数量について、移出先ごとに集計したものが表 27 である。移出先の地域が自都道府県であるのは課税移出数量全体の 31.4%であり、残りは他の都道府県へ移出している結果となった。

表 27

都道府県別の清酒の課税移出数量

局所名	都道府県別	事業者数	移出地域			課税移出 数量合計	移出地域別割合		
			自県	自局	他局		自県	自局	他局
札幌	北海道	12	2,628	-	148	2,776	94.7%	-	5.3%
仙台	青森	16	2,158	146	751	3,055	70.7%	4.8%	24.6%
	岩手	17	2,037	133	1,125	3,296	61.8%	4.0%	34.1%
	宮城	30	2,690	2,185	1,825	6,700	40.1%	32.6%	27.2%
	秋田	28	4,532	2,751	8,604	15,887	28.5%	17.3%	54.2%
	山形	49	3,463	458	3,003	6,924	50.0%	6.6%	43.4%
	福島	58	4,887	676	5,923	11,486	42.5%	5.9%	51.6%
	計	198	19,766	6,349	21,232	47,348	41.7%	13.4%	44.8%
関東信越	茨城	34	1,078	102	1,077	2,257	47.8%	4.5%	47.7%
	栃木	25	1,497	1,185	3,607	6,289	23.8%	18.8%	57.4%
	群馬	20	1,152	124	266	1,542	74.7%	8.1%	17.3%
	埼玉	27	2,423	1,328	14,083	17,835	13.6%	7.4%	79.0%
	新潟	88	17,070	3,095	11,029	31,193	54.7%	9.9%	35.4%
	長野	72	4,992	244	2,680	7,916	63.1%	3.1%	33.9%
	計	266	28,211	6,079	32,743	67,033	42.1%	9.1%	48.8%
東京	千葉	28	1,882	3,268	5,268	10,418	18.1%	31.4%	50.6%
	東京	11	1,096	132	75	1,303	84.1%	10.1%	5.8%
	神奈川	9	439	196	77	712	61.6%	27.6%	10.8%
	山梨	10	582	304	86	972	59.9%	31.2%	8.9%
	計	58	3,998	3,900	5,507	13,404	29.8%	29.1%	41.1%
金沢	富山	16	2,602	536	951	4,089	63.6%	13.1%	23.3%
	石川	21	1,867	195	1,649	3,711	50.3%	5.3%	44.4%
	福井	19	1,049	80	1,278	2,407	43.6%	3.3%	53.1%
	計	56	5,519	811	3,878	10,208	54.1%	7.9%	38.0%
名古屋	岐阜	37	1,407	617	1,393	3,417	41.2%	18.1%	40.8%
	静岡	17	1,304	170	865	2,339	55.8%	7.3%	37.0%
	愛知	30	3,749	1,102	5,027	9,879	38.0%	11.2%	50.9%
	三重	18	613	122	493	1,228	49.9%	10.0%	40.2%
	計	102	7,074	2,012	7,778	16,863	41.9%	11.9%	46.1%
大阪	滋賀	26	898	252	319	1,469	61.2%	17.2%	21.7%
	京都	34	2,550	9,047	44,246	55,843	4.6%	16.2%	79.2%
	大阪	13	554	88	62	705	78.7%	12.6%	8.8%
	兵庫	56	17,965	13,744	63,370	95,078	18.9%	14.5%	66.6%
	奈良	26	1,679	562	616	2,856	58.8%	19.7%	21.6%
	和歌山	13	804	370	604	1,777	45.2%	20.8%	34.0%
	計	168	24,450	24,063	109,215	157,728	15.5%	15.3%	69.2%
広島	鳥取	13	309	28	123	460	67.3%	6.1%	26.7%
	島根	22	1,001	137	451	1,590	63.0%	8.6%	28.4%
	岡山	37	1,263	104	725	2,093	60.4%	5.0%	34.7%
	広島	34	4,432	123	2,721	7,276	60.9%	1.7%	37.4%
	山口	28	778	227	3,076	4,081	19.1%	5.6%	75.4%
	計	134	7,783	620	7,097	15,499	50.2%	4.0%	45.8%
高松	徳島	14	273	28	41	342	79.8%	8.3%	11.9%
	香川	5	635	87	238	959	66.2%	9.1%	24.8%
	愛媛	25	942	202	199	1,344	70.1%	15.0%	14.8%
	高知	16	1,415	434	1,723	3,572	39.6%	12.1%	48.2%
	計	60	3,265	751	2,201	6,218	52.5%	12.1%	35.4%
福岡	福岡	40	2,007	81	626	2,714	73.9%	3.0%	23.1%
	佐賀	21	1,591	284	709	2,585	61.6%	11.0%	27.4%
	長崎	11	582	125	80	787	73.9%	15.9%	10.2%
	計	72	4,180	490	1,415	6,086	68.7%	8.1%	23.3%
熊本	熊本	8	649	23	183	855	76.0%	2.7%	21.4%
	大分	26	1,092	62	713	1,867	58.5%	3.3%	38.2%
	宮崎	2	X	X	X	X	X	X	X
	鹿児島	1	X	X	X	X	X	X	X
	計	37	X	X	X	X	X	X	X
沖縄	沖縄	1	X	X	X	X	X	X	
全	国	1,164	108,749	45,162	192,112	346,023	31.4%	13.1%	55.5%

(5) 清酒の未納稅取引の状況

企業区分別に、未納稅移出数量及び未納稅移出先取引先数を集計したものが表 28、未納稅移入について集計したものが表 29 である。中小企業では、未納稅移出を行っている事業者数が未納稅移入を行っている事業者数よりも多いが、個人事業者では、未納稅移入を行っている事業者数が、未納稅移出を行っている事業者数よりも多い結果となった。

表 28 企業区分別の清酒の未納稅移出（自社間除く。）数量及び取引先数

企業区分	事業者数	未納稅移出製造者数	未納稅移出取引先数 (1者平均)	未納稅移出数量(全体合計)
大企業	6	5	38	5,431
中小企業	1,121	508	5	59,704
個人事業者	37	8	2	243

表 29 企業区分別の清酒の未納稅移入（自社間除く。）数量及び取引先数

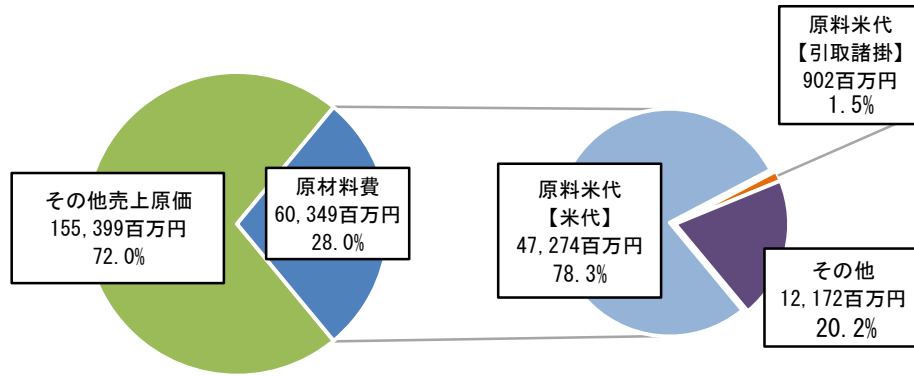
企業区分	事業者数	未納稅移入製造者数	未納稅移入取引先数 (1者平均)	未納稅移入数量(全体合計)
大企業	6	5	7	13,080
中小企業	1,121	365	2	39,656
個人事業者	37	15	1	22

(6) 清酒の原材料費

清酒の製造原価を集計したものが図9である。清酒の生産費等製造原価のうち、原材料費が占める割合は 28.0%となり、原材料費のうち原料米代が占める割合は 78.3%となった。また、課稅移出数量規模別に、原材料費等を集計したものが表 30 である。課稅移出数量が 10,000kl 以下の事業者では、売上原価に占める原材料費の割合がおおむね 30%であり、また売上原価に占める原料米代の割合が 20%を超えている一方、課稅移出数量が 10,000kl を超える事業者においては売上原価に占める原材料費の割合が 20.0%、原料米代の割合が 14.3%となっている。

図 9

清酒原材料費の構成割合



n = 1,164

表 30

課税移出数量規模別の清酒の原料米代（1者平均）

課税移出数量規模	事業者数	売上高	売上原価	原材料費	原料米代		
					米代	引取諸掛	
	者	千円	千円	千円	千円	千円	千円
100k l 以下	799	104,465	62,700	18,722	14,974	14,711	262
100k l 超 500k l 以下	280	244,092	155,931	51,750	42,733	41,116	1,617
500k l 超 1,000k l 以下	42	673,186	438,595	120,708	94,336	92,538	1,798
1,000k l 超 5,000k l 以下	34	2,006,846	1,299,226	392,070	334,552	332,002	2,550
5,000k l 超 10,000k l 以下	3	3,297,338	2,292,069	669,864	470,264	469,204	1,061
10,000k l 超	6	14,004,944	8,753,050	1,748,343	1,249,860	1,237,416	12,445
合計	1,164	294,022	185,350	51,846	41,388	40,613	775

2 単式蒸留焼酎製造業

単式蒸留焼酎の製造免許を有している製造業者について、酒類業実態調査の集計結果を単式蒸留焼酎製造業として取りまとめたものである。

(1) 単式蒸留焼酎製造業の経営状況

単式蒸留焼酎製造業に係る経営状況を集計したものが、表 31 及び表 32 である。単式蒸留焼酎製造業者の 53.7%が欠損又は低収益となっている。

また、いずれの企業区分においても、単式蒸留焼酎製造業の 1 者平均の売上総利益及び営業利益はプラスであった。

表 31 単式蒸留焼酎製造業の欠損及び低収益事業者数

区 分	事業者数	割合
単式蒸留焼酎製造業者	588	100.0
欠損又は低収益事業者	316	53.7
欠損事業者	289	49.1
低収益事業者	27	4.6

表 32 単式蒸留焼酎製造業の経営状況（1 者平均）

項目	企業区分	事業者計			
		事業者	大企業	中小企業	個人事業者
事業者数		588	9	568	11
売上高	課税売上高	473	6,880	380	11
	未納税売上高	19	5	20	0
	その他売上高	2	-	2	-
	計	494	6,885	402	11
売上原価	課税売上原価	308	3,548	263	3
	未納税売上原価	13	4	14	0
	その他売上原価	2	-	2	-
	計	323	3,552	278	3
売上総利益		170	3,333	123	8
販売費及び一般管理費		125	1,339	108	6
営業利益		46	1,994	15	2

(2) 単式蒸留焼酎製造業に係る従業員数及び製造責任者の状況

単式蒸留焼酎製造業者の企業区分別の従業員数を集計したものが表 33 である。大企業では、製造部門及び詰口部門の従業員の割合が高くなっている一方、中小企業では各部門がほぼ同数となっている。

単式蒸留焼酎製造業者の製造責任者の構成割合を集計したものが図 10 である。社員杜氏が製造責任者となっている割合が 62.7%と最も高く、次いで代表者親族が 31.1%となっている。また、製造責任者について企業区分別に集計すると表 34 のとおりとなる。

表 33 単式蒸留焼酎製造業の企業区分別の従業員数（1者平均）

企業区分	部門	事業者数	従業員計			
			製造部門	詰口部門	その他	
大企業		9	29人	11人	12人	7人
中小企業		568	12人	4人	4人	4人
個人事業者		11	3人	1人	2人	0人

図 10 単式蒸留焼酎製造業の製造責任者の構成割合

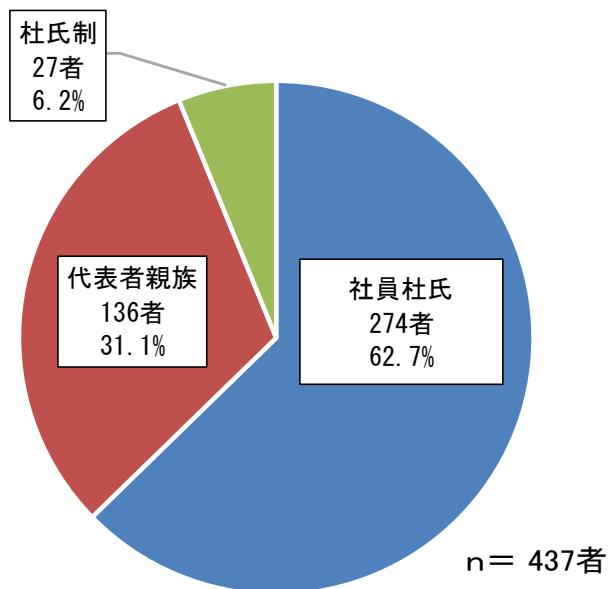


表 34 単式蒸留焼酎製造業の企業区分別の製造責任者

責任者 企業区分	事業者数			
	代表者親族	杜氏制	社員杜氏	
大企業	7	1	-	6
中小企業	421	128	27	266
個人事業者	9	7	-	2

(3) 単式蒸留焼酎の未納税取引の状況

企業区分別に、未納税移出数量及び未納税移出先取引先数を集計したものが表 35、未納税移入について集計したものが表 36 である。中小企業においては、未納税移出を行っている製造業者数が、未納税移入を行っている製造業者数よりも高い結果となった。

表 35 企業区分別の単式蒸留焼酎の未納税移出（自社間除く。）数量及び取引先数（1者平均）

企業区分	事業者数	未納税移出製造業者数	未納税移出取引先数 （1者平均）	未納税移出数量 （全体合計）
大企業	9	5	3	142
中小企業	568	192	3	73,385
個人事業者	11	1	X	X

表 36 企業区分別の単式蒸留焼酎の未納税移入（自社間除く。）数量及び取引先数（1者平均）

企業区分	事業者数	未納税移入製造業者数	未納税移入取引先数 （1者平均）	未納税移入数量 （全体合計）
大企業	9	6	5	4,725
中小企業	568	157	2	62,498
個人事業者	11	2	X	X

(4) 単式蒸留焼酎の原材料別製成数量、売上数量及び売上金額

単式蒸留焼酎の原材料別に製成数量を集計したものが図 11、原材料別に国内の売上数量を集計したものが図 12、売上金額を集計したものが図 13 である。製成数量については、原材料のうち、麦と芋が占める割合が大きく、それぞれ 44.6%と 41.8%となっている。

国内の売上数量及び売上金額についても芋と麦の占める割合が大きく、芋については国内取引数量及び金額のそれぞれ42.3%と45.1%を、麦についてはそれぞれ39.9%と38.3%を占めている。

図 11 単式蒸留焼酎の原材料別製成数量

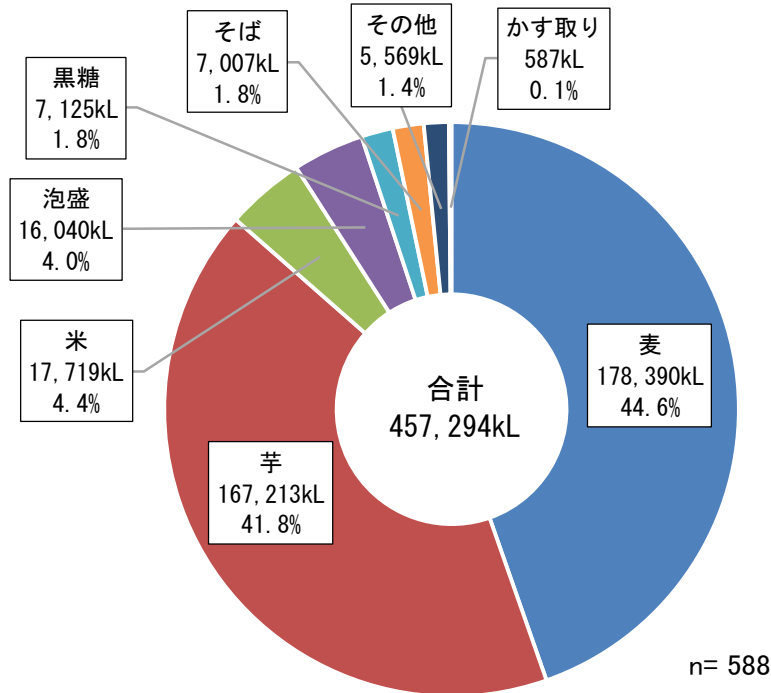


図 12 単式蒸留焼酎の原材料別売上数量

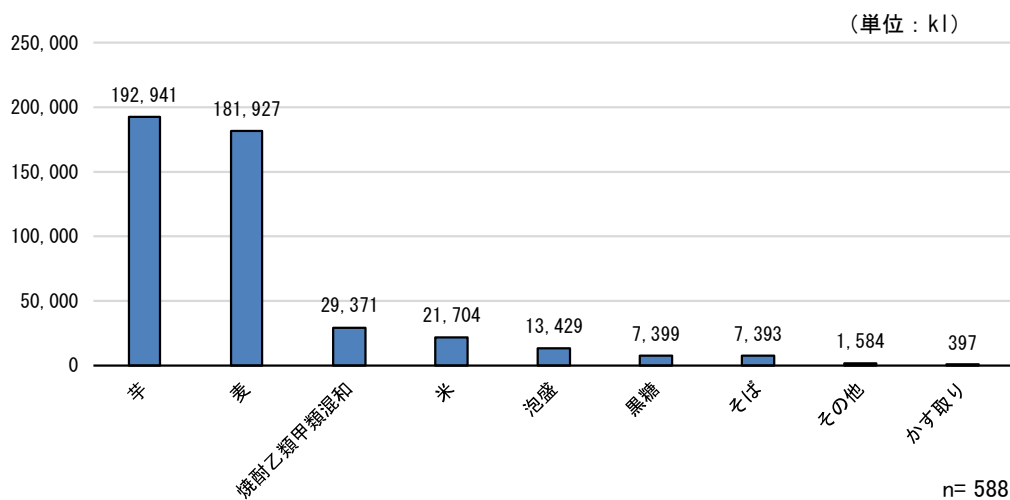
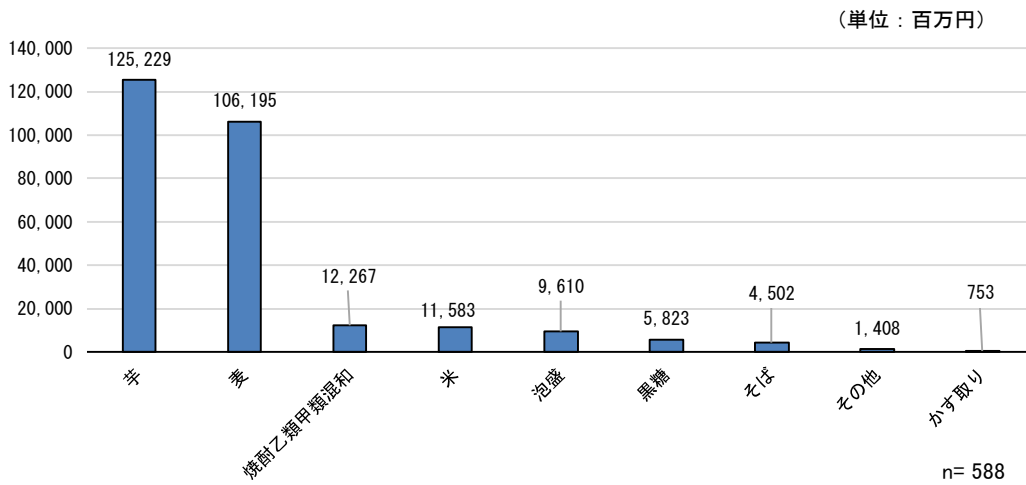


図 13 単式蒸留焼酎の原材料別売上金額



(5) 単式蒸留焼酎の原材料別輸出数量及び輸出金額

単式蒸留焼酎の原材料別に輸出数量を集計したものが図 14、輸出金額を集計したものが図 15 である。輸出数量については、芋及び麦を原材料とする単式蒸留焼酎の割合が高く、それぞれ輸出数量全体の 25.1%、22.5%となっている。

輸出金額についても、芋及び麦を原材料とするものの割合が高く、それぞれ単式蒸留焼酎の輸出金額全体の、27.4%、26.9%を占めている。

図 14 単式蒸留焼酎の原材料別輸出数量

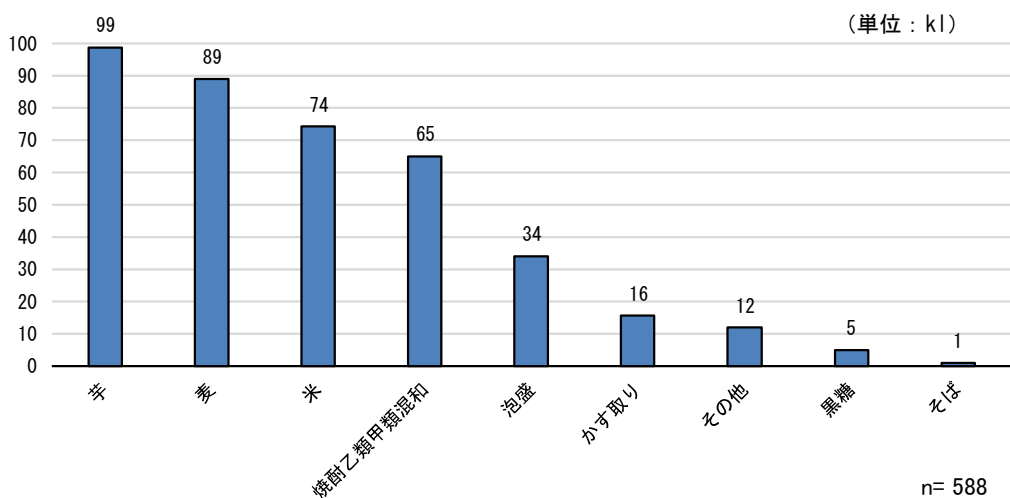
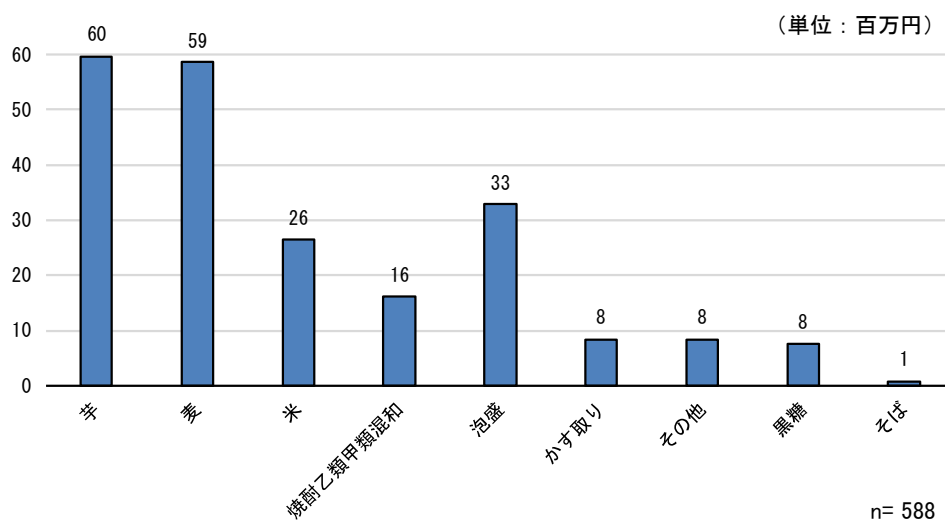


図 15 単式蒸留焼酎の原材料別輸出金額



(6) 九州地方における単式蒸留焼酎の原料別製成数量等

九州地方における単式蒸留焼酎の原料別製成数量を集計したものが表 37、国内売上数量及び売上金額を集計したものが表 38、輸出数量及び輸出金額を集計したものが表 39 である。売上数量及び金額が最も多い芋を主原料にした焼酎については、製成数量、国内売上数量及び金額が最も多いのは宮崎県であり、輸出数量及び輸出金額について最も多いのは鹿児島県となった。

表 37 九州地方における単式蒸留焼酎の主要原料別製成数量

地域	県	事業者数	芋	米	麦	そば	黒糖	かす取り	泡盛	その他	合計
九州	福岡	32	119	623	7,265	-	-	140	-	276	8,423
	佐賀	9	-	32	2,548	-	-	33	-	-	2,613
	長崎	22	82	65	2,612	X	-	3	-	X	2,774
	熊本	29	410	9,599	710	X	-	-	-	X	10,741
	大分	30	16	530	71,192	X	-	12	-	X	71,816
	宮崎	33	101,577	674	10,844	4,344	-	-	-	2,814	120,254
	鹿児島	96	60,104	3,143	32,704	X	7,125	-	-	X	103,343
	計	251	162,309	14,664	127,876	4,691	7,125	188	-	3,111	319,964
沖縄	沖縄	39	-	-	-	-	-	-	16,040	-	16,040
その他地域		298	4,905	3,055	50,514	2,316	-	399	X	2,457	X
合計		588	167,213	17,719	178,390	7,007	7,125	587	X	5,569	X

表 38

九州地方における単式蒸留焼酎の主要原料別売上数量及び売上金額

地域	県	事業者数	芋		米		麦		そば		黒糖		かす取り		泡盛		その他		甲類乙類混和		合計			
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
		者	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円
九州	福岡	32	251	177	237	62	5,020	1,803	5	1	-	-	102	42	-	-	437	389	X	X	X	X	X	X
	佐賀	9	1,226	860	27	24	3,020	1,631	X	X	-	-	22	25	-	-	6	10	X	X	4,604	2,683		
	長崎	22	101	116	8	11	2,256	2,301	0	0	-	-	1	1	-	-	26	40	-	-	2,392	2,469		
	熊本	29	412	347	16,240	8,841	810	255	X	X	-	-	X	X	-	-	6	8	X	X	17,653	9,515		
	大分	30	177	146	621	224	86,288	60,266	46	11	-	-	7	4	-	-	2	3	X	X	X	X		
	宮崎	33	109,946	72,431	526	301	10,540	7,958	4,892	3,369	-	-	-	-	-	-	481	267	-	-	126,385	84,326		
	鹿児島	96	77,385	48,937	1,845	792	37,513	16,270	255	86	7,399	5,823	X	X	-	-	22	20	-	-	X	X		
	計	251	189,499	123,015	19,504	10,255	145,447	90,484	5,218	3,482	7,399	5,823	133	73	-	-	980	737	977	290	369,158	234,160		
沖縄	沖縄	39	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,392	9,572	-	-	-	-	X	X		
その他地域		298	X	X	2,216	1,332	36,665	15,713	2,179	1,020	-	-	324	684	37	38	614	672	28,394	11,977	X	X		
合計		588	192,947	125,229	21,720	11,587	182,112	106,197	7,397	4,502	7,399	5,823	456	758	13,429	9,610	1,594	1,408	29,371	12,267	456,426	277,381		

表 39

九州地方における単式蒸留焼酎の主要原料別輸出数量及び輸出金額

地域	県	事業者数	芋		米		麦		そば		黒糖		かす取り		泡盛		その他		甲類乙類混和		合計			
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
		者	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円	kl	百万円
九州	福岡	32	2	2	0	0	5	5	0	0	-	-	-	-	-	-	10	6	-	-	18	14		
	佐賀	9	2	1	0	0	3	2	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	X	X		
	長崎	22	1	1	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	
	熊本	29	0	0	2	2	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X		
	大分	30	0	0	X	X	19	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	49	21		
	宮崎	33	12	7	X	X	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	X	X		
	鹿児島	96	72	37	64	17	52	28	-	-	5	8	-	-	-	-	-	-	-	-	193	90		
	計	251	89	49	67	20	X	X	0	0	5	8	X	X	-	-	11	8	X	X	286	146		
沖縄	沖縄	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	33	-	-	-	-	34	33		
その他地域		298	10	10	8	7	X	X	1	1	-	-	X	X	-	-	1	1	X	X	76	40		
合計		588	99	60	74	26	91	59	1	1	5	8	16	8	34	33	12	8	65	16	397	219		

(7) 単式蒸留焼酎の原材料費等

単式蒸留焼酎の製造原価に占める原材料費等の割合を集計したものが図 16 である。原材料費に占める主原料代の割合は、91.3%となった。また、課税移出数量規模別に、原材料費等を集計したものが表 40 である。原材料費に占める主原料代の割合については、移出数量規模が大きくなるほど割合が高い結果となった。

焼酎粕の処理費を集計したものが表 41 である。1トン当たりの平均処理単価は 8,010 円であり、1者当たりの平均処理費は 9,569 千円となった。

図 16 単式蒸留焼酎の原材料費の構成比

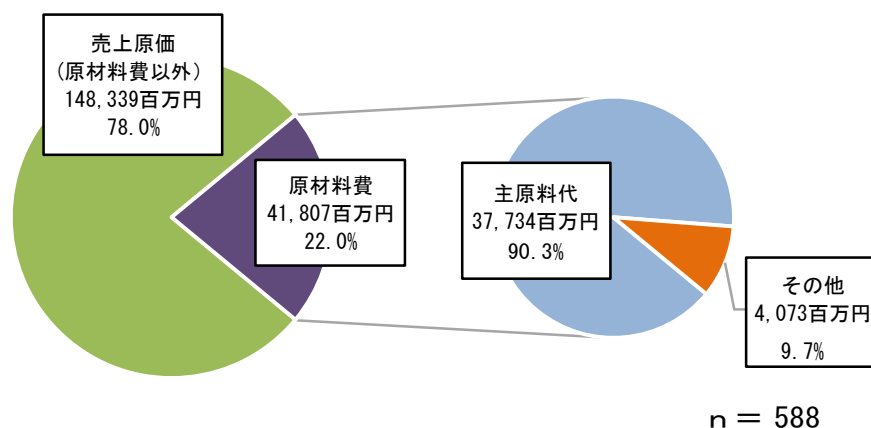


表 40 単式蒸留焼酎製造業の課税移出数量規模別の原材料費 (1 者平均)

移出数量規模	事業者数	売上高	売上原価	原材料費計		
				主原料代	その他	
	者	千円	千円	千円	千円	千円
100kl 以下	440	42,708	28,027	3,964	2,704	1,260
100kl 超 500kl 以下	79	202,115	126,586	33,598	25,431	8,167
500kl 超 1,000kl 以下	22	462,529	308,187	88,518	66,978	21,540
1,000kl 超 5,000kl 以下	32	1,235,829	798,190	197,009	165,030	31,979
5,000kl 超 10,000kl 以下	6	3,236,188	2,068,406	648,026	592,937	55,089
10,000kl 超	9	20,708,567	13,675,624	2,807,621	2,691,468	116,153
合計	588	493,665	323,377	71,100	64,174	6,926

表 41 焼酎粕の処理費

平均処理単価	平均処理費
円/トン	千円
8,010	9,569

3 ワイン製造業

果実酒の製造免許を有し、ぶどう（濃縮果汁を含む。以下同じ。）を原料とした果実酒を製造している製造業者の集計結果を、ワイン製造業として取りまとめたもの。

(1) 国内のワイナリー数

令和3年1月1日現在のワイナリー数を都道府県別に集計したものが表42、製造免許場及び製造免許者について集計したものが表43である。全国のワイナリー数は413場であり、前回調査から44場増加している。

また、上位3地域（山梨県、長野県、北海道）で全国のワイナリー数の48.4%を占めている。

表 42 都道府県別のワイナリー数

順位	都道府県	ワイナリー数 (場)	順位	都道府県	ワイナリー数 (場)
1	山 梨	92	24	埼 玉	4
2	長 野	62	24	石 川	4
3	北 海 道	46	24	京 都	4
4	山 形	19	24	熊 本	4
5	岩 手	11	29	群 馬	3
6	青 森	10	29	富 山	3
6	新 潟	10	29	兵 庫	3
6	岡 山	10	29	福 岡	3
9	福 島	9	33	岐 阜	2
10	茨 城	8	33	三 重	2
10	栃 木	8	33	滋 賀	2
10	静 岡	8	33	和 歌 山	2
10	愛 知	8	33	山 口	2
10	大 阪	8	33	愛 媛	2
15	広 島	7	33	高 知	2
16	宮 城	6	40	福 井	1
16	千 葉	6	40	徳 島	1
16	東 京	6	40	香 川	1
16	神 奈 川	6	40	長 崎	1
16	大 分	6	40	鹿 児 島	1
16	宮 崎	6	45	奈 良	-
22	鳥 取	5	45	佐 賀	-
22	島 根	5	45	沖 縄	-
24	秋 田	4	全 国 計		413

表 43

都道府県別果実酒個別個表の対象者（場）及び回答者（場）数

局名	都道府県別	製造免許場						製造免許者					
		果実酒製造免許場数			実態調査 対象場数	回答 場数	内 日本 ワイン	果実酒製造免許者数			実態調査 対象者数	回答 者数	
		内 試験免許	内 ぶどう原料ワインの 製造又は移出届	場				内 試験免許	内 ぶどう原料ワインの 製造又は移出届	者			
札幌	北海道	64	9	9	46	36	34	55	6	5	44	36	
仙台	青森	19	4	5	10	3	3	14	3	3	8	3	
	岩手	15	1	3	11	9	9	15	1	3	11	9	
	宮城	7	-	1	6	6	6	6	-	-	6	6	
	秋田	8	2	2	4	2	2	8	2	2	4	2	
	山形	21	1	1	19	16	16	21	1	1	19	16	
	福島	12	1	3	9	6	6	12	1	1	9	6	
	計	82	9	15	59	42	42	76	8	10	57	42	
関東信越	茨城	12	3	1	8	6	4	9	1	-	8	6	
	栃木	13	3	2	8	7	5	10	2	1	7	6	
	群馬	7	1	3	3	2	1	7	1	3	3	2	
	埼玉	8	1	3	4	2	1	8	1	3	4	2	
	新潟	17	5	2	10	10	9	16	5	1	10	10	
	長野	79	6	11	62	50	48	67	5	8	54	44	
	計	136	19	22	95	77	68	117	15	16	86	70	
東京	千葉	10	1	3	6	3	1	9	1	3	5	3	
	東京都	16	9	1	6	3	3	39	18	7	13	10	
	神奈川	14	7	1	6	3	1	4	-	-	4	1	
	山梨	104	4	8	92	71	66	86	3	5	78	60	
	計	144	21	13	110	80	71	138	22	15	100	74	
金沢	富山	6	1	2	3	3	3	6	1	2	3	3	
	石川	6	2	-	4	2	2	6	2	-	4	2	
	福井	2	1	-	1	1	1	2	1	-	1	1	
	計	14	4	2	8	6	6	14	4	2	8	6	
名古屋	岐阜	14	6	6	2	2	2	10	3	6	1	1	
	静岡	13	3	2	8	7	4	10	1	2	7	6	
	愛知	16	3	5	8	6	2	17	4	4	9	7	
	三重	8	3	3	2	-	-	5	1	2	2	-	
	計	51	15	16	20	15	8	42	9	14	19	14	
大阪	滋賀	4	2	-	2	2	1	3	1	-	2	2	
	京都	8	4	-	4	2	2	7	3	-	4	2	
	大阪	19	7	4	8	5	4	19	8	3	8	5	
	兵庫	13	3	8	3	3	2	11	2	5	3	3	
	奈良	4	2	2	-	-	-	3	1	2	-	-	
	和歌山	9	2	5	2	2	2	9	2	5	2	2	
	計	57	20	19	19	14	11	52	17	15	19	14	
広島	鳥取	8	2	1	5	3	3	6	1	1	4	3	
	島根	8	2	1	5	4	4	7	1	1	5	4	
	岡山	17	5	2	10	9	9	16	6	1	9	8	
	広島	17	6	4	7	6	6	17	5	5	7	6	
	山口	2	-	-	2	1	1	2	-	-	2	1	
	計	52	15	8	29	23	23	48	13	8	27	22	
高松	徳島	3	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	
	香川	2	1	-	1	1	1	2	1	-	1	1	
	愛媛	4	2	-	2	-	-	4	2	-	2	-	
	高知	3	1	-	2	1	-	3	1	-	2	1	
	計	12	5	1	6	3	2	12	5	1	6	3	
福岡	福岡	9	4	2	3	2	2	9	4	1	4	2	
	佐賀	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
	長崎	3	2	-	1	1	1	3	2	-	1	1	
	計	13	7	2	4	3	3	13	7	1	5	3	
熊本	熊本	9	3	2	4	3	2	7	3	1	3	2	
	大分	8	1	1	6	5	5	7	1	1	5	5	
	宮崎	9	3	-	6	3	3	9	3	-	6	3	
	鹿児島	4	-	3	1	-	-	4	-	3	1	1	
	計	30	7	6	17	11	10	27	7	5	15	11	
沖縄	沖縄	9	3	6	-	-	-	8	2	6	-	-	
	全国計	664	134	119	413	310	278	602	115	98	386	295	

- (注) 1 令和3年1月1日現在の製造免許場数及び製造免許者数である。
- 2 他の酒類において試験製造免許以外の免許を有している製造者が、果実酒製造免許は試験製造免許のみを有している場合は、試験製造免許者として集計している。
- 3 回答場数及び回答者数は、令和3年酒類業実態調査の、果実酒に係る個別項目について回答があった場（者）の数である。
- 4 「内 日本ワイン」の項目は、回答者のうち、日本ワインの製成数量がある場（者）の数を示している。

(2) ワイン製造業の専門割合

事業者の総売上高に占めるワインの売上高の比率（以下「専門割合」という。）について集計したものが図 17 である。専門割合が 100%の者は 43 者（全体の 14.6%）となった。

ワイン製造業者について、製成数量別に専門割合ごとに事業者数を集計したものが表 44 である。専門割合が 100%の者は製成数量が 300kl 未満の事業者となった。

図 17 専門割合別構成比

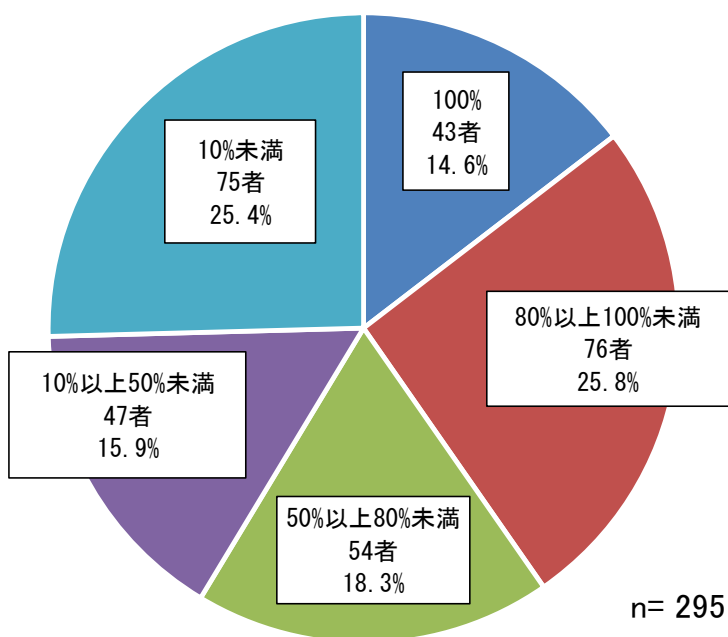


表 44 製成数量規模別の専門割合

製成数量規模 \ 専門割合	10%未満	10%以上 50%未満	50%以上 80%未満	80%以上 100%未満	100%	合計
	者	者	者	者	者	者
100kl 未満	69	45	44	56	41	255
100kl 以上 300kl 未満	2	2	5	6	2	17
300kl 以上 1,000kl 未満	2	-	1	12	-	15
1,000kl 以上	2	-	4	2	-	8
合計	75	47	54	76	43	295

(3) ワイン製造業の経営状況

ワイン製造業に係る経営状況及びワインの売上状況について集計したものが表 45 である。ワイン製造者の 46.4%が欠損又は低収益となっている。

また、製成数量が少ない製造者ほど売上高原料費率や売上高販売費・一般管理費率が高い傾向にあり、製成数量が 100kl 未満の製造者については、全体の営業利益がマイナスとなっている。一方、製成数量が 1,000kl を超える製造者については、営業利益率が 30.4%となっている。

期限付免許者（※）のうち、免許付与後 3 年までの新規製造者の経営状況及びワインの売上状況について集計したものが表 46 である。新規製造者全体としてはワイン製造業に係る営業利益がマイナスとなっている。

※ 製造者以外の者又は他の酒類の製造者が新たに果実酒の製造免許を受ける場合には、原則として 3 年間、免許に期限が付与される。

表 45 ワイン製造者の経営状況及びワインの売上状況

項目	製成数量規模				
	合計	100kl 未満	300kl 未満	1,000kl 未満	1,000kl 以上
	者	者	者	者	者
事業者数	295	255	17	15	8
欠損又は低収益事業者数	137	128	4	3	2
割合	46.4%	50.2%	23.5%	20.0%	25.0%
欠損事業者数	105	96	4	3	2
割合	35.6%	37.6%	23.5%	20.0%	25.0%
低収益事業者数	32	32	-	-	-
割合	10.8%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
売上高	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	79,686	8,100	4,170	8,415	59,002
日本ワイン	21,688	6,872	3,626	5,067	6,124
製造原価	42,276	4,828	2,236	4,523	30,688
原料費	10,658	2,146	1,004	2,025	5,483
売上総利益	37,410	3,272	1,934	3,891	28,314
販売費・一般管理費	15,118	4,280	1,541	3,174	6,124
営業利益	18,020	△1,008	393	717	17,917
	%	%	%	%	%
売上高製造原価率	53.1	59.6	53.6	53.8	52.0
原料費率	13.4	26.5	24.1	24.1	9.3
売上高売上総利益率	46.9	40.4	46.4	46.2	48.0
売上高販売費・一般管理費率	19.0	52.8	36.9	37.7	10.4
売上高営業利益率	22.6	△12.4	9.4	8.5	30.4

(注) 製造原価及び販売費・一般管理費については事業年度を調査対象期間としているが、売上高については暦年で回答した事業者を含む。

表 46 新規製造者の経営状況及びワインの売上状況

項目	製成数量規模		
	合計	10kl未満	100kl未満
事業者数	52	40	12
欠損又は低収益事業者数	28	24	4
割合	53.8%	60.0%	33.3%
欠損	23	19	4
割合	44.2%	47.5%	33.3%
低収益	5	5	-
割合	9.6%	12.5%	0.0%
売上高	百万円 659	百万円 220	百万円 439
日本ワイン	642	211	431
製造原価	500	136	364
原料費	157	36	121
売上総利益	159	83	76
販売費・一般管理費	461	107	354
営業利益	△ 302	△ 23	△ 278
売上高製造原価率	% 75.9	% 62.0	% 82.8
原料費率	23.8	16.4	27.5
売上高売上総利益率	24.1	38.0	17.2
売上高販売費・一般管理費率	69.9	48.6	80.6
売上高営業利益率	△ 45.8	△ 10.6	△ 63.4

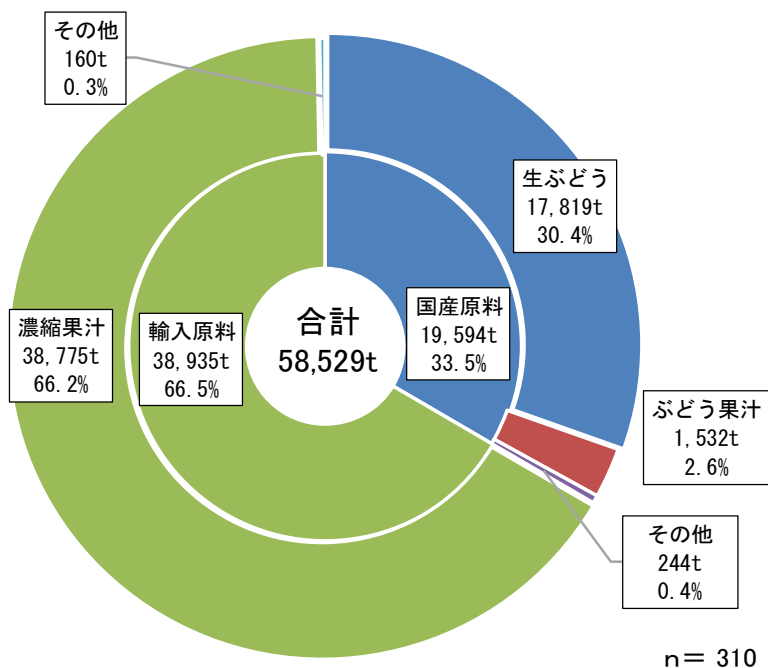
(注) 製造原価及び販売費・一般管理費については事業年度を調査対象期間としているが、売上高については暦年で回答した事業者を含む。

(4) 国内製造ワインの生産及び出荷状況

イ 国内製造ワインの原料について

国内製造ワインの原料を集計したものが図 18 である。ワイン製造に使用された原料のうち、国産原料の割合は 33.5%であった。また、国産の生ぶどうを使用している割合は 30.4%であり、輸入した濃縮果汁を使用している割合は 66.2%となった。

図 18 国内製造ワインの使用原料比

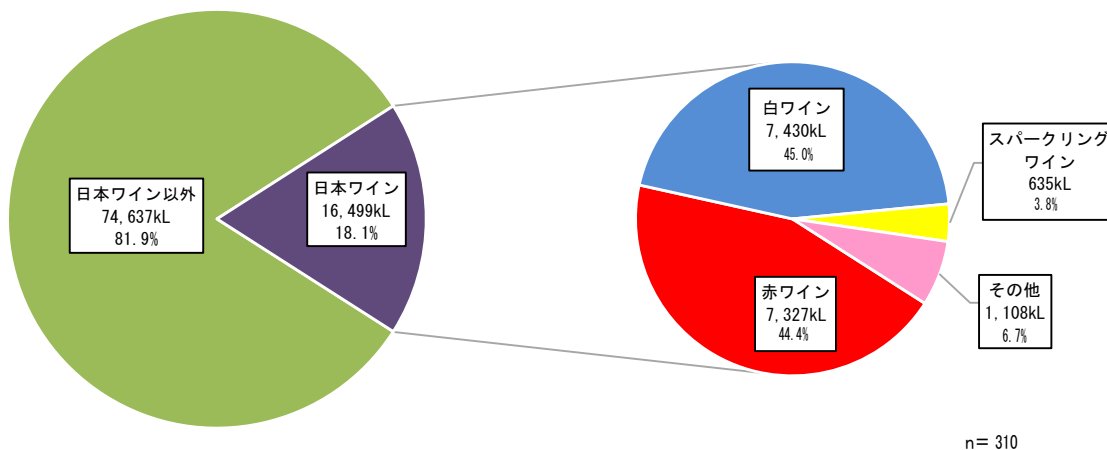


(注) 輸入原料中「その他」には、輸入した生ぶどうが含まれる。

ロ 国内製造ワインの構成比

国内製造ワインについて、日本ワインと日本ワイン以外のワインごとに集計し、さらに日本ワインについて種類別に構成比を集計したものが図 19 である。国内製造ワインのうち日本ワインの製成数量は 18.1% となっている。そのうち、赤ワインと白ワインがそれぞれ 44.4%、45.0% を占めている。

図 19 国内製造ワインの製成数量構成比及び種類別構成比



ハ 日本ワインの製成数量等について

日本ワインについて、都道府県別の製成数量上位3地域とその他の地域に分け集計したものが図 20 である。上位3地域で日本ワイン製成数量の 69.5%を占めている。

日本ワインの製成数量上位3地域について、製成している種類別の構成比を集計すると図 21 のとおりとなる。山梨県と北海道では白ワインの製成数量割合が高く、長野県では赤ワインの製成数量割合が高い。

図 20 日本ワイン製成数量上位3地域の構成比

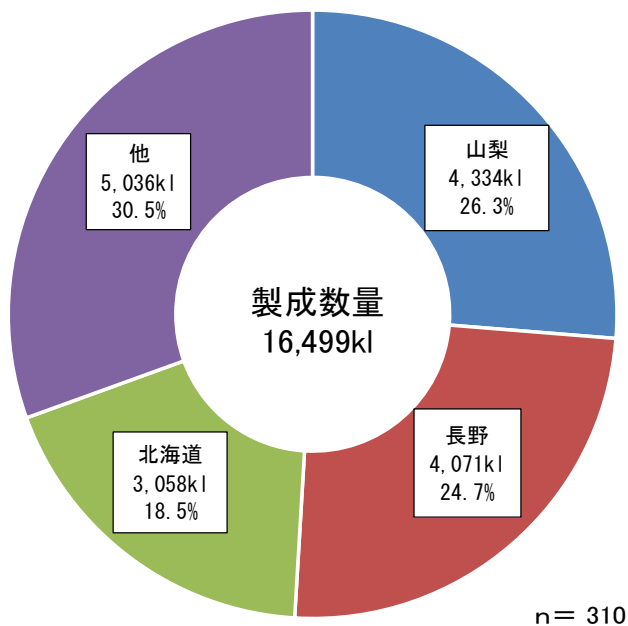
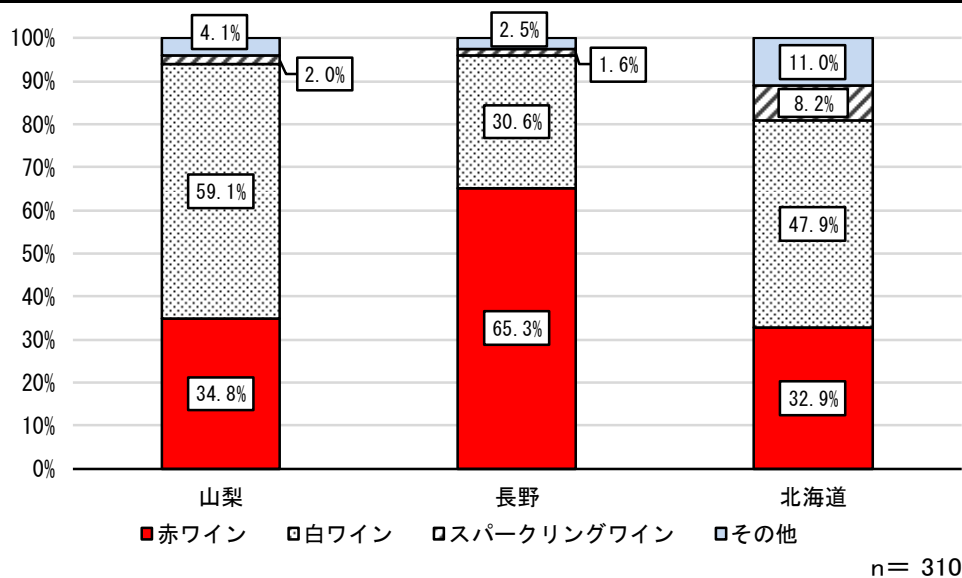


図 21 日本ワイン製成数量上位3地域の種類別の製成数量割合



二 国内製造ワインの製成数量等について

国内製造ワインの製成数量及び出荷量について、都道府県別に集計したものが表 47 である。

また、製成数量規模別に使用原料数量等を集計したものが表 48 である。日本ワインについては、主な原料は生ぶどうであり、使用原料全体の 91.5% を占めている。日本ワイン以外のワインについては、使用原料全体の 99.5% が輸入原料であり、そのうち 99.5% が濃縮果汁となっている。

表 47

都道府県別の製成数量及び出荷量

局名	都道府県別	対象場数 (回答場数)	製成数量		出荷量	
			ワイン	内 日本ワイン	ワイン	内 日本ワイン
札幌	北海道	46 (36)	3,173	3,058	3,074	2,361
仙台	青森	10 (3)	18	18	8	8
	岩手	11 (9)	598	596	546	515
	宮城	6 (6)	109	103	66	66
	秋田	4 (2)	X	X	X	X
	山形	19 (16)	1,209	1,173	819	793
	福島	9 (6)	38	37	32	31
	計	59 (42)	X	X	X	X
関東信越	茨城	8 (6)	23	23	18	18
	栃木	8 (7)	34,916	276	20,798	189
	群馬	3 (2)	X	X	X	X
	埼玉	4 (2)	X	X	X	X
	新潟	10 (10)	595	590	432	423
	長野	62 (50)	4,686	4,071	4,421	3,773
	計	95 (77)	40,282	5,016	25,909	4,498
東京	千葉	6 (3)	48	X	435	X
	東京	6 (3)	22	21	38	35
	神奈川	6 (3)	X	X	X	X
	山梨	92 (71)	11,516	4,334	13,794	3,445
	計	110 (80)	X	X	X	X
金沢	富山	3 (3)	58	55	34	34
	石川	4 (2)	X	X	X	X
	福井	1 (1)	X	X	X	X
	計	8 (6)	196	193	131	131
名古屋	岐阜	2 (2)	X	X	X	X
	静岡	8 (7)	57	47	791	45
	愛知	8 (6)	594	X	590	X
	三重	2 (-)	-	-	-	-
	計	20 (15)	X	55	X	56
大阪	滋賀	2 (2)	X	X	X	X
	京都	4 (2)	X	X	X	X
	大阪	8 (5)	128	128	1,044	166
	兵庫	3 (3)	148	X	144	X
	奈良	- (-)	-	-	-	-
	和歌山	2 (2)	X	X	X	X
	計	19 (14)	676	544	1,672	685
広島	鳥取	5 (3)	29	29	46	46
	島根	5 (4)	259	259	270	161
	岡山	10 (9)	3,967	454	5,960	317
	広島	7 (6)	144	140	174	101
	山口	2 (1)	X	X	X	X
	計	29 (23)	X	X	X	X
高松	徳島	1 (1)	X	X	X	X
	香川	1 (1)	X	X	X	X
	愛媛	2 (-)	-	-	-	-
	高知	2 (1)	X	-	X	-
	計	6 (3)	20	X	15	X
福岡	福岡	3 (2)	X	X	X	X
	佐賀	- (-)	-	-	-	-
	長崎	1 (1)	X	X	X	X
	計	4 (3)	24	24	26	25
熊本	熊本	4 (3)	124	X	123	X
	大分	6 (5)	119	115	108	105
	宮崎	6 (3)	167	167	192	192
	鹿児島	1 (-)	-	-	-	-
	計	17 (11)	410	X	423	X
沖縄	沖縄	- (-)	-	-	-	-
合計		413 (310)	91,136	16,499	108,500	13,779

表 48 製成数量規模別の使用原料数量、製成数量及び出荷量

項目		製成数量規模				
		合計	100kl未満	100kl以上 300kl未満	300kl以上 1,000kl未満	1,000kl以上
ワイナリー数		場 243	場 204	場 19	場 14	場 6
日本 ワイン	使用原料計	t 19,396	t 4,714	t 3,625	t 5,570	t 5,488
	国産原料計	19,396	4,714	3,625	5,570	5,488
	生ぶどう	17,752	4,618	3,515	5,515	4,104
	ぶどう果汁	1,485	61	2	39	1,383
	その他	159	35	108	16	-
	製成数量	kl 15,474	kl 3,463	kl 2,693	kl 4,586	kl 4,731
日本 ワイン 以外	使用原料計	t 39,134	t 214	t 338	t 6,951	t 31,631
	国産原料計	178	88	29	14	48
	生ぶどう	46	46	-	-	-
	ぶどう果汁	47	1	-	-	46
	その他	85	41	29	14	1
	輸入原料計	38,956	126	310	6,937	31,584
	濃縮果汁	38,775	85	202	6,904	31,584
	生ぶどう	22	5	-	16	-
	その他	160	36	108	16	-
	製成数量	kl 39,341	kl 174	kl 414	kl 2,165	kl 36,588
輸入数量計		kl 25,964	kl 188	kl 4,599	kl 2,136	kl 19,041
原料用		8,409	187	1,177	1,979	5,066
販売用		17,556	1	3,422	158	13,975
課税移出数量		84,248	3,621	3,157	7,524	69,947
日本ワイン		12,931	3,057	1,768	3,745	4,361
未納税移出数量		9,329	450	5,085	1,345	2,450
日本ワイン		1,702	279	1,037	258	129

(注) ワインの原料について回答があった製造場の回答を集計したものであり、表 43 の回答場数とは一致しない。

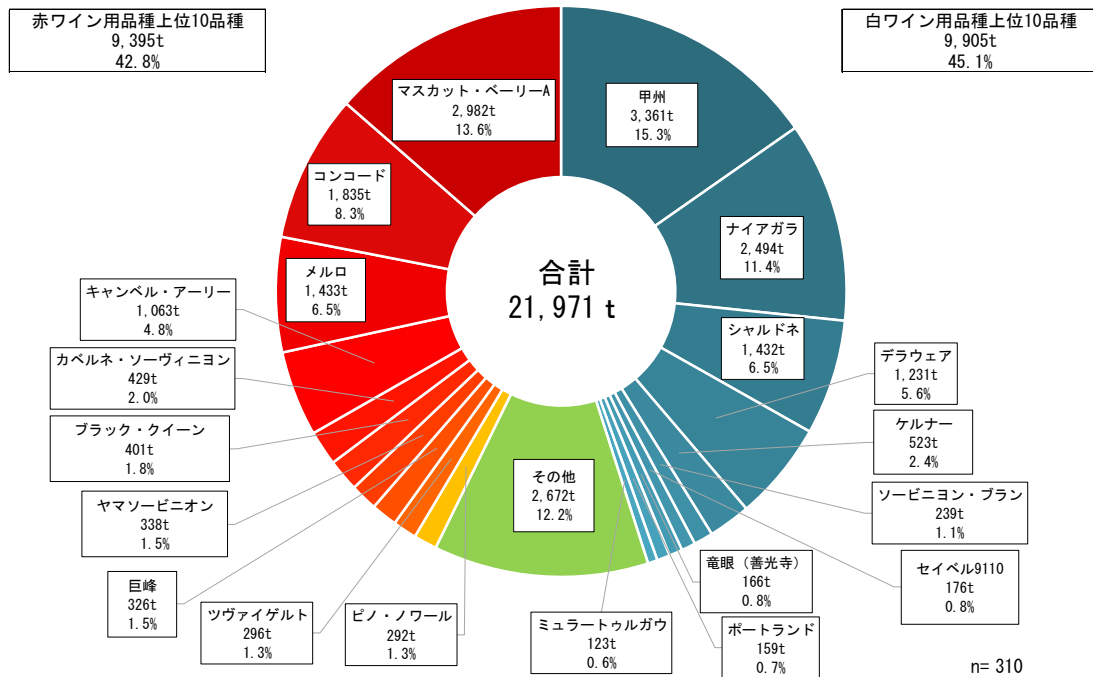
(5) ワイン原料用国産生ぶどうの受入数量（生産量）の状況について

ワイン原料用国産生ぶどうの生産量（受入数量）（赤ワイン及び白ワインそれぞれ上位 10 品種）について集計したものが図 22 である。国内で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではマスカット・ベリーA、白ワイン用では甲州となった。

ワイン原料用生ぶどうの生産量が多い品種について、赤ワイン用及び白ワイン用そ

れぞれ上位 10 品種について、主要生産地域を集計したものが表 49 及び表 50 である。また、ワイン原料用生ぶどうの主要産地（上位 5 地域）について、品種ごとに生産量を集計すると表 51 のとおりとなる。

図 22 ワイン原料用国産生ぶどうの生産量（受入数量）（赤白上位 10 品種）



(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどうの数量を品種別に集計したものであり、実際にワインの原料に使用した数量とは符合しない。

表 49 赤ワイン用生ぶどう上位 10 品種の主要産地

国内生産数量順位	品種名	地域別生産量順位										他	合計
		1		2		3		4		5			
		産地	数量	産地	数量	産地	数量	産地	数量	産地	数量		
1	マスカット・ベリーA	山梨	1,621 t	山形	620 t	長野	266 t	広島	69 t	島根	60 t	345 t	2,982 t
2	コンコード	長野	1,835 t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,835 t
3	メルロ	長野	852 t	山形	144 t	山梨	105 t	兵庫	74 t	新潟	60 t	198 t	1,433 t
4	キャンベル・アーリー	北海道	613 t	岩手	178 t	宮崎	160 t	山形	33 t	秋田	28 t	52 t	1,063 t
5	カベルネ・ソーヴィニヨン	長野	113 t	山形	106 t	山梨	75 t	兵庫	64 t	新潟	28 t	44 t	429 t
6	ブラック・クイーン	長野	280 t	山形	60 t	山梨	53 t	新潟	5 t	福島	3 t	1 t	401 t
7	ヤマソービニオン	山形	108 t	石川	96 t	岩手	52 t	長野	16 t	静岡	13 t	53 t	338 t
8	巨峰	長野	157 t	山梨	130 t	熊本	17 t	福岡	13 t	山口	3 t	7 t	326 t
9	ツヴァイゲルト	北海道	268 t	岩手	13 t	新潟	5 t	長野	5 t	山形	3 t	1 t	296 t
10	ピノ・ノワール	北海道	189 t	長野	45 t	山梨	12 t	山形	12 t	青森	6 t	27 t	292 t

(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を集計したものである。

表 50 白ワイン用生ぶどう上位 10 品種の主要産地

国内生産 数量順位	地域別生産量順位 品種名	1		2		3		4		5		他	合計
		産地	数量	産地	数量	産地	数量	産地	数量	産地	数量		
1	甲 州	山 梨	3,212 t	島 根	90 t	山 形	23 t	長 野	15 t	大 阪	9 t	12 t	3,361 t
2	ナイアガラ	北海道	1,146 t	長 野	970 t	山 形	258 t	岩 手	62 t	秋 田	17 t	41 t	2,494 t
3	シャルドネ	長 野	511 t	山 形	223 t	兵 庫	132 t	北海道	99 t	山 梨	93 t	373 t	1,432 t
4	デラウェア	山 形	556 t	山 梨	445 t	大 阪	58 t	香 川	46 t	北海道	40 t	86 t	1,231 t
5	ケルナー	北海道	492 t	長 野	18 t	新 潟	6 t	岩 手	4 t	滋 賀	1 t	1 t	523 t
6	ソービニヨン・ブラン	長 野	110 t	北海道	42 t	山 形	23 t	島 根	18 t	山 梨	11 t	36 t	239 t
7	セイベル 9110	山 形	107 t	長 野	53 t	新 潟	6 t	島 根	4 t	京 都	3 t	2 t	176 t
8	竜眼（善光寺）	長 野	166 t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	166 t
9	ポートランド	北海道	154 t	岩 手	3 t	秋 田	2 t	福 島	1 t	—	—	—	159 t
10	ミュラートウルガウ	北海道	114 t	岩 手	8 t	長 野	1 t	福 島	0 t	—	—	—	123 t

(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を集計したものである。

表 51 主要ぶどう産地（上位5地域）の品種別ぶどう生産量（受入数量）

山梨県 生産量 6,136t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	1,621	26.4%	甲州	3,212	52.3%	359	5.9%
巨峰	130	2.1%	デラウェア	445	7.3%		
メルロ	105	1.7%	シャルドネ	93	1.5%		
カベルネ・ソーヴィニオン	75	1.2%	ナイアガラ	12	0.2%		
ベリー・アリカントA	74	1.2%	ネオマスカット	11	0.2%		
計	2,004	32.7%	計	3,773	61.5%	6,136	100.0%

長野県 生産量 5,677t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
コンコード	1,835	32.3%	ナイアガラ	970	17.1%	478	8.4%
メルロ	852	15.0%	シャルドネ	511	9.0%		
ブラック・クイーン	280	4.9%	竜眼（善光寺）	166	2.9%		
マスカット・ベリーA	266	4.7%	ソーヴィニオン・ブラン	110	1.9%		
巨峰	157	2.8%	セイベル9110	53	0.9%		
計	3,390	59.7%	計	1,809	31.9%	5,677	100.0%

北海道 生産量 4,339t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	613	14.1%	ナイアガラ	1,146	26.4%	990	22.8%
ツヴァイゲルト	268	6.2%	ケルナー	492	11.3%		
ピノ・ノワール	189	4.4%	ポートランド	154	3.5%		
ロンド	142	3.3%	ミュラートウルガウ	114	2.6%		
山幸	130	3.0%	パッカス	101	2.3%		
計	1,343	30.9%	計	2,007	46.2%	4,339	100.0%

山形県 生産量 2,485t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	620	25.0%	デラウェア	556	22.4%	274	11.0%
メルロ	144	5.8%	ナイアガラ	258	10.4%		
ヤマソービニオン	108	4.4%	シャルドネ	223	9.0%		
カベルネ・ソーヴィニオン	106	4.3%	セイベル9110	107	4.3%		
ブラック・クイーン	60	2.4%	リースリング・フォルテ	29	1.1%		
計	1,038	41.8%	計	1,173	47.2%	2,485	100.0%

岩手県 生産量 625t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	178	28.5%	リースリング・リオン	97	15.5%	79	12.6%
ヤマソービニオン	52	8.3%	ナイアガラ	62	9.9%		
マスカット・ベリーA	45	7.1%	シャルドネ	15	2.4%		
メルロ	44	7.0%	ミュラートウルガウ	8	1.2%		
ヤマブドウ	41	6.6%	リースリング	6	1.0%		
計	359	57.4%	計	187	30.0%	625	100.0%

（注） ワインの原料とするために受け入れた品種別のぶどうの数量を集計したものであり、実際にワインの原料に使用した数量とは符合しない。

- (6) **ワイン原料用国産生ぶどうの自営農園及び契約栽培における栽培状況について**
 国内におけるワイン原料用生ぶどうの自営農園及び契約栽培における栽培方法について集計したものが図 23 である。棚栽培での生産が全体の 63.3%となった。
 棚栽培及び垣根栽培により生産されたワイン原料用生ぶどうの受入数量（生産量）について、赤ワイン及び白ワイン用の品種それぞれ上位5種の生産割合を集計したものが図 24 である。棚栽培で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではコンコード、白ワイン用では甲州であり、垣根栽培で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではメルロ、白ワイン用ではシャルドネとなった。
 また、赤ワイン用及び白ワイン用別に、棚栽培及び垣根栽培ごとの生産量が多い上位5品種の主要生産地及び生産量を集計すると表 52 のとおりとなる。

図 23 **ワイン原料用国産生ぶどうの自営農園及び契約栽培における栽培方法**

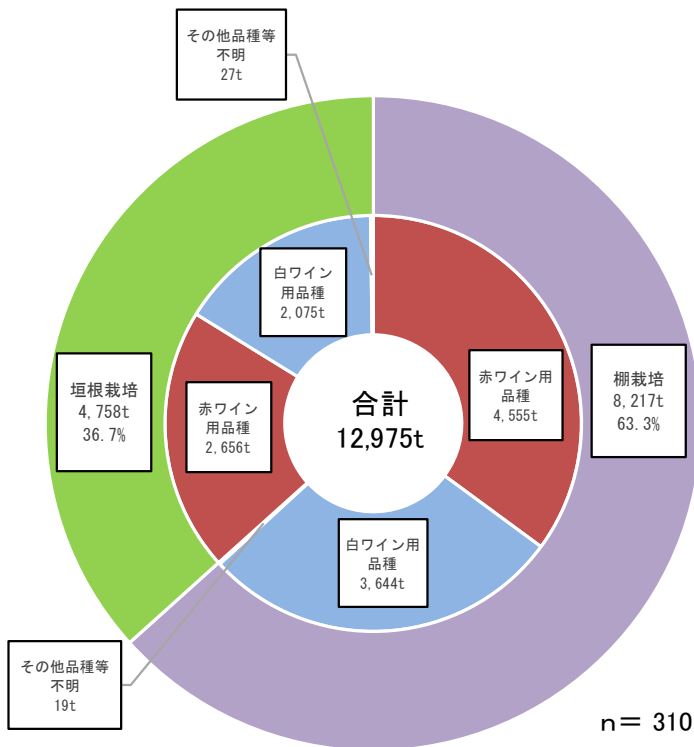
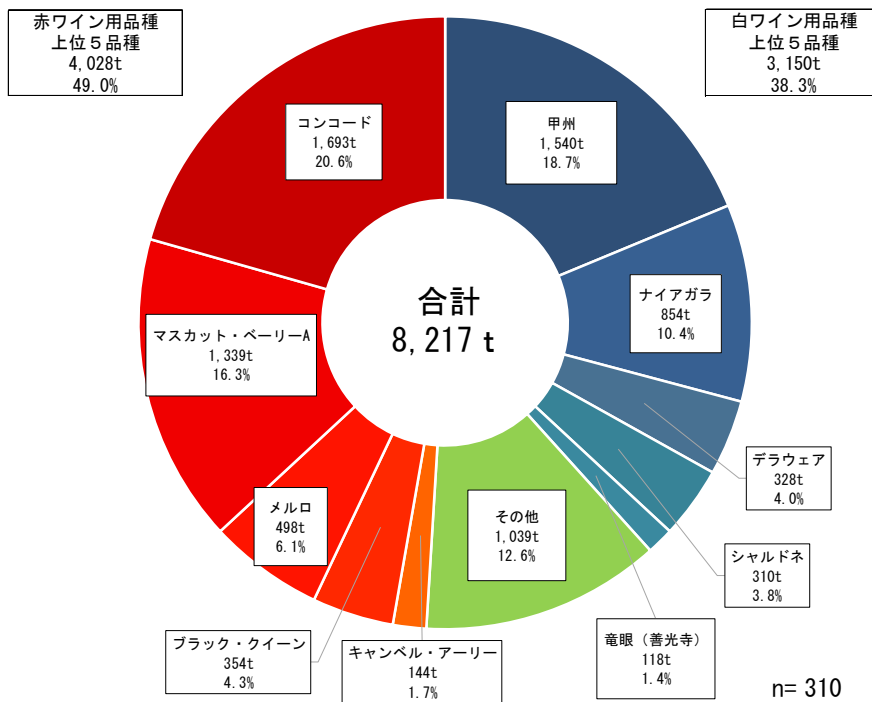
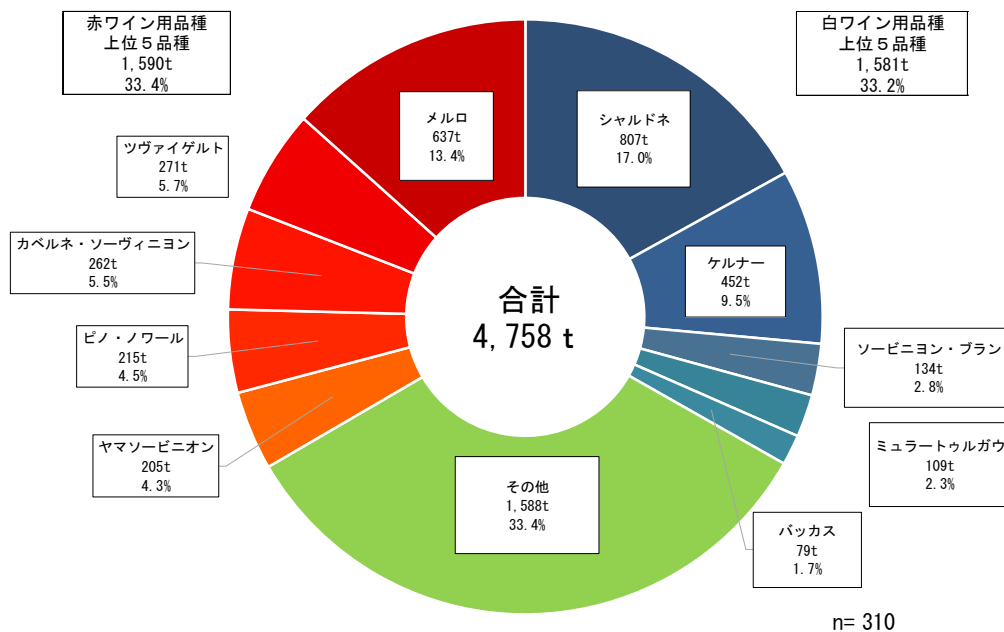


図 24 棚栽培及び垣根栽培のぶどう品種別生産割合（赤白上位5種）

【棚栽培】



【垣根栽培】



(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を品種別に集計したものである。

表 52 栽培方法ごとのぶどう品種別主要産地及び生産量（受入数量）（赤白上位5種）

種類	栽培方法	国内生産数量順位	地域別生産量順位 品種名	1		2		3		他	合計
				産地	数量	産地	数量	産地	数量		
赤ワイン用品種	棚栽培	1	コンコード	長野	1,693 t	—	—	—	—	—	1,693 t
		2	マスカット・ベリーA	山梨	563 t	山形	312 t	長野	148 t	317 t	1,339 t
		3	メルロ	長野	344 t	山形	67 t	山梨	35 t	52 t	498 t
		4	ブラック・クイーン	長野	259 t	山形	55 t	山梨	34 t	6 t	354 t
		5	キャンベル・アーリー	宮崎	106 t	岩手	31 t	北海道	3 t	3 t	144 t
	垣根栽培	1	メルロ	長野	344 t	兵庫	65 t	山梨	51 t	178 t	637 t
		2	ツヴァイゲルト	北海道	254 t	岩手	7 t	新潟	4 t	5 t	271 t
		3	カベルネ・ソーヴィニオン	長野	99 t	兵庫	59 t	山梨	40 t	65 t	262 t
		4	ピノ・ノワール	北海道	150 t	長野	34 t	新潟	6 t	25 t	215 t
		5	ヤマソービニオン	山形	108 t	石川	59 t	静岡	13 t	25 t	205 t
白ワイン用品種	棚栽培	1	甲州	山梨	1,413 t	島根	90 t	山形	16 t	22 t	1,540 t
		2	ナイアガラ	長野	786 t	岩手	25 t	山形	12 t	31 t	854 t
		3	デラウェア	山梨	141 t	山形	106 t	大阪	56 t	24 t	328 t
		4	シャルドネ	山形	145 t	福島	52 t	長野	34 t	80 t	310 t
		5	竜眼（善光寺）	長野	118 t	—	—	—	—	—	118 t
	垣根栽培	1	シャルドネ	長野	352 t	兵庫	98 t	北海道	85 t	272 t	807 t
		2	ケルナー	北海道	443 t	長野	6 t	新潟	1 t	1 t	452 t
		3	ソービニオン・ブラン	長野	80 t	北海道	33 t	富山	4 t	16 t	134 t
		4	ミュラートウルガウ	北海道	107 t	岩手	2 t	長野	0 t	—	109 t
		5	バツカス	北海道	79 t	長野	0 t	—	—	—	79 t

（注） ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を集計したものである。

(7) ワイン原料用国産ぶどうの受入の状況

ワイン原料用生ぶどうの受入形態を集計したものが図 25 である。受入形態として最も多いのは契約栽培であり、全体の 41.6% となった。生産規模別に受入形態を集計したものが表 53 である。自営農園と回答したのは全て生産規模が 100kl 未満の事業者であり、生産規模が 100kl 以上の事業者については、契約栽培や購入との回答が多かった。

都道府県別に、ワイン原料用国産ぶどうの品種別受入数量を集計すると表 54、ワイン原料用生ぶどうの品種別に、受入形態と主要産地を集計すると表 55 のとおりとなる。さらに、ワイン原料用生ぶどうの生産量上位 6 地域について、ワイン原料用生ぶどうの生産量及び出荷状況を集計すると表 56 のとおりとなる。

図 25 ワイン原料用国産生ぶどうの受入形態別構成比

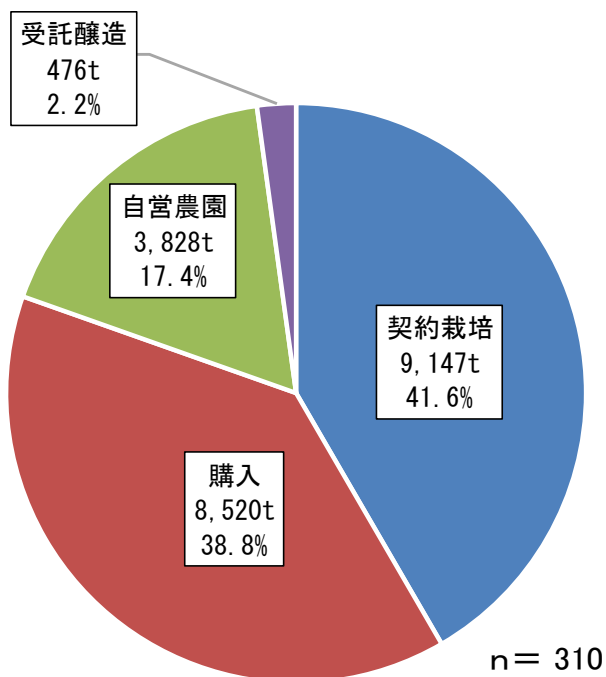


表 53 製成数量規模別のワイン原料用国産生ぶどうの最多受入形態別製造場数

受入形態	製成数量規模				合計
	100kL未満	100kL以上 300kL未満	300kL以上 1,000kL未満	1,000kL以上	
	場	場	場	場	場
自営農園	99	-	-	-	99
契約栽培	65	12	7	2	86
受託醸造	17	-	-	-	17
購入	60	6	8	3	77
受入なし	27	1	1	2	31
合計	268	19	16	7	310

表 54

都道府県別のワイン原料用国産生ぶどうの品種別受入数量

局所名	都道府県	対象 場数	回答 場数	甲州	マスカット・ ペーリーA	ナイアガラ	コンコード	シャルドネ	メルロ	デラウェア	キャンベル・ アーリー	ケルナー	カベルネ・ ソーヴィニヨ ン	その他	合計
札幌	北海道	46	36	6	X	1,076	-	99	42	124	662	281	4	X	4,119
仙台	青森	10	3	-	X	X	-	-	X	X	X	-	-	X	22
	岩手	11	9	-	64	73	-	16	44	16	208	4	9	309	743
	宮城	6	6	12	31	2	-	13	19	26	3	-	3	27	137
	秋田	4	2	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X
	山形	19	16	15	391	136	-	169	87	325	15	-	41	446	1,625
	福島	9	6	2	11	1	-	8	5	1	-	X	4	X	57
	計	59	42	29	X	221	-	206	X	X	X	X	57	830	2,606
関東信越	茨城	8	6	1	3	-	-	2	1	-	-	-	-	23	30
	栃木	8	7	57	34	3	-	33	12	7	X	X	34	35	268
	群馬	3	2	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	X	X
	埼玉	4	2	X	X	-	-	X	X	-	-	-	X	X	X
	新潟	10	10	41	184	14	-	51	79	48	6	16	26	88	553
	長野	62	50	13	290	996	1,823	385	658	9	2	18	93	1,012	5,300
	計	95	77	X	X	1,013	1,823	473	752	64	X	X	X	1,165	6,223
東京	千葉	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X
	東京都	6	3	4	5	3	X	4	3	6	-	-	X	12	39
	神奈川	6	3	-	-	X	-	X	X	X	-	-	-	X	X
	山梨	92	71	2,956	1,447	99	10	245	295	356	X	X	124	629	6,163
	計	110	80	2,960	1,452	X	X	X	X	X	X	X	X	645	6,211
金沢	富山	3	3	-	X	-	-	17	11	-	-	-	X	16	73
	石川	4	2	-	X	X	-	X	X	-	-	-	X	71	144
	福井	1	1	X	X	X	-	X	-	X	-	-	X	X	X
	計	8	6	X	60	21	-	32	X	X	-	-	6	X	X
名古屋	岐阜	2	2	-	X	X	-	-	-	X	-	-	-	X	X
	静岡	8	7	19	X	X	-	12	8	-	-	-	X	48	92
	愛知	8	6	-	-	-	-	-	X	X	-	-	X	X	X
	三重	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	20	15	19	2	4	-	12	X	2	-	-	2	54	104
大阪	滋賀	2	2	-	X	-	-	X	X	-	-	X	-	X	X
	京都	4	2	X	X	X	-	X	X	X	X	-	X	X	X
	大坂	8	5	15	36	10	-	20	16	70	X	X	6	9	191
	兵庫	3	3	-	-	-	-	X	X	-	-	-	X	X	X
	奈良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	和歌山	2	2	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	X	X
	計	19	14	X	96	X	-	136	88	X	18	1	71	131	789
広島	鳥取	5	3	X	26	-	-	2	2	-	-	-	2	X	43
	島根	5	4	X	60	-	-	28	19	X	-	-	4	68	269
	岡山	10	9	X	92	-	-	29	5	X	X	X	1	195	582
	広島	7	6	-	66	X	-	26	19	9	X	-	X	82	204
	山口	2	1	-	X	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X
	計	29	23	163	X	X	-	86	44	51	4	X	X	353	X
高松	徳島	1	1	-	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	X
	香川	1	1	X	X	X	-	-	-	X	-	-	-	X	X
	愛媛	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高知	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	6	3	X	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X
福岡	福岡	3	2	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X
	佐賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	長崎	1	1	-	X	X	-	-	-	-	X	-	-	X	X
	計	4	3	-	6	X	-	X	X	X	6	X	X	17	34
熊本	熊本	4	3	X	X	X	-	X	X	X	X	-	X	X	X
	大分	6	5	1	29	12	-	36	17	20	6	-	-	29	150
	宮崎	6	3	X	40	X	-	22	2	X	116	-	X	23	222
	鹿児島	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	17	11	3	X	27	-	X	X	45	X	-	5	X	X
沖縄	沖縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国		413	310	3,361	2,982	2,494	1,835	1,432	1,433	1,231	1,063	523	429	5,189	21,971

表 55 ワイン原料用生ぶどう品種別の受入形態の明細及び主要産地

品種名	受入形態									合計	主要産地	
	自営農園			契約栽培			購入	受託醸造	都道府県		数量	
	計	棚	垣根	計	棚	垣根						
マスカット・ベリーA	223	208	15	1,173	1,131	42	1,544	41	2,982	山梨	1,621	
巨峰	10	10	0	22	21	1	287	6	326	長野	157	
コンコード	298	296	2	1,397	1,397	-	135	5	1,835	長野	1,835	
キャンベル・アーリー	22	18	4	136	125	11	903	2	1,063	北海道	613	
メルロ	440	90	351	695	408	287	268	30	1,433	長野	852	
カベルネ・ソーヴィニヨン	158	21	137	178	53	125	75	17	429	長野	113	
ツヴァイゲルト	84	4	80	198	7	191	2	11	296	北海道	268	
ヤマソービニオン	52	8	44	171	11	160	107	7	338	山形	108	
ヤマブドウ	13	5	8	102	33	69	51	24	190	山形	57	
セイベル13053 (清見)	25	-	25	81	-	81	10	6	122	北海道	115	
山幸	72	-	72	50	-	50	0	9	132	北海道	130	
ブラック・クイーン	83	83	0	272	271	1	45	2	401	長野	280	
カベルネ・フラン	54	13	40	20	16	3	6	4	83	長野	46	
ピノ・ノワール	150	13	137	81	3	77	19	42	292	北海道	189	
プティ・ヴェルド	44	20	23	5	3	3	4	-	53	山梨	35	
シラー	63	11	52	13	7	6	8	2	86	長野	37	
アジロンダック	3	3	-	50	50	-	12	4	69	山梨	69	
甲斐ノワール	3	2	1	26	24	2	6	0	34	山梨	31	
甲州	245	220	25	1,321	1,321	0	1,740	56	3,361	山梨	3,212	
竜眼 (善光寺)	8	8	-	111	111	-	48	-	166	長野	166	
ナイアガラ	86	78	8	778	776	1	1,619	11	2,494	北海道	1,146	
デラウェア	84	79	5	249	249	1	872	26	1,231	山形	556	
シャルドネ	473	63	411	644	248	396	248	67	1,432	長野	511	
ケルナー	105	36	69	389	7	382	15	13	523	北海道	492	
ミュラートウルガウ	30	3	27	86	3	82	4	4	123	北海道	114	
パッカス	39	9	31	48	-	48	12	2	101	北海道	101	
リースリング・リオン	3	0	3	97	29	67	1	1	102	岩手	97	
ソービニオン・ブラン	106	12	94	60	20	40	55	19	239	長野	110	
ピノ・ブラン (ヴァイスブルグンダー)	43	1	42	23	16	7	1	2	68	北海道	35	
ピノ・グリ	45	3	42	5	-	5	0	12	62	北海道	42	
ポートランド	5	2	3	8	3	5	145	2	159	北海道	154	
セイベル9110	8	3	5	136	113	23	32	-	176	山形	107	
セイベル5279	2	-	2	48	-	48	-	0	51	北海道	51	

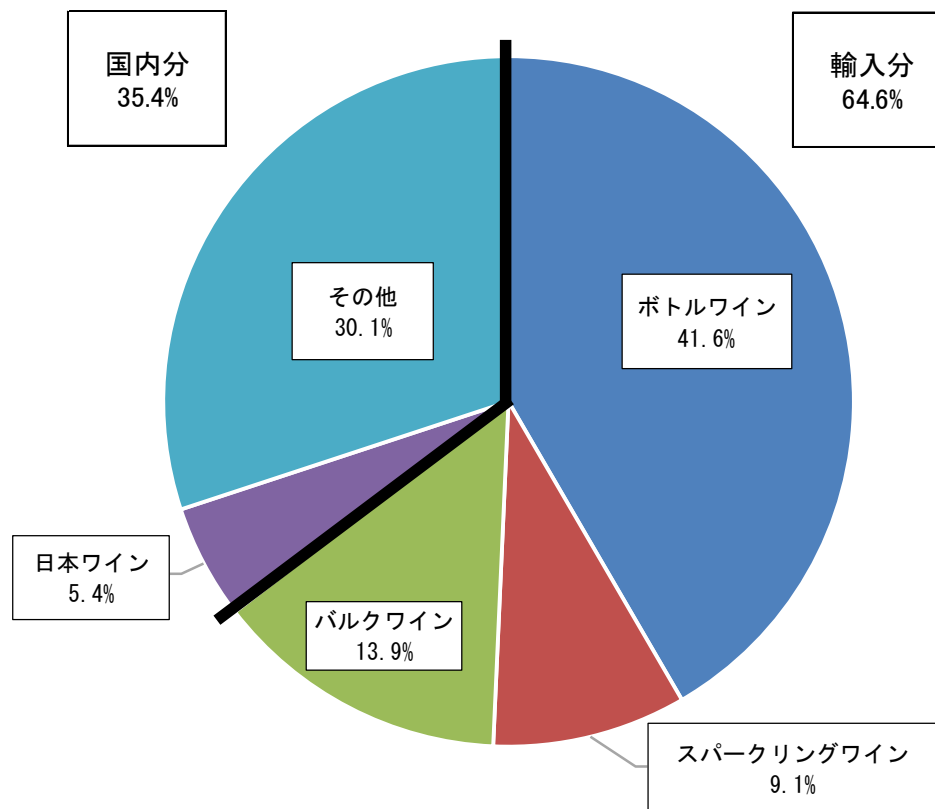
表 56 ワイン原料用生ぶどう生産量上位6地域のワイン原料用国産生ぶどう受入状況

ぶどう産地	ワイン原料用ぶどう生産量 (ぶどう産地別)	自県ワイナリーの 出荷数量 (ワイナリー所在地別)	他県ワイナリーへ の出荷数量	出荷先都道府県									
				岡山	京都	89	栃木	77	長野	71	埼玉	63	
山梨県	(100.0%) 6,136	(88.0%) 5,401	(12.0%) 735	岡山	149	京都	89	栃木	77	長野	71	埼玉	63
長野県	(100.0%) 5,677	(89.9%) 5,105	(10.1%) 572	山梨	407	栃木	51	新潟	48	岡山	16	東京	15
北海道	(100.0%) 4,339	(89.9%) 3,901	(10.1%) 438	岡山	244	長野	81	栃木	63	新潟	15	石川	15
山形県	(100.0%) 2,485	(64.3%) 1,598	(35.7%) 887	山梨	226	新潟	177	宮城	98	北海道	81	京都	80
岩手県	(100.0%) 625	(95.7%) 598	(4.3%) 27	大阪	14	北海道	6	新潟	3	山形	3	神奈川	1
兵庫県	(100.0%) 300	(83.2%) 249	(16.8%) 50	山梨	28	京都	13	島根	8	東京	2	長野	0
全国計	(100.0%) 21,971	(85.5%) 18,789	(14.5%) 3,182										

(8) 国内におけるワインの流通状況

国内市場におけるワインの流通量について、財務省貿易統計及び本調査結果から推計したものが図 26 である。国内流通量に占める輸入ワインの割合が 64.6%となっている。また、日本ワインの流通量は国内流通量の 5.4%となっている。

図 26 国内市場におけるワイン流通量の構成比（令和 2 年度推計値）

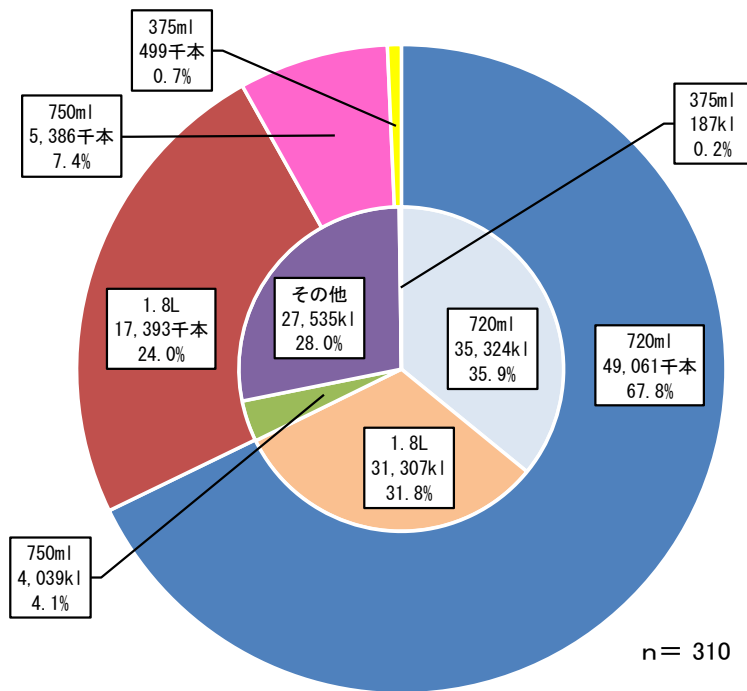


- (注) 1 国内分・輸入分の構成比は、令和 2 年度国税庁統計年報による果実酒の課税数量比である。
- 2 輸入分の内訳は、財務省貿易統計の輸入数量比である。
- 3 国内分の構成割合は、令和 3 年酒類業実態調査を基に推計している。

(9) ワインの容器容量別販売状況

国内で製成されたワインについて、容器容量別に集計したものが図 27 である。720ml 容器による販売本数が最も多く、国内販売本数に占める割合は 67.8%であり、国内の販売数量に占める割合は 35.9%となった。

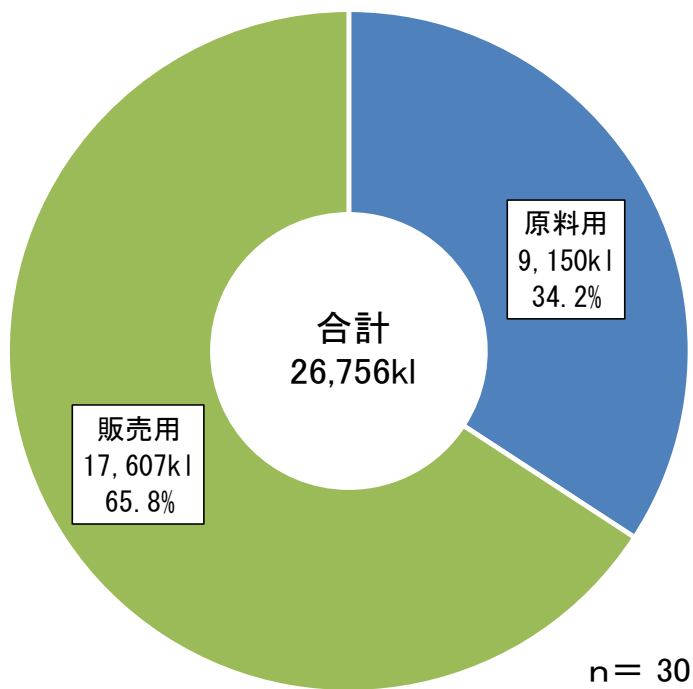
図 27 ワインの容器容量別の販売本数構成比



(10) 外国産ワインの用途別輸入状況

輸入した外国産ワインの用途について集計したものが図 28 である。ワインの原料用が 34.2%、販売用（そのまま販売容器に充填して販売するもの）が 65.8%となった。

図 28 外国産ワインの用途別割合



(11) 果実酒の生産・出荷・消費量の都道府県ランキング

果実酒の製成数量、出荷量及び販売数量を集計し、それぞれ上位10都道府県を並べたものが表57である。果実酒全体の製成数量は栃木県が最も多く、内日本ワインについては山梨県の製成数量が最も多くなった。

表 57 果実酒の製成数量・出荷数量・消費量の上位10都道府県

順位	製成数量			出荷量			販売 (消費) 数量	成人 一人当たり
	果実酒	ワイン		果実酒	ワイン			
		日本ワイン	日本ワイン					
1	栃木県	栃木県	山梨県	神奈川県	神奈川県	長野県	東京都	東京都
2	神奈川県	神奈川県	長野県	栃木県	栃木県	山梨県	神奈川県	山梨県
3	山梨県	山梨県	北海道	山梨県	山梨県	北海道	大阪府	和歌山県
4	岡山県	長野県	山形県	岡山県	岡山県	山形県	埼玉県	埼玉県
5	長野県	岡山県	岩手県	大阪府	長野県	岩手県	千葉県	神奈川県
6	北海道	北海道	新潟県	長野県	北海道	新潟県	北海道	大阪府
7	青森県	山形県	岡山県	北海道	大阪府	岡山県	愛知県	長野県
8	山形県	岩手県	栃木県	青森県	山形県	京都府	兵庫県	北海道
9	広島県	新潟県	島根県	千葉県	静岡県	宮崎県	福岡県	宮城県
10	岩手県	愛知県	京都府	山形県	愛知県	栃木県	静岡県	沖縄県

(注) 令和2年国税庁統計年報による。ただし、「ワイン」及び「日本ワイン」については、令和3年酒類業実態調査による。

(参考) ワイン製造業に関する用語について

ワイン製造業について使用している用語の意味は次表のとおりである。

用語	意味
国内製造ワイン	国内で製造されたワイン
ワイナリー	果実酒の製造免許を有し、ワインを製造している製造場のうち、令和2年1月1日～令和2年12月31日においてワインの生産又は出荷の事績がある製造場
新規製造者	果実酒の製造免許に期限が付されている製造者（酒類製造者以外の者、果実酒以外の酒類の製造者が新たに果実酒の免許を受ける場合は、原則として3年間は免許に期限が付される。）のうち、免許付与後3年までの者
生ぶどう	ぶどうのうち、ぶどう果汁以外の生果のもの
赤ワイン	赤ワインのうち、発泡性のないもの（スティルワイン）
白ワイン	白ワインのうち、発泡性のないもの（スティルワイン）
スパークリングワイン	赤ワイン、白ワイン、ロゼワイン等に関わらず、発泡性のあるもの
その他ワイン	赤ワイン、白ワイン、スパークリングワインに該当しないもの
自営農園	自社栽培、自社管理農場、役員の農園及び関連法人の運営するぶどう農園
契約栽培	農家との契約により原料ぶどうの栽培を委託しているもの
委託醸造	農家等の依頼者から原料ぶどうを受け入れて醸造を行い、その依頼者に製造したワインを引き渡すこと。

Ⅲ アンケート調査結果

1 酒類製造者等及び酒類卸売業者に対するアンケート調査結果

令和3年酒類業実態調査の調査対象者に対し、輸出の取組等に関するアンケートを実施し、その回答結果を取りまとめたものである。

(1) 輸出を行っていない酒類業者の状況等

輸出を行っていない事業者について、今後の輸出に関する検討状況を集計したものが図29である。1年以内又は将来的に輸出を開始することを検討している事業者の割合は32.8%であった。

輸出を行っていない理由を集計したものが図30である。理由として最も多かったのが「国内販売を最優先している」であり、次いで多かったのが、「忙しくて余裕がない」「きっかけがない」、であった。

今後輸出を検討している国（地域）の上位10か国を集計したものが表58である。アジア向けの輸出を検討している事業者が多く、中でも中華人民共和国及び台湾向けの輸出を検討していると回答した事業者が多かった。

図 29 今後の輸出に関する考え

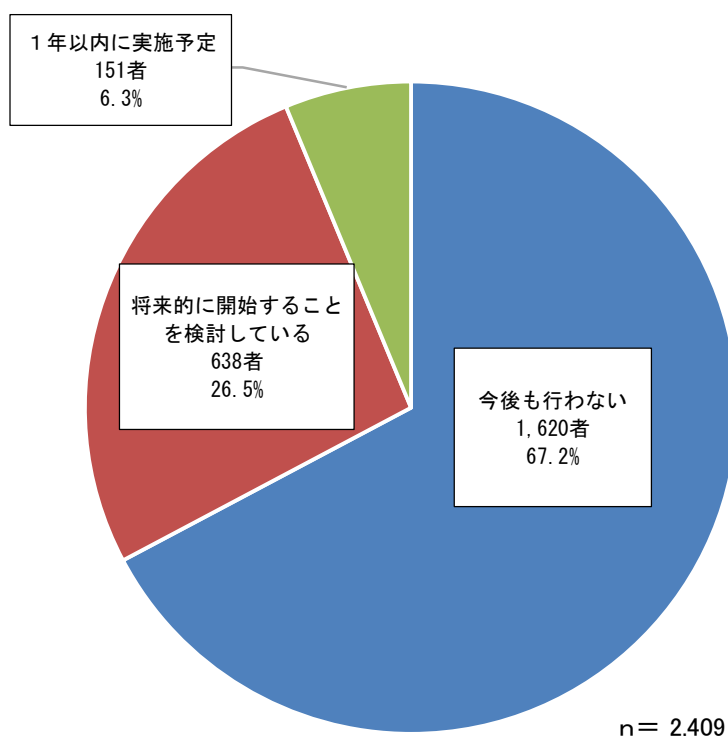


図 30 輸出を行っていない理由

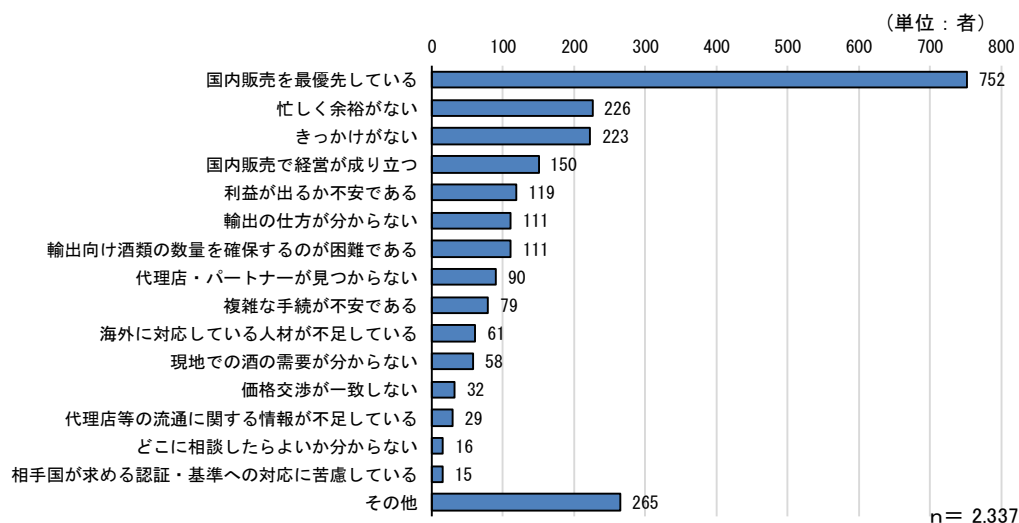


表 58 今後、輸出を検討している国・地域（上位 10 か国（地域））

順位	国名	回答者数	順位	国名	回答者数
1	中華人民共和国	285者	6	フランス	62者
2	台湾	233者	7	タイ	57者
3	香港	172者	8	ベトナム	49者
4	アメリカ合衆国	150者	9	大韓民国	48者
5	シンガポール	131者	10	英国	42者

n = 682

(3か国まで回答可)

(2) 輸出を行っている酒類業者の状況等

イ 取引状況等

輸出先国での主な販売先について集計したものが図 31 である。飲食店向けの販売が 43.4%と最も多かった。輸出に当たって注意している点又は工夫している点について集計したものが図 32 である。「商品企画（ラベル等）」、「商品の発送」、「商談（プレゼンテーション）」について注意又は工夫しているとの回答が多い結果となった。

酒類製造者等の輸出形態を集計したものが図 33 である。直接輸出を行っている酒類製造者等の割合は 16.7%であり、8 割以上の酒類製造者等については、卸売業者や小売業者を通じた間接輸出を行っている。

図 31 輸出先国での主な販売先

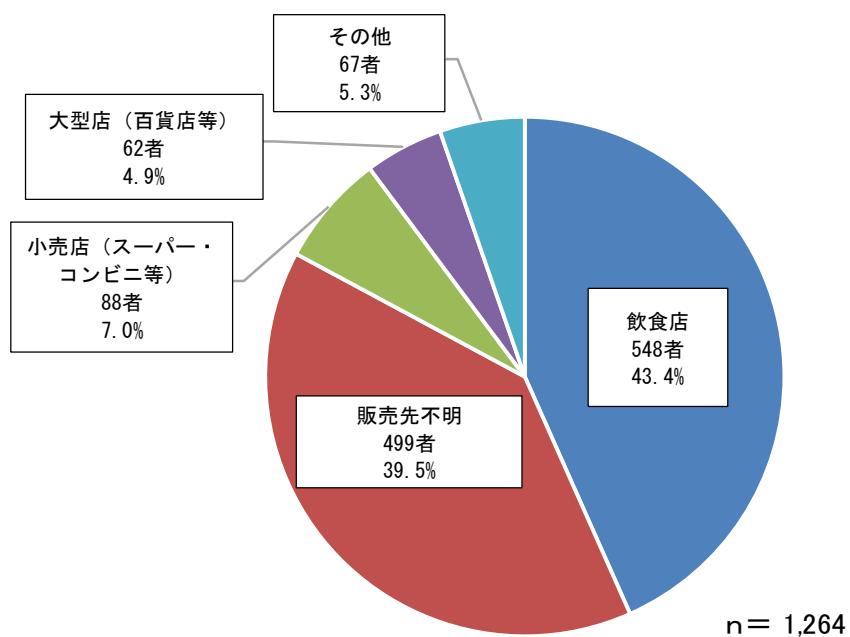


図 32 輸出に当たって注意又は工夫している項目

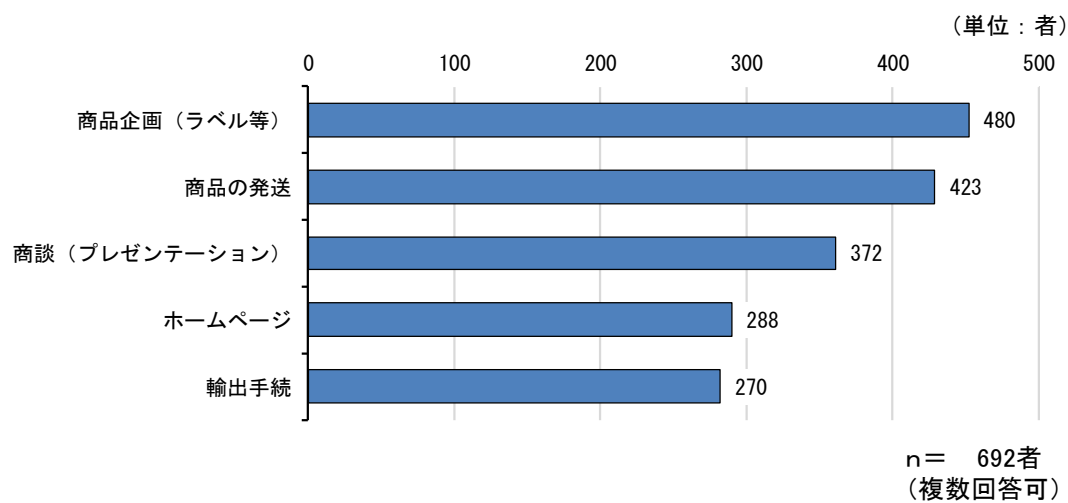
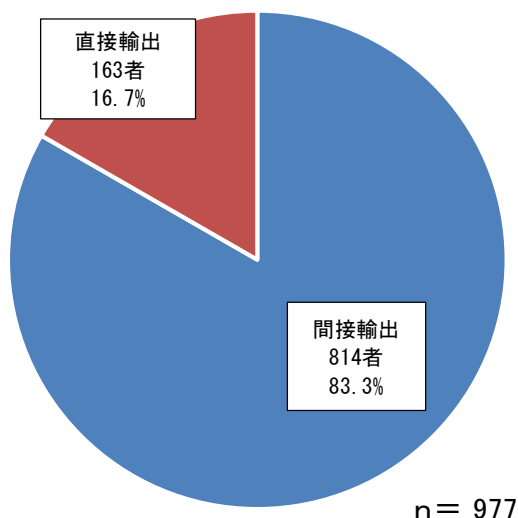


図 33 酒類製造者等の輸出形態

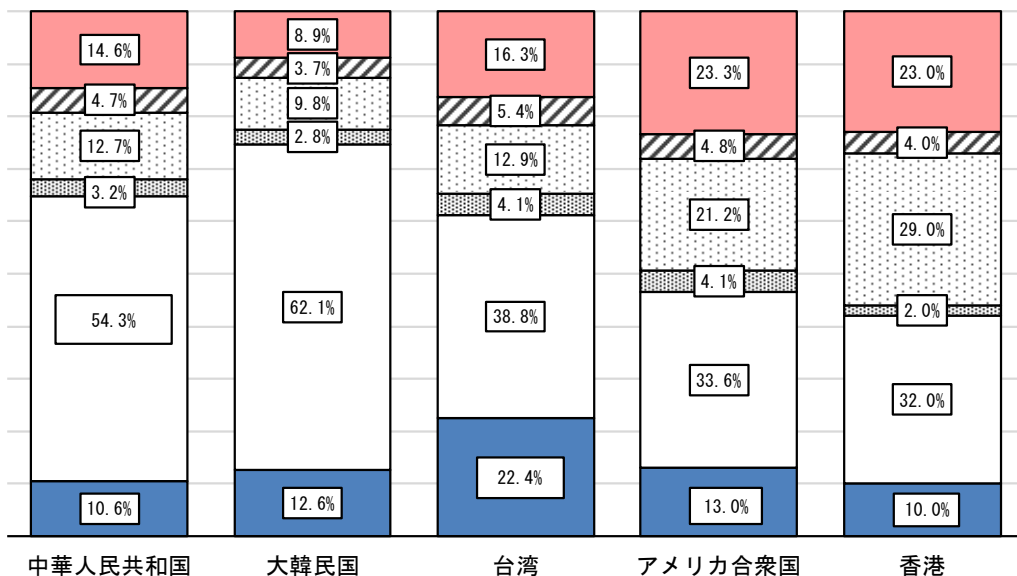


ロ 輸出の取組の障害等

輸出先国（地域）別に、法制度上最も障害になっている事項を、回答数の多かった上位5か国について集計したものが図34である。いずれの国（地域）についても、証明書等の書類の提出が障害となっていると回答した割合が最も高くなった。関税や輸出手続きの煩雑性についても、比較的障害と回答した割合が高かった。

輸出先国（地域）の法制度以外で障害となっていることについて集計したものが図35である。販路開拓及び代理店・パートナー探しに障害となっていると回答した割合が高かった。

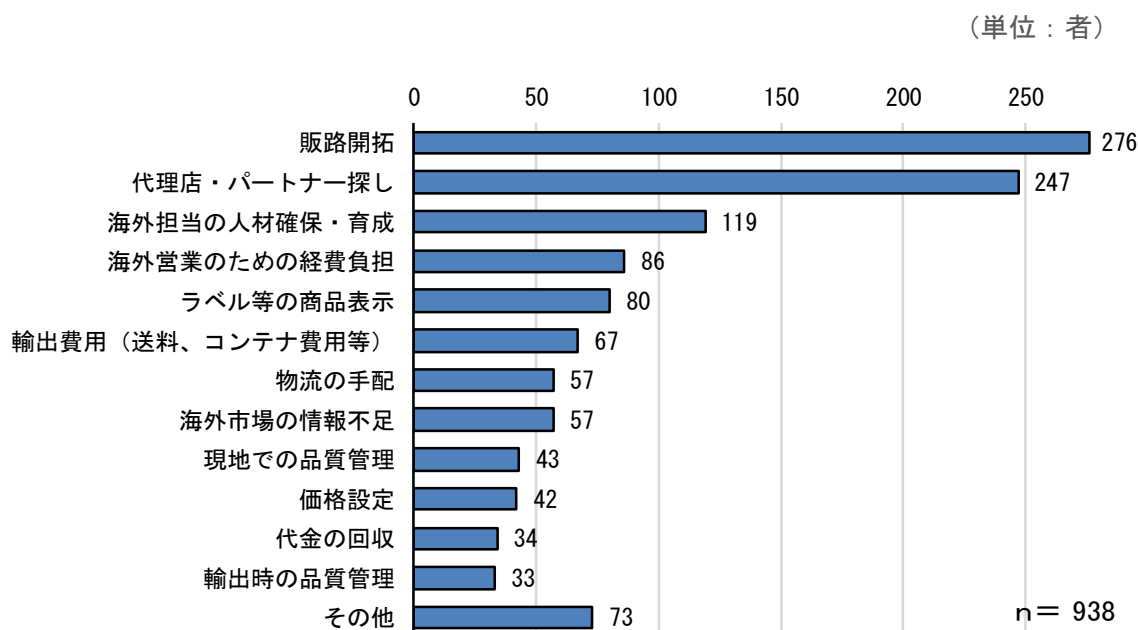
図 34 輸出先国（地域）別の法制度上の障害（回答数の多かった上位5国）



■関税 □証明書等の書類の提出 ▨その他の内国税 □輸出手続の煩雑性 □通関検疫 □その他

n = 1,128
(3か国まで回答可)

図 35 輸出先国（地域）の法制度以外の障害



ハ 今後の取引等

今後商談をしたいと考えている国（地域）について集計し、上位 10 か国をまとめたものが表 59 である。今後商談をしたいと回答した数が最も多いのはアメリカ合衆国であり、次いで中華人民共和国、台湾の順となった。

表 59 今後、海外バイヤーと商談をしたいと考えている国（地域）（上位 10 位）

順位	国名	回答者数	順位	国名	回答者数
1	アメリカ合衆国	253者	6	シンガポール	82者
2	中華人民共和国	244者	7	香港	79者
3	台湾	140者	8	オーストラリア	76者
4	フランス	136者	9	英国	75者
5	ベトナム	91者	10	タイ	48者

n = 905
(3か国まで回答可)

(3) 各機関の輸出関連情報（HP等）の活用（閲覧）状況等

各機関の輸出関連情報の利用状況等について集計したものが図 36 及び図 37 である。閲覧したことがあるとの回答が最も多いのは、日本貿易振興機構となった。

図 36 各機関の輸出関連情報（HP等）の閲覧者数

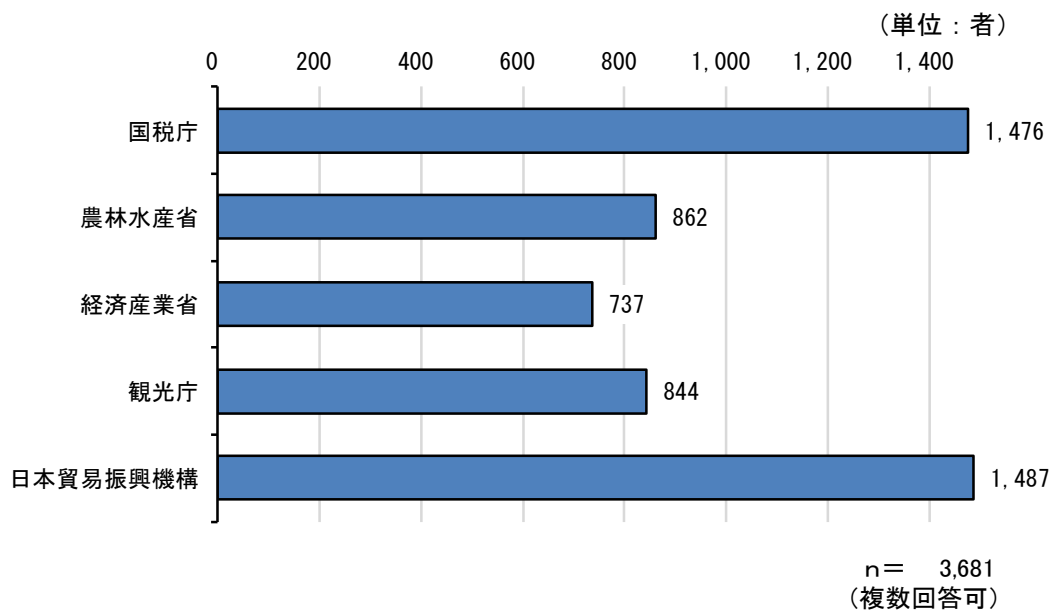
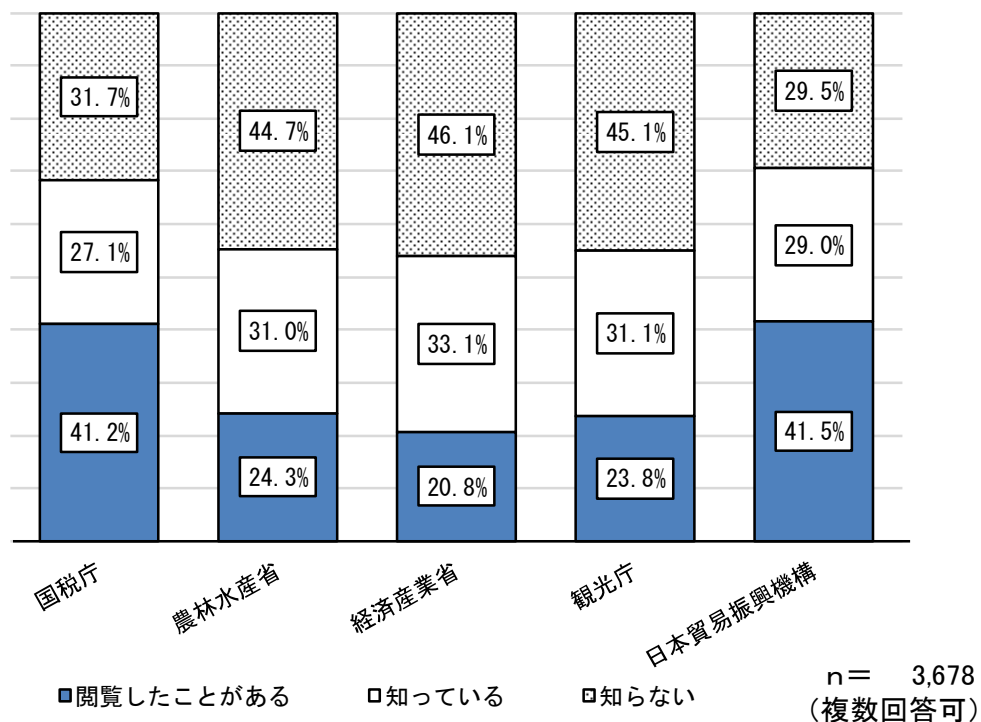


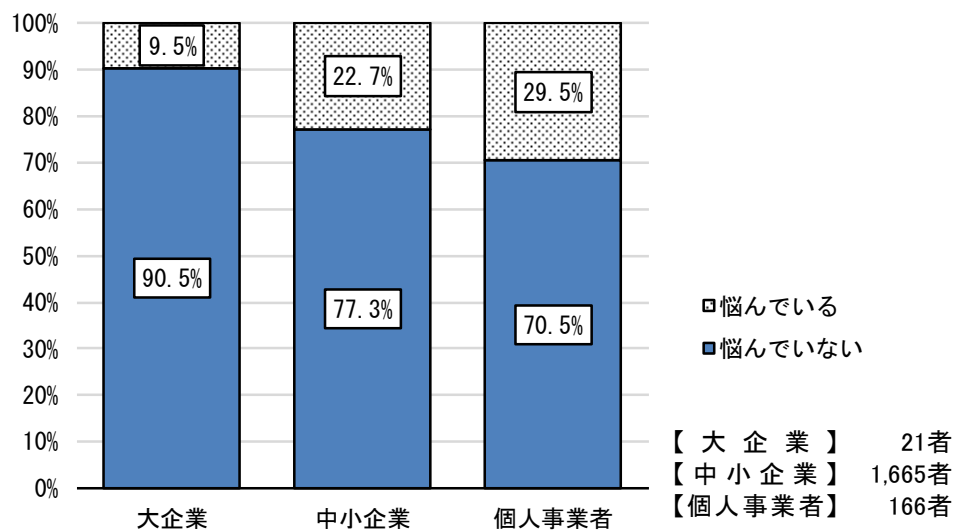
図 37 各機関の輸出関連情報（HP等）の認知状況



2 酒類製造者に対するアンケート調査結果

令和3年酒類業実態調査の調査対象者のうち、酒類製造者に対して後継者に関する悩みについてアンケート調査を行い、その結果を集計したものが図38である。中小企業では2割強、個人事業者については3割弱が後継者について悩んでいると回答した。

図 38 企業区分別の後継者問題で悩んでいる者の割合



付録 令和3年酒類業実態調査表

令和3年調査
酒類業実態調査表C①

調査対象期間	
暦年（令和2年1月1日から令和2年12月31日） ※ 調査表Bを暦年以外で記入した場合は、調査表Bの右上に記入した調査対象期間	

氏名又は名称

1 「清酒」の輸出取引について、調査対象期間における「輸出数量」及び「輸出金額」の合計を記入してください。
 「輸出取引」に該当するか否かは、「令和3年酒類業実態調査の手引き」の別紙3「輸出取引パターンフローチャート」及び別紙4「輸出取引のパターン分け」を参照してください。

酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、製造業者等と卸売業者としての取引を区分の上、それぞれの調査表に記入してください。

○ 清酒（特定名称酒）

地理圏	国番号	国・地域名	129	輸出数量（リットル）	130	輸出金額（千円）
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他・不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
	206	スペイン				
	218	アイルランド				
		その他・不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他・不明				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他・不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ペルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
	413	アルゼンチン				
			その他・不明			
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
			その他・不明			
中東						
アフリカ						
合計						

○ 清酒（特定名称酒を除く。）

地理圏	国番号	国・地域名	131	輸出数量（リットル）	132	輸出金額（千円）
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他・不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
	206	スペイン				
	218	アイルランド				
		その他・不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他・不明				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他・不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ペルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
	413	アルゼンチン				
			その他・不明			
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
			その他・不明			
中東						
アフリカ						
合計						

令和3年調査
酒類業実態調査表C②

調査対象期間	
暦年（令和2年1月1日から令和2年12月31日） ※ 調査表Bを暦年以外で記入した場合は、調査表Bの右上に記入した調査対象期間	

氏名又は名称

2 「単式蒸留焼酎」又は「ビール・発泡酒」の輸出取引について、調査対象期間における「輸出数量」及び「輸出金額」の合計を記入してください。
 「輸出取引」に該当するか否かは、「令和3年酒類業実態調査の手引き」の別紙3「輸出取引パターンフローチャート」及び別紙4「輸出取引のパターン分け」を参照してください。

酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、製造業者等と卸売業者としての取引を区分の上、それぞれの調査表に記入してください。

○ 単式蒸留焼酎

地理圏	国番号	国・地域名	129	輸出数量（リットル）	130	輸出金額（千円）
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他・不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
	206	スペイン				
	218	アイルランド				
		その他・不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他・不明				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他・不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ペルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
	413	アルゼンチン				
			その他・不明			
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
			その他・不明			
中東						
アフリカ						
合計						

○ ビール・発泡酒

地理圏	国番号	国・地域名	131	輸出数量（リットル）	132	輸出金額（千円）
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他・不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
	206	スペイン				
	218	アイルランド				
		その他・不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他・不明				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他・不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ペルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
	413	アルゼンチン				
			その他・不明			
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
			その他・不明			
中東						
アフリカ						
合計						

令和3年調査
酒類業実態調査表C③

調査対象期間	
暦年（令和2年1月1日から令和2年12月31日）	
※ 調査表Bを暦年以外で記入した場合は、調査表Bの右上に記入した調査対象期間	

氏名又は名称

3 「ウイスキー」又は「日本ワイン」の輸出取引について、調査対象期間における「輸出数量」及び「輸出金額」の合計を記入してください。
 「輸出取引」に該当するか否かは、「令和3年酒類業実態調査の手引き」の別紙3「輸出取引パターンフローチャート」及び別紙4「輸出取引のパターン分け」を参照してください。

酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、製造業者等と卸売業者としての取引を区分の上、それぞれの調査表に記入してください。

○ ウイスキー

地理圏	国番号	国・地域名	129	輸出数量 (リットル)	130	輸出金額 (千円)
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他・不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
	206	スペイン				
	218	アイルランド				
		その他・不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他・不明				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他・不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ベルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
	413	アルゼンチン				
			その他・不明			
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
			その他・不明			
中東						
アフリカ						
合計						

○ 日本ワイン

地理圏	国番号	国・地域名	131	輸出数量 (リットル)	132	輸出金額 (千円)
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他・不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
	206	スペイン				
	218	アイルランド				
		その他・不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他・不明				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他・不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ベルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
	413	アルゼンチン				
			その他・不明			
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
			その他・不明			
中東						
アフリカ						
合計						

令和3年調査
酒類業実態調査表C④

調査対象期間	
暦年（令和2年1月1日から令和2年12月31日）	
※ 調査表Bを暦年以外で記入した場合は、調査表Bの右上に記入した調査対象期間	

氏名又は名称

4 「リキュール」の輸出取引について、調査対象期間における「輸出数量」及び「輸出金額」の合計を記入してください。
 「輸出取引」に該当するか否かは、「令和3年酒類業実態調査の手引き」の別紙3「輸出取引パターンフローチャート」及び別紙4「輸出取引のパターン分け」を参照してください。

酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、製造業者等と卸売業者としての取引を区分の上、それぞれの調査表に記入してください。

○ リキュール（本格梅酒）

地理圏	国番号	国・地域名	129	輸出数量 (リットル)	130	輸出金額 (千円)
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他・不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
	206	スペイン				
	218	アイルランド				
		その他・不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他・不明				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他・不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ベルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
	413	アルゼンチン				
			その他・不明			
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
			その他・不明			
中東						
アフリカ						
合計						

○ リキュール（本格梅酒、新ジャンル及びRTD商品を除く。）

地理圏	国番号	国・地域名	131	輸出数量 (リットル)	132	輸出金額 (千円)
アジア	103	大韓民国				
	105	中華人民共和国				
	106	台湾				
	108	香港				
	110	ベトナム				
	111	タイ				
	112	シンガポール				
	113	マレーシア				
	117	フィリピン				
	129	マカオ				
		その他・不明				
西欧	205	英国				
	207	オランダ				
	210	フランス				
	213	ドイツ				
	220	イタリア				
	206	スペイン				
	218	アイルランド				
		その他・不明				
中東欧・ロシア等	224	ロシア				
		その他・不明				
北米	302	カナダ				
	304	アメリカ合衆国				
		その他・不明				
中南米	305	メキシコ				
	407	ベルー				
	409	チリ				
	410	ブラジル				
	413	アルゼンチン				
			その他・不明			
大洋州	601	オーストラリア				
	606	ニュージーランド				
			その他・不明			
中東						
アフリカ						
合計						

令和3年調査
酒類業実態調査表C⑤

調査対象期間
暦年（令和2年1月1日から令和2年12月31日） ※ 調査表Bを暦年以外で記入した場合は、調査表Bの右上に記入した調査対象期間

氏 名 又 は 名 称

5 「スピリッツ」の輸出取引について、調査対象期間における「輸出数量」及び「輸出金額」の合計を記入してください。
 「輸出取引」に該当するか否かは、「令和3年酒類業実態調査の手引き」の別紙3「輸出取引パターンフローチャート」及び別紙4「輸出取引のパターン分け」を参照してください。

酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、製造業者等と卸売業者としての取引を区分の上、それぞれの調査表に記入してください。

○ スピリッツ (RTD商品を除く。)

地理圏	国番号	国・地域名	129	輸 出 数 量 (リットル)				130	輸 出 金 額 (千円)			
アジア	103	大 韓 民 国										
	105	中 華 人 民 共 和 国										
	106	台 湾										
	108	香 港										
	110	ベトナム										
	111	タイ										
	112	シンガポール										
	113	マレーシア										
	117	フィリピン										
	129	マカオ										
		その他・不明										
西欧	205	英 国										
	207	オランダ										
	210	フランス										
	213	ドイツ										
	220	イタリア										
	206	スペイン										
	218	アイルランド										
		その他・不明										
中東欧・ロシア等	224	ロシア										
		その他・不明										
北米	302	カナダ										
	304	アメリカ合衆国										
			その他・不明									
中南米	305	メキシコ										
	407	ペルー										
	409	チリ										
	410	ブラジル										
	413	アルゼンチン										
			その他・不明									
大洋州	601	オーストラリア										
	606	ニュージーランド										
			その他・不明									
中 東												
ア フ リ カ												
合 計												

令和3年調査
酒類業実態調査表D①

調査対象期間
事業年度 (個人は令和2年分)

氏 名 又 は 名 称

個別項目（清酒）

1 清酒製造業に係る以下の項目を記入してください。

損 益 計 算 書 (千円)			清 酒 の 生 産 費 等 製 造 原 価 (千円)								清酒製造業の従業員数 (人)						
課税売上高	211		原 材 料 費	原料米代	米代	220						製造部門	223				
未納税売上高	212				引取諸掛	221							詰口部門	224			
その他	213				その他	222							その他	225			
計	214				課 税 移 出 数 量 (リットル)					計	226						
課税売上原価	215		移 出 地 域	自 県 分	227												
未納税売上原価	216			自県以外の自局分	228												
その他	217			他 局 分	229												
計	218				計	230											
販売費及び一般管理費	219																

2 自社間の移出入を除く未納税移出入数量及び取引先数について記入してください。

区 分	実 数 量 (リットル)	取 引 先 数 (者)
未納税移出	231	233
未納税移入	232	234

3 清酒製造業の製造責任者の状況について当てはまる番号を記入してください。

- 1 代表者親族 2 杜氏制 3 社員杜氏

210	
-----	--

令和3年調査
酒類実態調査表D②

調査対象期間	
暦年（令和2年1月1日から令和2年12月31日）	

氏名又は名称		調査対象期間（調査期間が暦年以外の場合）		
		自	年	月
		至	年	月

4 清酒の海外生産をしている方（現地法人によるものを含む。）は記入してください。

暦年で記入できない場合は、事業年度で記入していただいても差し支えありません。その場合、具体的な期間を右上の「調査対象期間」欄に記入してください。

201	生産国	202	生産者（現地法人）	203	主な銘柄	204	売上数量（リットル）	205	売上金額 （日本円の場合は千円単位）	206	207	生産国からの輸出					
										現 地 通 貨	桁	208	209	日本への輸出の有無	日本以外の輸出先国		

令和3年調査
酒類実態調査表E①

調査対象期間	
事業年度 （個人は令和2年分）	

氏名又は名称	

個別項目（単式蒸留焼酎）

1 単式蒸留焼酎製造業に係る以下の項目を記入してください。

損益計算書（千円）				単式蒸留焼酎の生産費等製造原価（千円）				単式蒸留焼酎製造業の従業員数（人）					
課税売上高	307			原材料代 （米、芋及び黒糖代等）	316			製造部門	320				
未納税売上高	308			その他	317			詰口部門	321				
その他	309			焼酎粕の処理費				その他	322				
計	310			総額（千円）	318			計	323				
課税売上原価	311			トン当たりの処理単価（円）	319								
未納税売上原価	312												
その他	313												
計	314												
販売費及び一般管理費	315												

2 自社間の移出入を除く未納税移出入数量及び取引先数について記入してください。

区分	数量（25度換算）（リットル）	取引先数（者）
未納税移出	324	326
未納税移入	325	327

3 自社間の移出入を除く未納税移出入の状況を製造場ごとに原材料別の数量を上位5場について記入してください。

328	移出先製造場名	329	原材料別	330	未納税移出数量 （25度換算）（リットル）	331	単価 （円）	332	移入元製造場名	333	原材料別	334	未納税移入数量 （25度換算）（リットル）	335	単価 （円）

4 単式蒸留焼酎製造業の製造責任者の状況について当てはまる番号を記入してください。

1 代表者親族 2 社氏制 3 社員社氏

306	
-----	--

令和3年調査
酒類業実態調査表E②

調査対象期間
暦年（令和2年1月1日から令和2年12月31日）

氏名又は名称	調査対象期間（調査期間が暦年以外の場合）
	自 年 月 日
	至 年 月 日

個別項目（単式蒸留焼酎）

5 原材料別に記入してください。

暦年で記入できない場合は、事業年度で記入していただいても差し支えありません。その場合、具体的な期間を右上の「調査対象期間」欄に記入してください。

原材料別	301	製成数量 (25度換算)	(リットル)	302	売上数量 (国内取引)	(リットル)	303	売上金額 (国内取引)(税抜)	(千円)	304	輸出数量 (リットル)	305	輸出金額 (千円)
芋焼酎													
米焼酎													
麦焼酎													
そば焼酎													
黒糖焼酎													
かす取り焼酎													
泡盛													
その他の単式蒸留焼酎													
焼酎乙類甲類混和													
合計													

令和3年調査
酒類業実態調査表F

調査対象期間
暦年（令和2年1月1日から令和2年12月31日）

氏名又は名称	調査対象期間（調査期間が暦年以外の場合）
	自 年 月 日
	至 年 月 日

個別項目（ビール）

ビールの海外生産をしている方（現地法人によるものを含む。）は記入してください。

暦年で記入できない場合は、事業年度で記入していただいても差し支えありません。その場合、具体的な期間を右上の「調査対象期間」欄に記入してください。

401	生産国	402	生産者（現地法人）	403	主な銘柄	404	売上数量 (リットル)	405	売上金額 (日本円の場合は千円単位)	406 407 生産国からの輸出		
										現 地 通 貨	408	409
										日本への輸出の有無		日本以外の輸出先国

令和3年調査
酒類業実態調査表G

調査対象期間 事業年度 (個人は令和2年分)

氏名又は名称

個別項目（果実酒）

個別項目（調査表G及びH①～H④）は、果実酒の製造免許を有し、ぶどう（濃縮果汁を含む。以下同じ。）を原料とした果実酒を製造または販売している場合に記入してください。

日本ワイン以外とは、ぶどうを原料（ぶどう以外の果実を用いたものを含む。）とした果実酒で日本ワイン以外のものであって、果実酒のうち、その他（ぶどう以外の果実のみを用いたもの、例えば、りんごを100%使用したシードル）に分類されるものを含みません。

1 日本ワイン及び日本ワイン以外のものに係る、令和3年1月1日の直前に終了した事業年度（個人は令和2年分）における確定した決算の額を記入してください。

売上原価	501	千円
内 原料費	502	千円
販売費及び一般管理費	503	千円

2 日本ワイン及び日本ワイン以外のものの販売数量について容量別に記入してください（調査対象期間は上記1と同様です。）。

容量別	販売数量 (リットル)
375ml	504
720ml	505
750ml	506
1.8L	507
その他	508

令和3年調査
酒類業実態調査表H①

調査対象期間 令和2年4月1日から 令和3年3月31日

製造場名	都道府県名
------	-------

この調査表は製造場ごとに記入してください。

1 外国産ワインの輸入数量

原料用 (リットル)	販売用 (リットル) (そのまま販売容器に充填して移出するため輸入したワイン)
509	510

2 日本ワイン及び日本ワイン以外のものの課税移出数量及び未納税移出数量

区分	数量 (リットル)	
	合計	内 日本ワイン
課税移出数量	511	512
未納税移出数量	513	514

酒類の製造に関するアンケート表K

氏名又は名称
氏名又は名称

○ 酒類を製造している方にお尋ねします。

Q 1 事業の後継者に関するお悩みはありますか。
1：悩んでいる 2：悩んでいない

--

Q 2 「酒類における有機の表示基準」(平成12年12月26日国税庁告示第7号)に基づき「有機」又は「オーガニック」の表示をする酒類の数量を記入してください(対象期間は暦年です。)

品目	有機		無機		状況	
	数量	税量	数量	税量	移出	移入
清酒						
合成清酒						
連続式蒸留焼酎						
単式蒸留焼酎						
みりん						
ビール						
果実酒						
甘味果実酒						
ウイスキー						
ブランデー						
原料用アルコール						
発泡酒						
その他の醸造酒						
スピリッツ						
リキュール						
粉末酒						
雑酒						
合計						

Q 3 酒類行政に関する御意見等があれば記入してください。

--

輸出に関するアンケート表J

※ 同一の者が酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、1者としての回答を酒類製造業者等のアンケート表に記入してください。

○ 現在、輸出を行っている方(卸売業者等を通じて輸出を行っている方も含みます。)にお尋ねします。

Q 6 貴社(あなた)が輸出に取り組む上で、相手国の法制度上、最も障害になったこと(なっていること)は何ですか、相手国を別紙7「国一覧」から選んで国番号及び国・地域名を記入した上、最大3か国について下記の番号を記入してください。
1：関税 2：証明書等の書類の提出 3：その国の内国税 4：輸出手続の煩雑性 5：通関検査 6：その他(具体的な内容を記入)

国番号	国・地域名	番号

Q 7 貴社(あなた)が輸出に取り組む上で、Q 6以外で最も障害になったこと(なっていること)は何ですか。
1：海外担当の人材確保・育成 2：販路開拓 3：代理店・パートナー探し 4：代金の回収 5：物流の手配 6：海外市場の情報不足 7：海外営業のための経費負担 8：ラベル等商品表示 9：現地での品質管理 10：価格設定 11：輸出費用(送料、コンテナ費用等) 12：輸出時の品質管理 13：その他(具体的な内容を記入)
13：その他を選択した場合、下記に具体的な内容を記入してください。

--

Q 8 輸出の取引形態について、別紙4「輸出取引のパターン分け」のパターン1～パターン4のうち、主な取引形態を選択してください。
1：パターン1 2：パターン2 3：パターン3 4：パターン4

--

Q 9 今後、どの国の海外バイヤーと商談をしたいと考えていますか。別紙7「国一覧」から最大3か国選んで国番号及び国・地域名を記入してください。
また、その国・地域と商談したい理由も記入してください。

国番号	国・地域名	理由

Q 10 輸出先国での主な販売先を教えてください。

1：飲食店 2：百貨店等の大型店 3：スーパー・コンビニ等の小売店
4：流通業者に一任しているため、販売先不明 5：その他(具体的な内容を記入)
番号 5：その他を選択した場合、下記に具体的な内容を記入してください。

--

Q 11 輸出するにあたって、次の1～5において、注意している点、又は工夫している点があれば記入してください。
注意している点、又は工夫している点

番号
1：商品企画(ラベル等)
2：商談(プレゼンテーション)
3：商品の発送
4：輸出手続
5：ホームページ